

日本語教育機関等留学生就労意識調査業務

報 告 書

令和 7 年 2 月

姫 路 市

— 目 次 —

	頁
1. 調査概要	1
2. 項目別集計	15
2.1 回答傾向の整理	15
2.2 回答傾向のとりまとめ	66
3. 就労希望地域別の回答傾向分析	67
3.1 就労希望地域についての整理	67
4. 詳細分析	73
4.1 詳細分析の概要	73
4.2 詳細分析	75

1. 調査概要

姫路市内の日本語教育機関及び留学生の在籍する専門学校（以下、「日本語教育機関等」という。）の留学生の就労に関する考え方や、市内で就労する場合の条件や課題を調査し、これらを把握・分析すること（以下、「本調査」という。）により、今後の取組検討の基礎資料として活用することを目的としてアンケート調査を実施した。

アンケート調査の概要は以下のとおりである。

< 留学生就労意識調査の概要 >

調査目的	留学生の就労に関する考え方や、市内で就労する場合の条件や課題を調査し、これらを把握・分析するために実施
調査実施期間	2024年9月17日（火）～2024年10月11日（金）
調査対象者	姫路市内の日本語教育機関等3校に在籍する留学生（約600名）
調査方法	日本語教育機関等※に調査票を配布し、授業を通して留学生が回答 なお、一部日本語教育機関等では受注者が「回答説明会」としてアンケートを配布・説明する授業を計6回実施した

※集計では、日本語教育機関等を「日本語学科」「専門学科」に区分し、区分別に集計した。
「日本語学科」は、日本語教育機関であり、日本語学校及び専門学校の日本語学科を指す
「専門学科」は専門学校の専門学科を指す

< 配布回収状況 >

日本語教育機関等	配布数	回収数	回収率
日本語学科 小計	358 部	330 部	92.2%
専門学科 小計	237 部	231 部	97.5%
合計	595 部	561 部	94.3%

＜ 集計方法・集計結果の見方 ＞

- ・各設問の回答を学科別（「日本語学科」「専門学科」）に集計した。
- ・回答結果の集計表及びグラフに示している数値は、各選択肢の回答数及び合計回答数（クロス集計の場合は属性別の合計回答数）に対する各選択肢の回答数の割合を小数点第1位まで（小数点第2位を四捨五入）示している。そのため、単数回答の設問（複数の選択肢から1つの選択肢を回答する設問）であっても回答割合の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答の設問（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を回答する設問）の回答割合は、各選択肢の回答数を回答者数で除して算出するため、各選択肢の回答割合の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・図表中の「未回答（回答不明含む）」は、回答がなかった、または回答の判別が著しく困難なものを示し、集計から除外した。
- ・本調査は、姫路市内の外国人留学生が多数在籍している複数の日本語教育機関等（日本語学校・専門学校）に通う留学生に対して実施した。このため、回答傾向は留学生の通う日本語教育機関等の教育課程による影響があり、集計結果を分析する場合は留意する必要がある。
- ・文部科学省 日本語教育推進関係者会議（第7回）資料によると、法務省告示校（「日本語学科」）は、日本語を学び、専門学校や大学への進学をめざす留学生が多い。
- ・高等教育機関（「専門学科」）は、日本語をある程度習得した上で、専門的な知識を学び、企業等への就職を目指す留学生が多い。

就労意識についてのアンケート調査

調査ご協力のお願い

姫路市では、日本語学校の留学生の方を対象に、日本で働くことについての考え方や、姫路市で働く場合の条件・課題を調査し、今後の取組に役立てるためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、無記名で回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、今後の取組のための基礎資料としてのみ使用します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年10月

姫路市

【ご記入についてのお願い】

■ このアンケートは、『①インターネットで答える』『②調査票に直接記入する』のいずれかで回答してください。

<①インターネットで答える場合>

- ・ 右のQRコードを読み取って回答してください。
- ・ パスワードはQRコード下に書いています。
- ・ インターネットで答える場合は、



下の「1. インターネットで回答した」に○をつけて、

パスワード: W7JX5M

そのまま提出してください

<②調査票に直接記入する場合>

- ・ 回答は、この調査票に直接記入してください。
- （下の「2. 調査票で回答した」に○をつけてください）
- ・ 回答は、あてはまる番号に“○”をつけてください。
- （質問によっては、○の数が決まっている場合がありますのでご注意ください）
- ・ 「その他」の場合は、その内容を（ ）内に具体的に記入してください。

■ 回答は、通っている日本語学校の先生の指示に沿って、日本語学校に提出してください。

<アンケートについてのお問い合わせ先>

姫路市 労働政策課 電話：(079) 221-2094

<回答方法について> 1. インターネットで回答した 2. 調査票で回答した

1 あなた自身について

問01 在留カードに書いてある国籍・地域はどこですか。(〇は1つ)

1. ネパール
2. ミャンマー
3. バングラデシュ
4. 中国
5. インドネシア
6. ベトナム
7. スリランカ
8. 米国
9. ウズベキスタン
10. パキスタン
11. オランダ
12. その他(国名)



在留カードのここを見て回答してください

問02 あなたの性別は何ですか。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えない

問03 あなたは何才ですか。(〇は1つ)

1. 10~19才
2. 20~24才
3. 25~29才
4. 30~34才
5. 35~39才
6. 40~49才
7. 50~59才
8. 60~64才
9. 65才以上

問04 在留カードに書いてある在留資格は何ですか。(〇は1つ)

1. 留学
2. 永住者
3. 技能実習
4. 技術・人文知識・国際業務
5. 日本人の配偶者等
6. 家族滞在
7. 特定活動
8. 特定技能
9. 定住者
10. 介護
11. 技能
12. 教育
13. 教授
14. 宗教
15. 永住者の配偶者等
16. その他()



在留カードのここを見て回答してください

< アンケート調査票 (3 / 1 2) >

問5 ^{いま}今、^{かよ}通っている^{がっこう}学校を^{えら}選んだ^{りゆう}理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 学校のパンフレットやホームページを見て、よいと思ったから
がっこう み おも
2. 学べる授業が、自分に合っていると思ったから
まな じゅぎょう じばん あ おも
3. 友達・先輩・家族に紹介されたから
ともだち せんぱい かぞく しょうかい
4. 卒業後の就職の実績が多いから
そつぎょう ご しゅうしょく じっせき おお
5. 卒業後の進学の実績が多いから
そつぎょう ご しんがく じっせき おお
6. 交通アクセスが便利だから
こうつう べんり
7. いろいろなサポートがありそうだから
8. 母国の日本語学校の先生に勧められたから
ほこく にほん ご がっこう せんせい すす
9. 母国の留学支援機関の紹介
ほこく りゅうがく しょうかい
10. 留学エージェント等による紹介
りゅうがく とう しょうかい
11. 学費が安いから
がくひ やす
12. 留学生が多いから
りゅうがくせい おお
13. 姫路に住み、学びたいから
ひめじ す まな
14. その他 ()
た

問6 現在の日本語能力試験検定レベルをお答えください。(〇はいくつでも)

にほんごのうりよくけんてい 日本語能力検定	1.N1 2.N2 3.N3 4.N4 5.N5
にほんごのうりよく BJT 日本語能力テスト	6.J1+ 7.J1 8.J2 9.J3 10.J4 11.J5
その他	12. 取得していないが、今後取得予定がある 13. 取得しておらず、今後も取得予定はない

問07 将来目標としている日本語能力試験検定レベルをお答えください。

(○はいくつでも)

日本語能力検定	1.N1	2.N2	3.N3	4.N4	5.N5
BJT 日本語能力テスト	6.J1+	7.J1	8.J2	9.J3	10.J4
その他	11.J5	12. 取得しておらず、今後取得予定はない			

問08 どんなSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を使っていますか。

(○はいくつでも)

1. Facebook 2. Instagram 3. YouTube 4. X (旧Twitter)
5. LINE 6. WeChat 7. WhatsApp 8. TikTok
9. その他 ()

2 今後の進路について

問09 卒業後の進路について、希望するものをお答えください。（〇は1つ）

1. 日本で進学 (→問10-1 へ)
2. 日本で就職 (→5 ページの問11-1 へ)
3. 母国で進学 (→9 ページの問13-1 へ)
4. 日本、母国以外で進学 (→9 ページの問13-1 へ)
5. 母国で就職 (→9 ページの問12 へ)
6. 日本、母国以外で就職 (→9 ページの問12 へ)
7. まだ、決めていない (→9 ページの問13-1 へ)
8. その他 ()
(→9 ページの問13-1 へ)

(問09 で「1.日本で進学」と回答した方にお尋ねします)

問10-1 進学先について、希望するものをお答えください。（〇は1つ）

1. 日本の大学 2. 日本の短期大学 3. 日本の専門学校
4. まだ決めていない
5. その他 ()

(問09 で「1.日本で進学」と回答した方にお尋ねします)

問10-2 日本のどの地域で進学したいですか。（〇は2つまで）

1. 姫路 2. 兵庫県 3. 大阪府など近畿地方 4. 東京都など関東地方
5. その他(名古屋・福岡・札幌など)
6. 日本であれば地域は問わない
7. まだ、決めていない

(問09 で「1.日本で進学」と回答した方にお尋ねします)

問10-3 進学先を卒業した後の進路について、希望するものをお答えください。
(〇は1つ)

1. 日本で就職 (→5 ページの問11-1 へ)
2. 母国で就職 (→9 ページの問12 へ)
3. 日本、母国以外で就職 (→9 ページの問12 へ)
4. まだ、決めていない (→9 ページの問13-1 へ)
5. その他 ()
(→9 ページの問13-1 へ)

（問09で「2.日本で就職」及び問10-3で「1.日本で就職」と回答した方にお尋ねします）

問11-1 どんな分野で働きたいですか。（〇はいくつでも）

1. 農林漁業 	2. 建設業 	3. 製造業 
4. 情報通信業 	5. 運輸業・郵便業 	6. 卸売業・小売業 
7. 学術研究・専門技術サービス業 	8. 宿泊業・飲食サービス業 	9. 生活関連サービス業・娯楽業 
10. 教育・学習支援業 	11. 医療・福祉業 	12. その他

（問09で「2.日本で就職」及び問10-3で「1.日本で就職」と回答した方にお尋ねします）

問11-2 どんな職業に就きたいですか。（○はいくつでも）

1. 管理的職業 （会社や役所での課長・部長・役員など） 	2. 専門的・技術的職業 （医師、教師、エンジニア、デザイナーなど） 
3. 事務的職業 （会社や役所での一般事務・経理など） 	4. 販売の職業 （小売店やコンビニでの販売やセールスなど） 
5. サービスの職業 （接客、調理、美容師、介護職員など） 	6. 保安の職業 （消防員、警備員など） 
7. 農林漁業の職業 （農業・林業・漁業の仕事など） 	8. 生産工程の職業 （工場のオペレーターや組立工など） 
9. 輸送・機械運転の職業 （自動車等、建設機械の運転など） 	10. 建設・採掘の職業 （大工、配管工・防水工、土木作業員など） 
11. 運搬・清掃・包装等の職業 （配達員、倉庫作業員、清掃員など） 	12. その他

（問09で「2.日本で就 職」及び問10-3で「1.日本で就 職」と回答した方にお尋ねします）

問11-3 日本で就 職 したい理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 習 得 した日本語を生かしたいから
2. 母国語を生かした仕事ができるから
3. 日本の社会環 境が良いから・日本が好きだから
4. 外国人就 労制度が整 っているから
5. 日本企業の優れた技術を学びたいから
6. 給 料が高いから
7. 学校で就 職 支援をしてくれるから
8. 学校で学んだ専門性を生かしたいから
9. 家族や親せきが日本にいるから
10. その他（ ）

（問09で「2.日本で就 職」及び問10-3で「1.日本で就 職」と回答した方にお尋ねします）

問11-4 日本のどの地域で就 職 したいですか。（〇は2つまで）

1. 姫路 2. 兵庫県 3. 大阪府など近畿地方 4. 東京都など関東地方
5. その他(名古屋・福岡・札幌など)
6. 日本であれば地域は問わない
7. まだ、決めていない

（問09で「2.日本で就 職」及び問10-3で「1.日本で就 職」と回答した方にお尋ねします）

問11-5. 問11-4の地域を選んだ理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 給 料（ボーナス含む）が高いから
2. 就 職 したい仕事内容・職 種があるから
3. 知り合いや同じ国の人が働 いているから
4. 外国語（母国語）でのサポートが受けられるから
5. 同じ国のコミュニティがあるから
6. 地域が好きだから
7. 都会の方が便利だから
8. 気候が良いから
9. その他（ ）

（問09で「2.日本で就職」及び問10-3で「1.日本で就職」と回答した方にお尋ねします）

問11-6 日本で働く場合、どのような在留資格を取得したいですか。（○は1つ）

1. 技術・人文知識・国際業務
2. 介護
3. 技能
4. 特定技能
5. 分からない
6. その他（ ）

（問09で「5. 母国で就職」「6. 日本、母国以外で就職」または問10-3で「2. 母国で就職」「3. 日本、母国以外で就職」と回答した方にお尋ねします）

問12 日本で就職しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 働く環境が悪いから（長時間労働など）
2. 外国人が受け入れられていないと感じたから
3. 将来的に日本の経済が発展しなさそうだから
4. 円安だから
5. 給料が低く他の国の方が稼げるから
6. 働きたいと思う企業がないから
7. 日本語でのコミュニケーションが難しいから
8. 同じ国の人があまりいないから
9. 住居の確保が難しいから
10. 働く上でのルールが厳しいから
11. その他（ ）

(すべての方にお尋ねします)

問13-1 日本で就職先を選ぶ時の条件をお答えください。

(重要と考える順番に3つまでお答えください。)

1. 給料 (ボーナス含む)
2. 仕事内容・職種
3. 勤務地・エリア
4. 自分が成長できる環境がある
5. 社員の人間関係がよい
6. 寮・住宅手当がある
7. 業界トップクラスの企業である
8. 残業が少ない
9. 知り合いや同じ国の人が働いている
10. 外国語 (母国語) でのサポートが受けられる
11. その他 ()

問13-2 就労・進学に関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 1. 就職支援サイト | 2. SNS | 3. テレビ |
| 4. 就職情報誌 | 5. 市役所 | 6. 大使館・領事館 |
| 7. ハローワーク | 8. ボランティア団体 | 9. 就職あっせん業者 |
| 10. 留学支援団体 | 11. 学校の教員・職員 | |
| 12. アルバイト先 | 13. 日本人の友人・知人 | |
| 14. 同じ国の友人・知人 | 15. 家族 | 16. 方法がない |
| 17. その他 () | | |

3 日本滞在における課題について

問14 あなたは生活で困っていることや心配なことはありますか。

(○はいくつでも)

1. 自分の日本語に自信がない
2. 外国語の情報が少ない
3. 家庭や仕事以外の居場所がない
4. なんでも相談できる窓口がない
5. アルバイト先での仕事や人間関係
6. アルバイト探し
7. 病気やけがをした時の対応
8. 災害時の対応
9. 出入国在留管理局や役所などの制度・手続き
10. ゴミの出し方
11. 近所の人との付き合い
12. 特にない
13. その他 ()

問15-1 学校の生徒だけでなく、あなたと同じ国の人が集まるコミュニティがありますか。(○は1つ)

1. コミュニティはある
2. コミュニティはない
3. 知らない、または分からない

問15-2 あなたと同じ国の人が集まるコミュニティに参加したことがありますか。

(○は1つ)

1. 行ったことがある
2. 行ったことがない

4 資格外活動（アルバイト）について

問16 あなたはアルバイトをしたことがありますか。(○は1つ)

1. 1つしている (→問17へ)
2. 2つ以上している (→問17へ)
3. 現在はしていないが、日本でのアルバイト経験はある (→問17へ)
4. 日本でのアルバイト経験はない (→12 ページの問19へ)

（問16で「1.1 つしている」「2.2 つ以上している」「3.現在のはしていないが、日本でのアル

バイト経験はある」と回答した方にお尋ねします）

問17 どんな分野の仕事ですか。（○はいくつでも）

1. 農林漁業 	2. 建設業 	3. 製造業 
4. 情報通信業 	5. 運輸業・郵便業 	6. 卸売業・小売業 
7. 学術研究・専門技術サービス業 	8. 宿泊業・飲食サービス業 	9. 生活関連サービス業・娯楽業 
10. 教育・学習支援業 	11. 医療・福祉業 	12. その他

（問16で「1.1 つしている」「2.2 つ以上している」「3.現在はいしていないが、日本でのアルバイト経験はある」と回答した方にお尋ねします）

問18 アルバイト先はどのように見つけましたか。（〇はいくつでも）

1. 友達の紹介 2. 学校の紹介 3. インターネット・SNSで調べた
4. 直接アルバイト先を訪ねた 5. ハローワークの紹介
6. その他（ ）

5 相談・悩み事の解決方法について

（すべての方にお尋ねします）

問19 あなたは生活で困ったときや心配なときは、誰に相談しますか。

（〇はいくつでも）

1. 日本に住んでいる家族・親族・友人・知人
2. 日本以外に住んでいる家族・親族・友人・知人
3. 日本人の友人・知人
4. 学校の教員・職員
5. 職場の同僚や上司
6. 留学支援団体
7. 同じ国の人の団体
8. 教会・寺院
9. ボランティア団体
10. 大使館・領事館
11. 市や県の相談窓口（外国人相談センターなど）
12. その他（ ）
13. 特にない（インターネットなど自分で調べる）

問20 その他、困っていること、悩んでいることはありますか。（自由に記入）

（自由に記入してください）

ご協力ありがとうございました。

2. 項目別集計

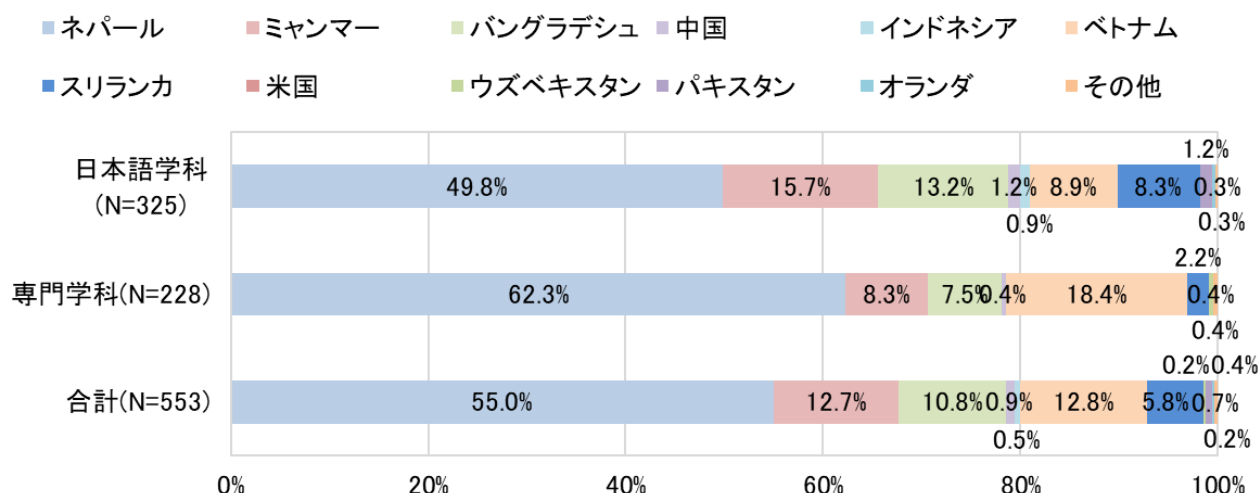
2.1 回答傾向の整理

(1) あなた自身について

①国籍・地域（問 01）

- ・国籍・地域について、「ネパール」の割合が 55.0%と最も高くなっており、次いで「ベトナム」が 12.8%、「ミャンマー」が 12.7%、「バングラデシュ」が 10.8%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」は「ネパール」の割合が 49.8%と最も高くなっており、次いで「ミャンマー」が 15.7%、「バングラデシュ」が 13.2%となっている。
- ・「専門学科」は「ネパール」の割合が 62.3%と最も高くなっており、次いで「ベトナム」が 18.4%となっている。

< 国籍・地域 >



	ネパール	ミャンマー	バングラデシュ	中国	インドネシア	ベトナム	スリランカ
日本語学科	162 49.8%	51 15.7%	43 13.2%	4 1.2%	3 0.9%	29 8.9%	27 8.3%
専門学科	142 62.3%	19 8.3%	17 7.5%	1 0.4%	0 0.0%	42 18.4%	5 2.2%
合計	304 55.0%	70 12.7%	60 10.8%	5 0.9%	3 0.5%	71 12.8%	32 5.8%

上段：票

下段：横構成比

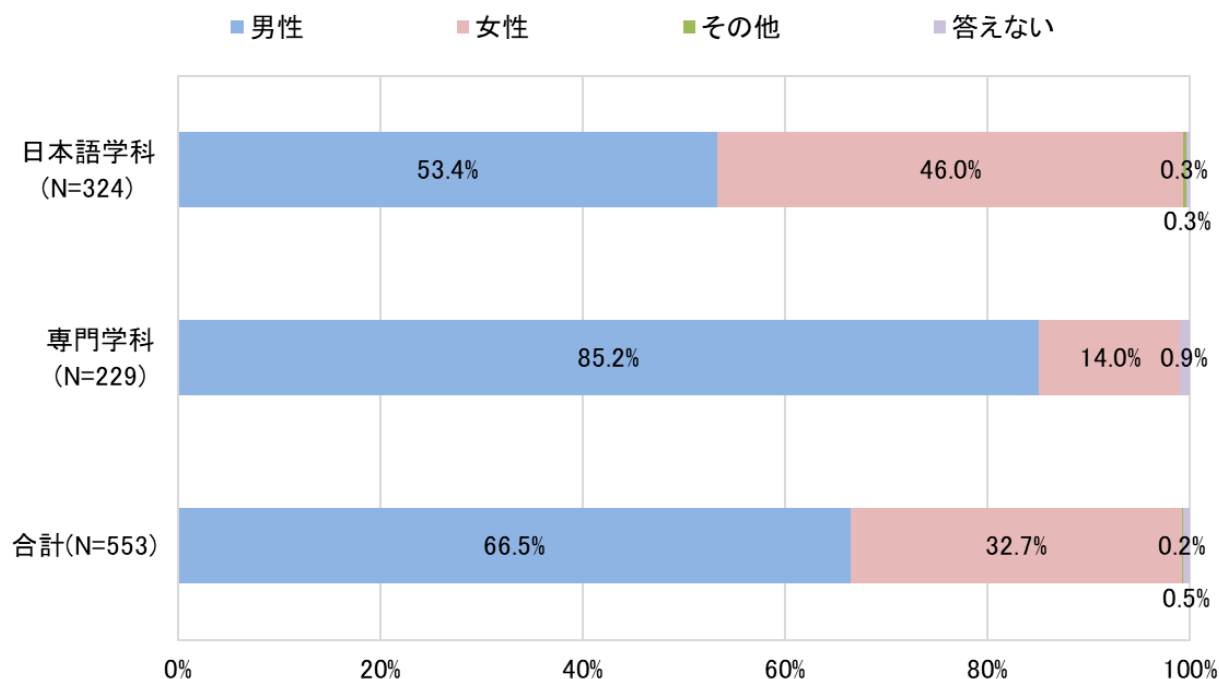
未回答（回答不明含む）8票を除く

米国	ウズベキスタン	パキスタン	オランダ	その他	合計
0 0.0%	0 0.0%	4 1.2%	1 0.3%	1 0.3%	325 100.0%
0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	228 100.0%
0 0.0%	1 0.2%	4 0.7%	1 0.2%	2 0.4%	553 100.0%

②性別（問 02）

- ・性別について、「男性」の割合が 66.5%、「女性」が 32.7%と、男性の方が高くなっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に「男性」の割合が高く、「専門学科」の男性の割合がかなり高くなっている。

< 性別 >



	男性	女性	その他	答えない	合計
日本語学科	173 53.4%	149 46.0%	1 0.3%	1 0.3%	324 100.0%
専門学科	195 85.2%	32 14.0%	0 0.0%	2 0.9%	229 100.0%
合計	368 66.5%	181 32.7%	1 0.2%	3 0.5%	553 100.0%

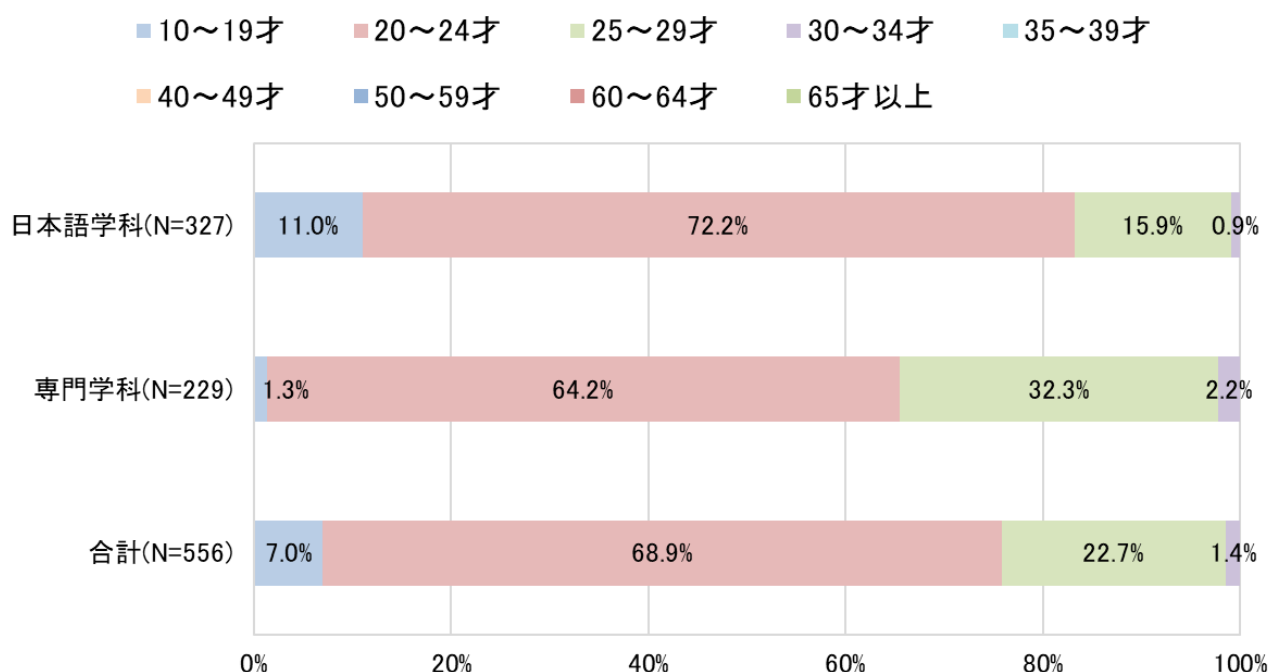
未回答（回答不明含む）8票を除く

上段：票
下段：横構成比

③年齢（問 03）

- ・年齢について、「20～24 才」の割合が 68.9%と最も高くなっており、次いで「25～29 才」が 22.7%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」は「20～24 才」の割合が 72.2%と最も高くなっており、次いで「25～29 才」が 15.9%、「10～19 才」が 11.0%となっている。
- ・「専門学科」は「20～24 才」の割合が 64.2%と最も高く、次いで「25～29 才」が 32.3%となっている。

< 年齢 >



	10～19才	20～24才	25～29才	30～34才	35～39才
日本語学科	36 11.0%	236 72.2%	52 15.9%	3 0.9%	0 0.0%
専門学科	3 1.3%	147 64.2%	74 32.3%	5 2.2%	0 0.0%
合計	39 7.0%	383 68.9%	126 22.7%	8 1.4%	0 0.0%

40～49才	50～59才	60～64才	65才以上	合計
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	327 100.0%
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	229 100.0%
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	556 100.0%

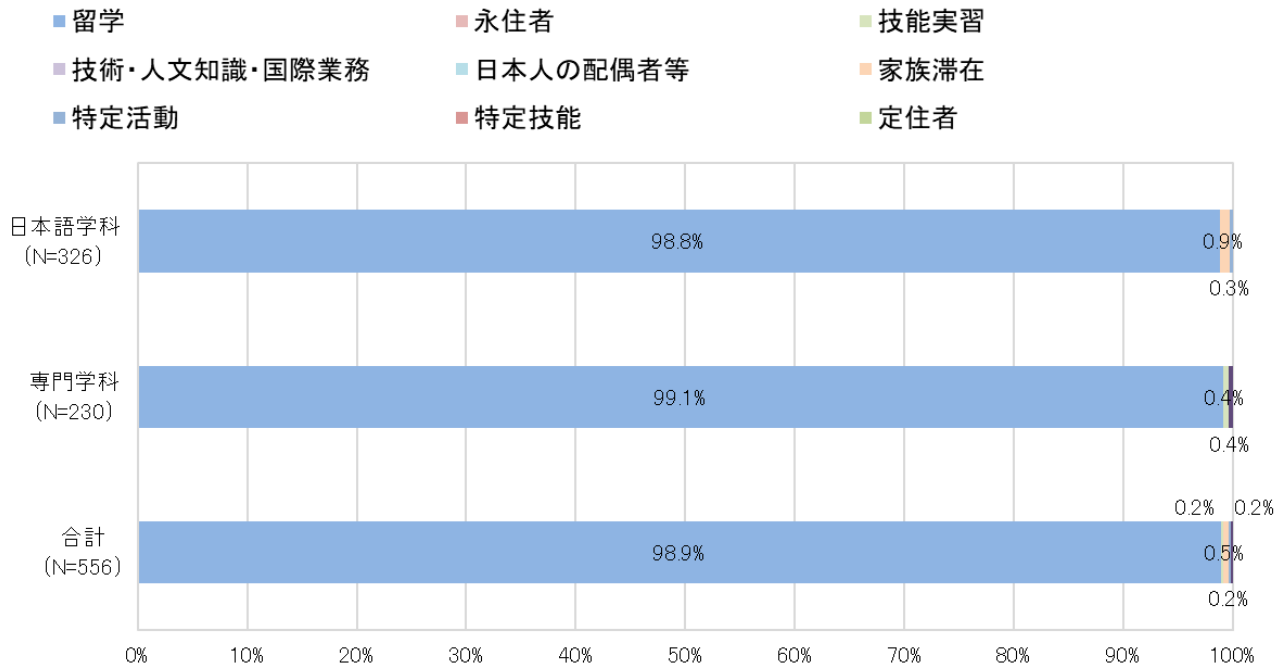
未回答（回答不明含む）5 票を除く

上段：票
下段：横構成比

④在留資格（問 04）

・在留資格について、「留学」の割合が 98.9%とほとんどを占めている。

< 在留資格 >



	留学	永住者	技能実習	技術・人文知識・国際業務	日本人の配偶者等	家族滞在	特定活動	特定技能	定住者
日本語学科	322 98.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%
専門学科	228 99.1%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	550 98.9%	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.5%	1 0.2%	0 0.0%	0 0.0%

介護	技能	教育	教授	宗教	永住者の配偶者等	その他	合計
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	326 100.0%
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	230 100.0%
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	556 100.0%

上段：票

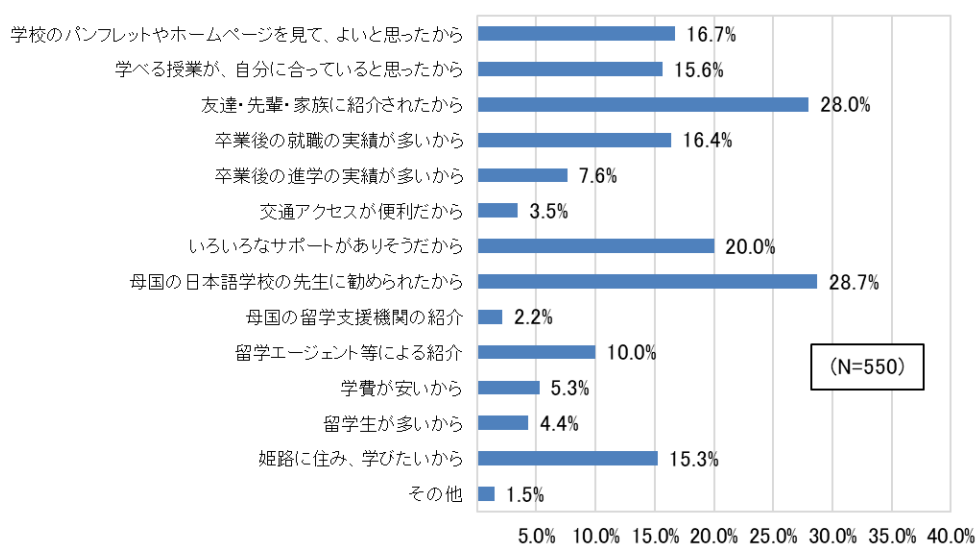
下段：横構成比

未回答（回答不明含む）5 票を除く

⑤今通っている学校を選んだ理由（問 05）【複数選択】

・今通っている学校を選んだ理由について、「母国の日本語学校の先生に勧められたから」の割合が 28.7%と最も高くなっており、次いで「友達・先輩・家族に紹介されたから」が 28.0%となっている。

< 今通っている日本語学校を選んだ理由 >



< その他回答 >

回答	回答数
奨学金をもらったから	1
先生方が優しいですから	1
家族も姫路に住んでいる	1

	学校のパンフレットやホームページを見て、よいと思ったから	学べる授業が、自分に合っていると思ったから	友達・先輩・家族に紹介されたから	卒業後の就職の実績が多いから	卒業後の進学の実績が多いから	交通アクセスが便利だから	いろいろなサポートがありそうだから	母国の日本語学校の先生に勧められたから
日本語学科	41 12.7%	36 11.2%	97 30.1%	30 9.3%	24 7.5%	16 5.0%	61 18.9%	120 37.3%
専門学科	51 22.4%	50 21.9%	57 25.0%	60 26.3%	18 7.9%	3 1.3%	49 21.5%	38 16.7%
合計	92 16.7%	86 15.6%	154 28.0%	90 16.4%	42 7.6%	19 3.5%	110 20.0%	158 28.7%

上段: 票

下段: 横構成比

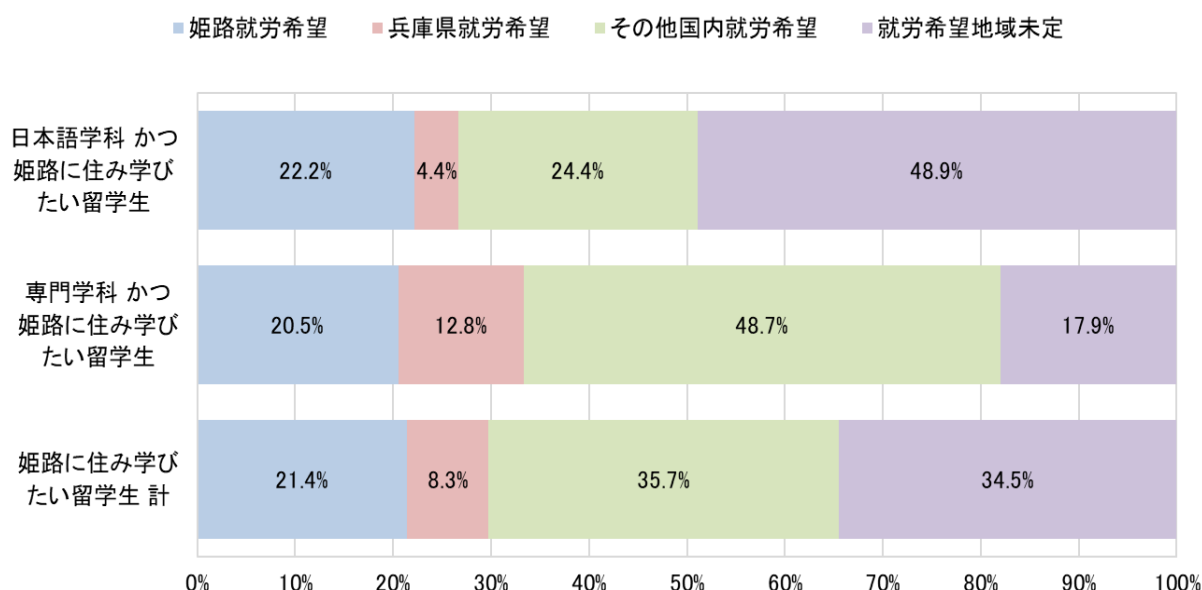
未回答(回答不明含む)11票を除く

母国の留学支援機関の紹介	留学エージェント等による紹介	学費が安いから	留学生が多いから	姫路に住み、学びたいから	その他	合計
9 2.8%	51 15.8%	15 4.7%	15 4.7%	45 14.0%	4 1.2%	322 100.0%
3 1.3%	4 1.8%	14 6.1%	9 3.9%	39 17.1%	4 1.8%	228 100.0%
12 2.2%	55 10.0%	29 5.3%	24 4.4%	84 15.3%	8 1.5%	550 100.0%

(参考) 「姫路に住み、学びたいから」と回答した留学生について

- ・今通っている学校を選んだ理由について、「姫路に住み、学びたいから」の割合は「日本語学科」で 14.0%に対し、「専門学科」では 17.1%と 3.1 ポイント高くなっている。
- ・学科別の「姫路に住み学びたい」選択者の就労希望地域では、「姫路就労希望」の割合が「日本語学科」「専門学科」共に約 2 割と学科別の差は見られない。
- ・「就労希望地域未定」の割合は「日本語学科」で 48.9%と「専門学科」より 31.0 ポイント高くなっており、「その他国内就労希望」は「日本語学科」で 24.4%と「専門学科」より 24.3 ポイント低くなっている。
- ・このことから、「日本語学科」は進学をめざす留学生が多いため、就労については具体化していない人も多く、「専門学科」では、より具体的に就労を考えている人が多いと考えられる。

< 学科別 姫路に住み学びたい留学生の就労希望地域 >



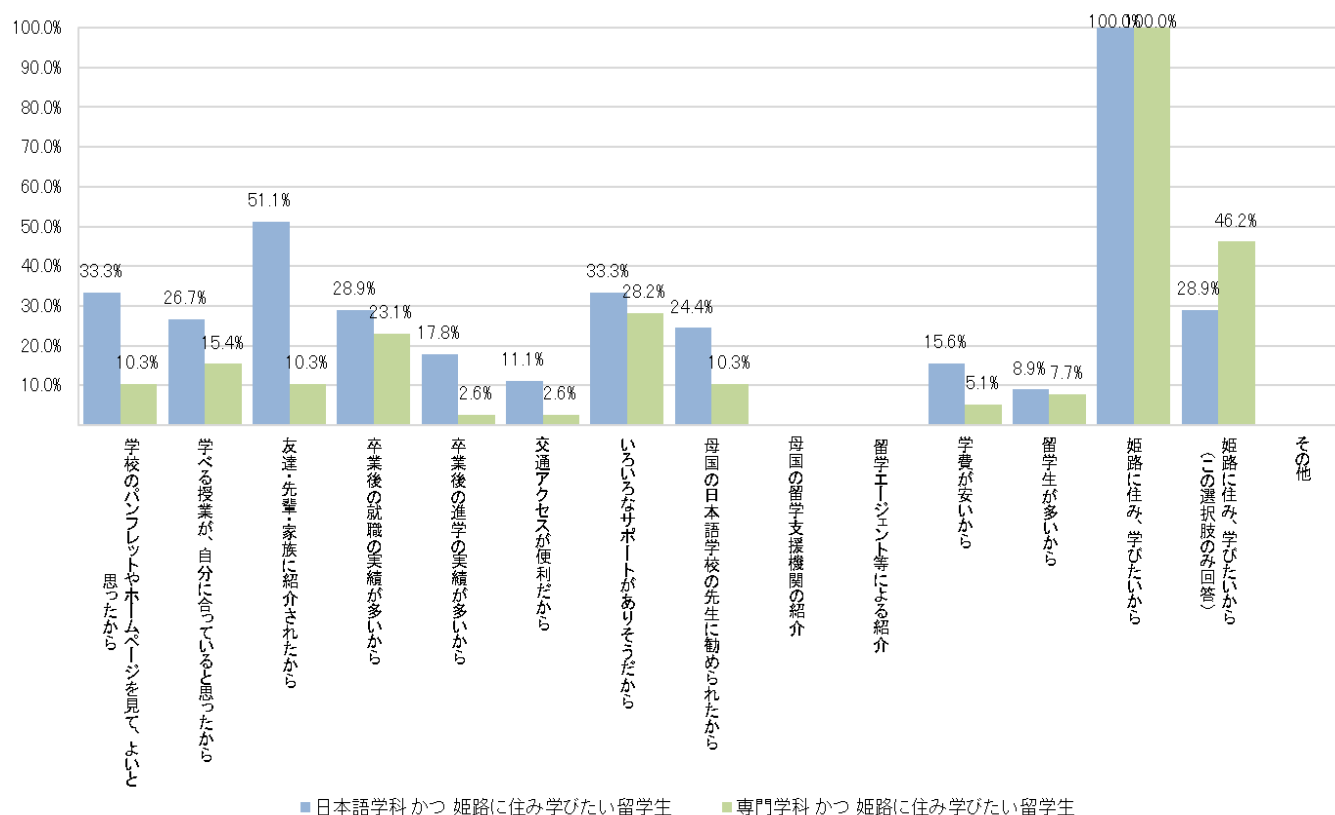
分類	姫路就労希望	兵庫県就労希望	その他国内就労希望	就労希望地域未定	合計
日本語学科	10 (22.2%)	2 (4.4%)	11 (24.4%)	22 (48.9%)	45 (100.0%)
専門学科	8 (20.5%)	5 (12.8%)	19 (48.7%)	7 (17.9%)	39 (100.0%)
回答者合計	18 (21.4%)	7 (8.3%)	30 (35.7%)	29 (34.5%)	84 (100.0%)

上段: 票

下段: 横構成比

- ・学科別に「姫路に住み学びたい」選択者の学校を選んだ理由を見ると、「日本語学科」では「姫路に住み、学びたいから」だけでなく、複数の選択肢を回答する留学生が多くなっている。
- ・「専門学科」では、「姫路に住み、学びたいから」のみ回答した方の割合が46.2%と高くなっている。
- ・このことから、「日本語学科」の留学生は、学校の所在地だけでなく、複数の理由で学校を選択していると考えられる。

＜ 学科別 姫路に住み学びたい選択者の学校を選んだ理由 回答状況 ＞



分類	学校のパンフレットやホームページを見て、よいと思ったから	学べる授業が、自分に合っていると思ったから	友達・先輩・家族に紹介されたから	卒業後の就職の実績が多いから	卒業後の進学の実績が多いから	交通アクセスが便利だから	いろいろなサポートがありそうだから	母国の日本語学校の先生に勧められたから	母国の留学支援機関の紹介	留学エージェント等による紹介	学費が安いから	留学生が多いから	姫路に住み、学びたいから	姫路に住み、学びたいから (この選択肢のみ回答)	その他	合計
日本語学科	15 (33.3%)	12 (26.7%)	23 (51.1%)	13 (28.9%)	8 (17.8%)	5 (11.1%)	15 (33.3%)	11 (24.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (15.6%)	4 (8.9%)	45 (100.0%)	13 (28.9%)	0 (0.0%)	45 (100.0%)
専門学科	4 (10.3%)	6 (15.4%)	4 (10.3%)	9 (23.1%)	1 (2.6%)	1 (2.6%)	11 (28.2%)	4 (10.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	3 (7.7%)	39 (100.0%)	18 (46.2%)	0 (0.0%)	39 (100.0%)
回答者合計	19 (22.6%)	18 (21.4%)	27 (32.1%)	22 (26.2%)	9 (10.7%)	6 (7.1%)	26 (31.0%)	15 (17.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (10.7%)	7 (8.3%)	84 (100.0%)	31 (36.9%)	0 (0.0%)	84 (100.0%)

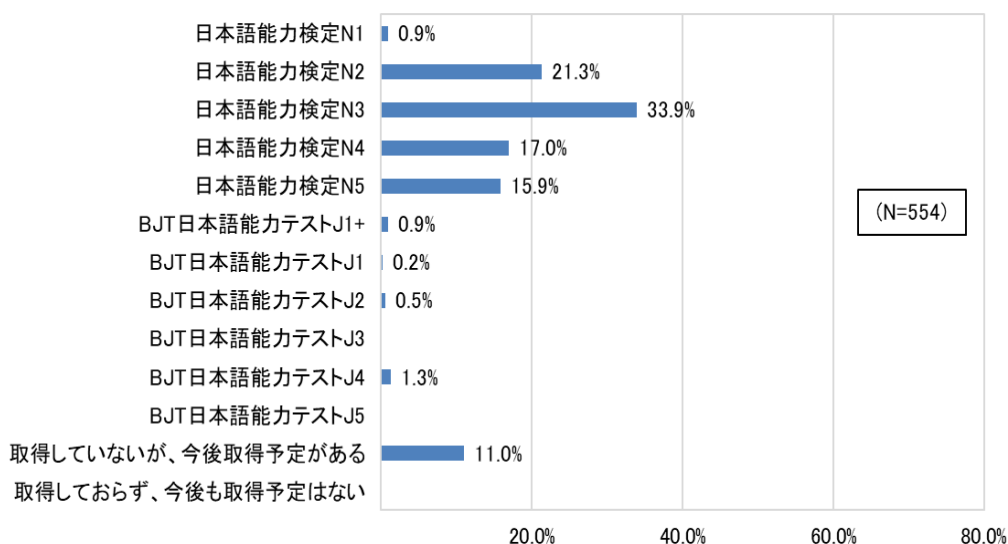
上段: 票
下段: 横構成比

⑥現在の日本語能力試験検定レベル（問 06）【複数選択】

- ・現在の日本語能力試験検定レベル*について、「日本語能力検定 N3」の割合が 33.9%と最も高くなっており、次いで「日本語能力検定 N2」が 21.3%、「日本語検定能力 N4」が 17.0%、「日本語能力検定 N5」が 15.9%となっている。

※同一の日本語能力試験で複数回答している場合は、上位のレベルを採用して集計した

＜ 現在の日本語能力試験検定レベル（全体回答） ＞



	N1	N2	N3	N4	N5	J1+	J1
日本語学科	1 0.3%	12 3.7%	76 23.3%	92 28.2%	88 27.0%	5 1.5%	0 0.0%
専門学科	4 1.8%	106 46.5%	112 49.1%	2 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%
合計	5 0.9%	118 21.3%	188 33.9%	94 17.0%	88 15.9%	5 0.9%	1 0.2%

上段：票

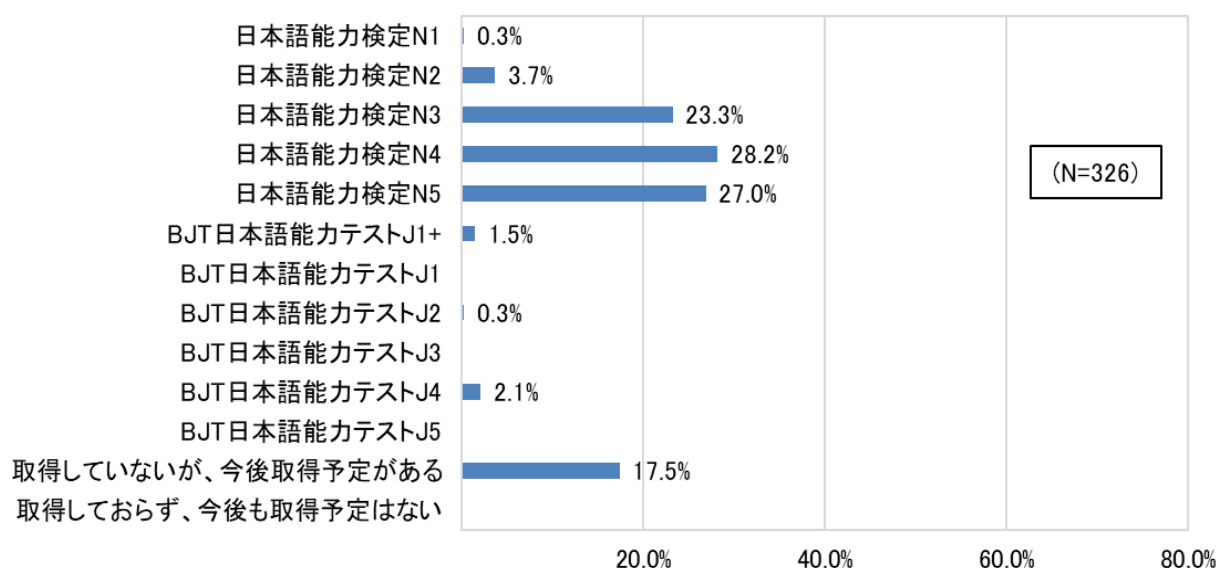
下段：横構成比

未回答（回答不明含む）7票を除く

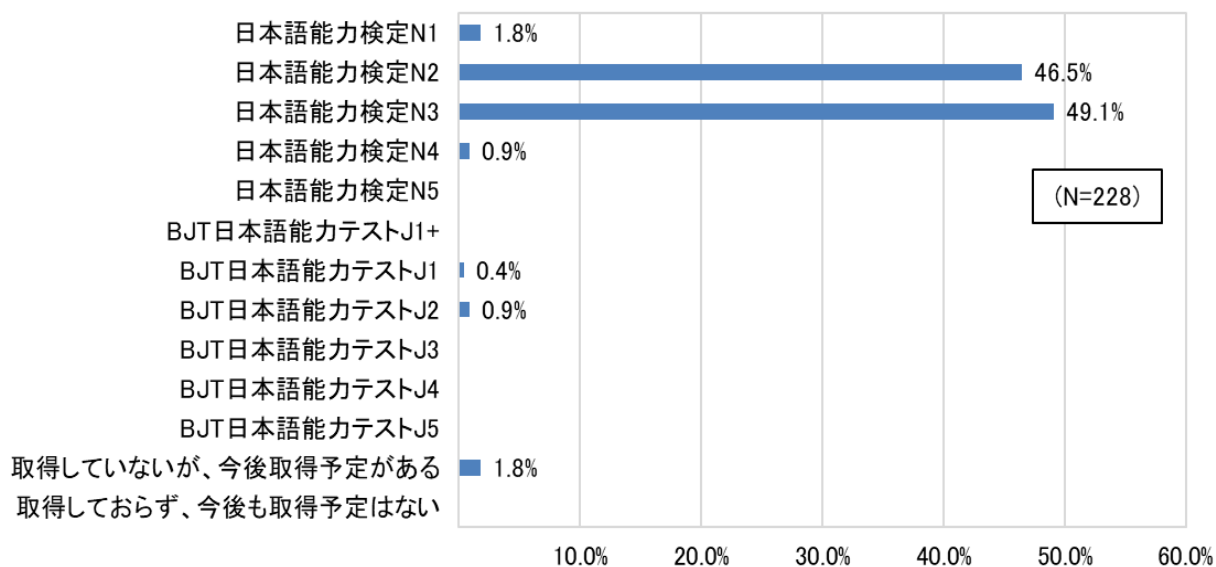
J2	J3	J4	J5	取得していないが、今後取得予定がある	取得しておらず、今後取得予定はない	合計
1 0.3%	0 0.0%	7 2.1%	0 0.0%	57 17.5%	0 0.0%	326 100.0%
2 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.8%	0 0.0%	228 100.0%
3 0.5%	0 0.0%	7 1.3%	0 0.0%	61 11.0%	0 0.0%	554 100.0%

- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「日本語能力検定 N4」の割合が 28.2%と最も高くなっており、次いで「日本語能力検定 N5」が 27.0%、「日本語能力検定 N3」23.3%となっている。
- ・「専門学科」では「日本語能力検定 N3」の割合が 49.1%と最も高くなっており、次いで「日本語能力検定 N2」が 46.5%となっている。

日本語学科



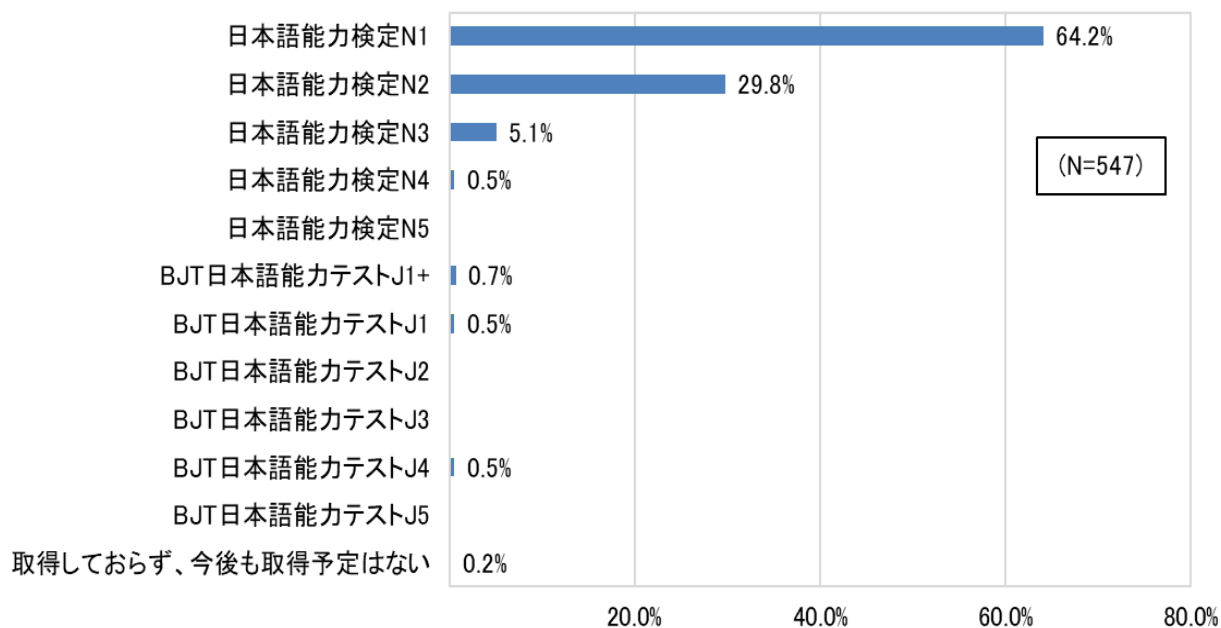
専門学科



⑦将来目標としている日本語能力試験検定レベル（問 07）【複数選択】

- ・将来目標としている日本語能力試験検定レベルについて、「日本語能力検定 N1」の割合が 64.2%と最も高くなっており、次いで「日本語能力検定 N2」が 29.8%となっている。

< 将来目標としている日本語能力試験検定レベル >



	N1	N2	N3	N4	N5	J1+	J1
日本語学科	188 58.0%	115 35.5%	17 5.2%	3 0.9%	0 0.0%	2 0.6%	1 0.3%
専門学科	163 73.1%	48 21.5%	11 4.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	2 0.9%
合計	351 64.2%	163 29.8%	28 5.1%	3 0.5%	0 0.0%	4 0.7%	3 0.5%

J2	J3	J4	J5	取得しておらず、今後も取得予定はない	合計
0 0.0%	0 0.0%	3 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	324 100.0%
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	223 100.0%
0 0.0%	0 0.0%	3 0.5%	0 0.0%	1 0.2%	547 100.0%

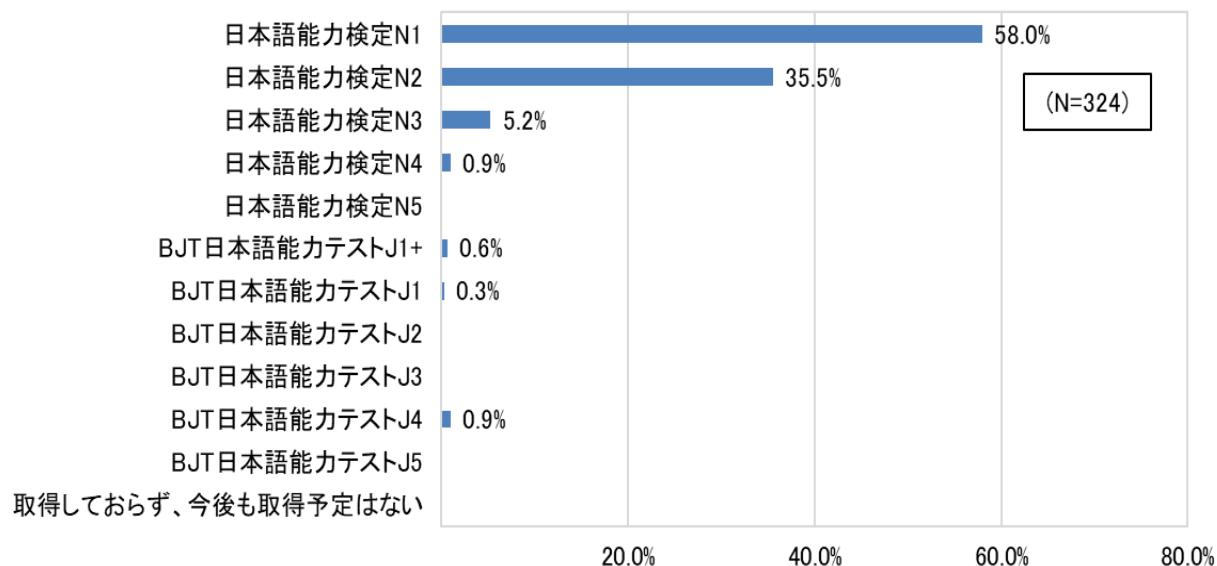
上段：票

下段：横構成比

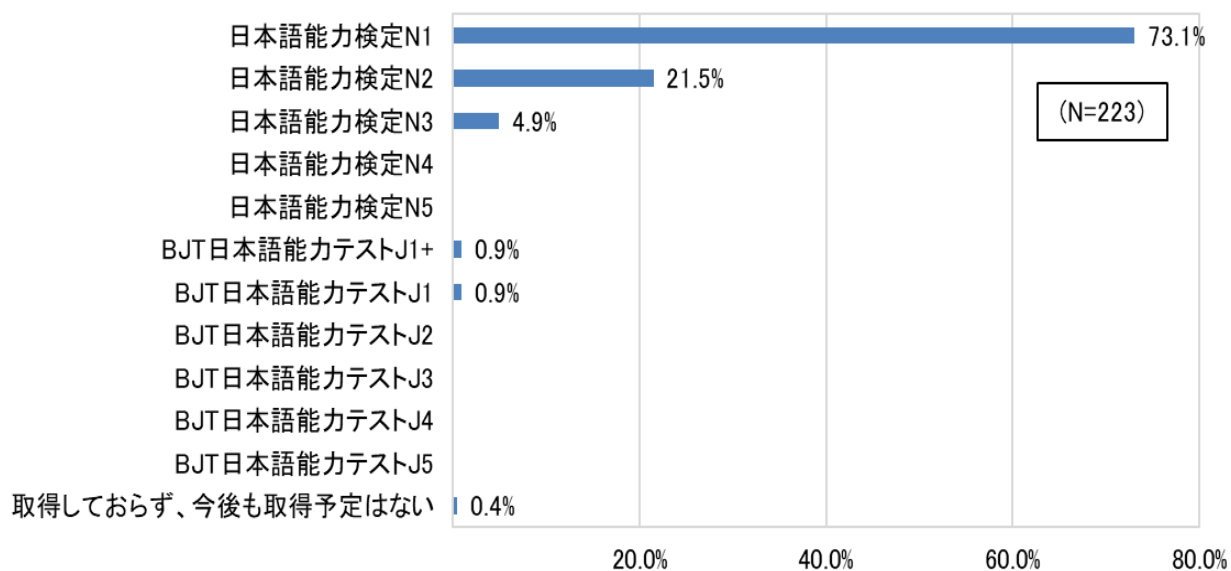
未回答（回答不明含む）14 票を除く

- ・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に「日本語能力検定 N1」の割合が最も高くなっており、次いで「日本語能力検定 N2」となっている。

日本語学科



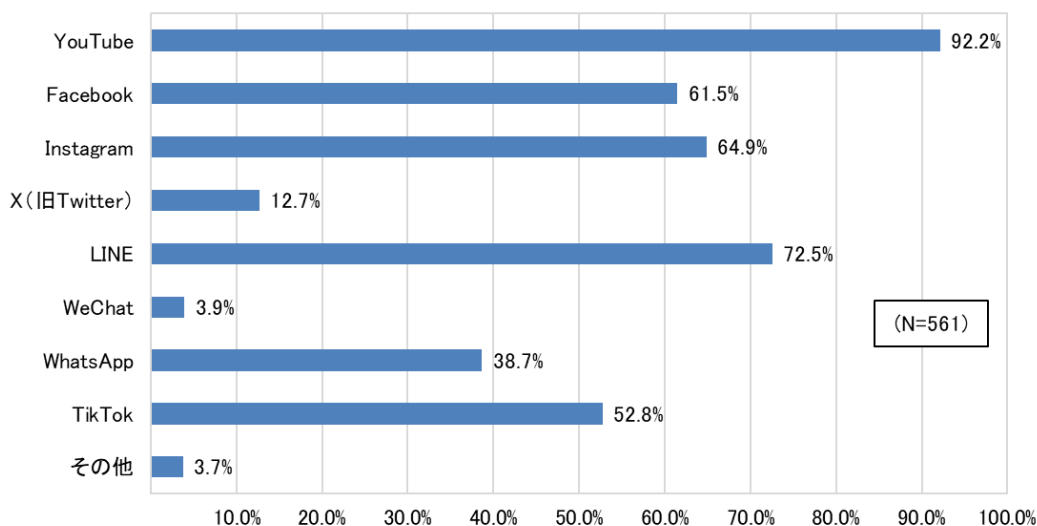
専門学科



⑧使っているSNS（問08）【複数選択】

- ・使っているSNSについて、「YouTube」の割合が92.2%と最も高くなっており、次いで「LINE」が72.5%、「Instagram」が64.9%、「Facebook」が61.5%となっている。

< 使っているSNS >



< その他回答 >

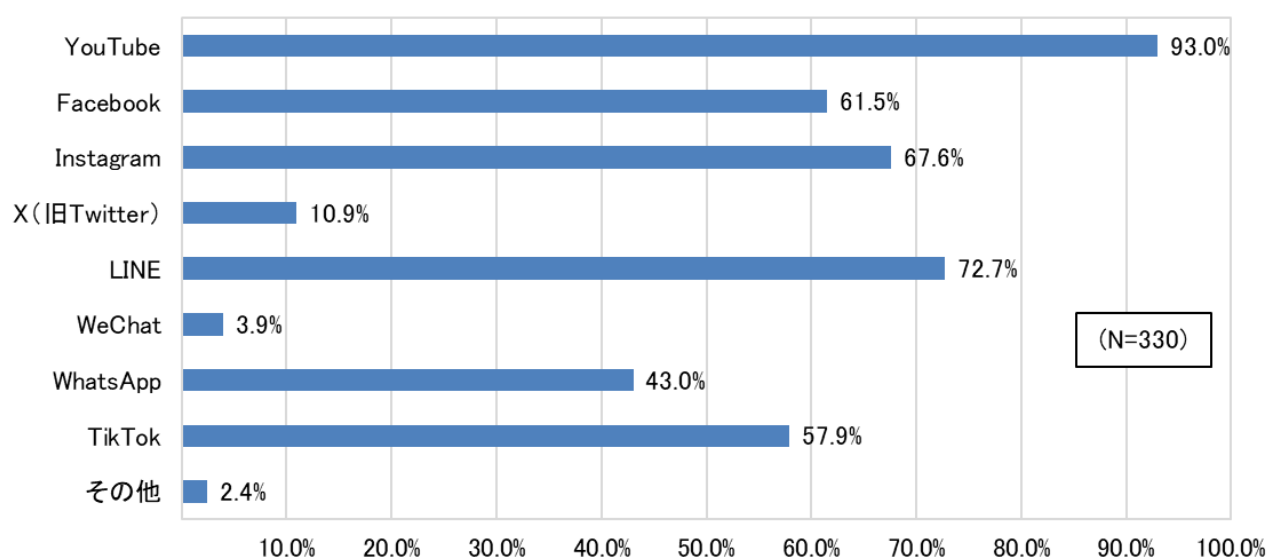
回答	回答数
Messenger	2
linden, Thneed	1
Tinder, litmatc, discord	1
Telegram	1
Douyin(中国版TikTok), Weibo, TencentQQ, Douban, Youku, Baidu Tieba	1
Snapchat	1
Threads	1
IMO	1
Zalo	1
IMO, Zalo, telegram, Snapchat	1
Treads	1
Discord/Snapchat/Pinterest	1

	YouTube	Facebook	Instagram	X(旧Twitter)	LINE	WeChat	WhatsApp	TikTok	その他	合計
日本語学科	307 93.0%	203 61.5%	223 67.6%	36 10.9%	240 72.7%	13 3.9%	142 43.0%	191 57.9%	8 2.4%	330 100.0%
専門学科	210 90.9%	142 61.5%	141 61.0%	35 15.2%	167 72.3%	9 3.9%	75 32.5%	105 45.5%	13 5.6%	231 100.0%
合計	517 92.2%	345 61.5%	364 64.9%	71 12.7%	407 72.5%	22 3.9%	217 38.7%	296 52.8%	21 3.7%	561 100.0%

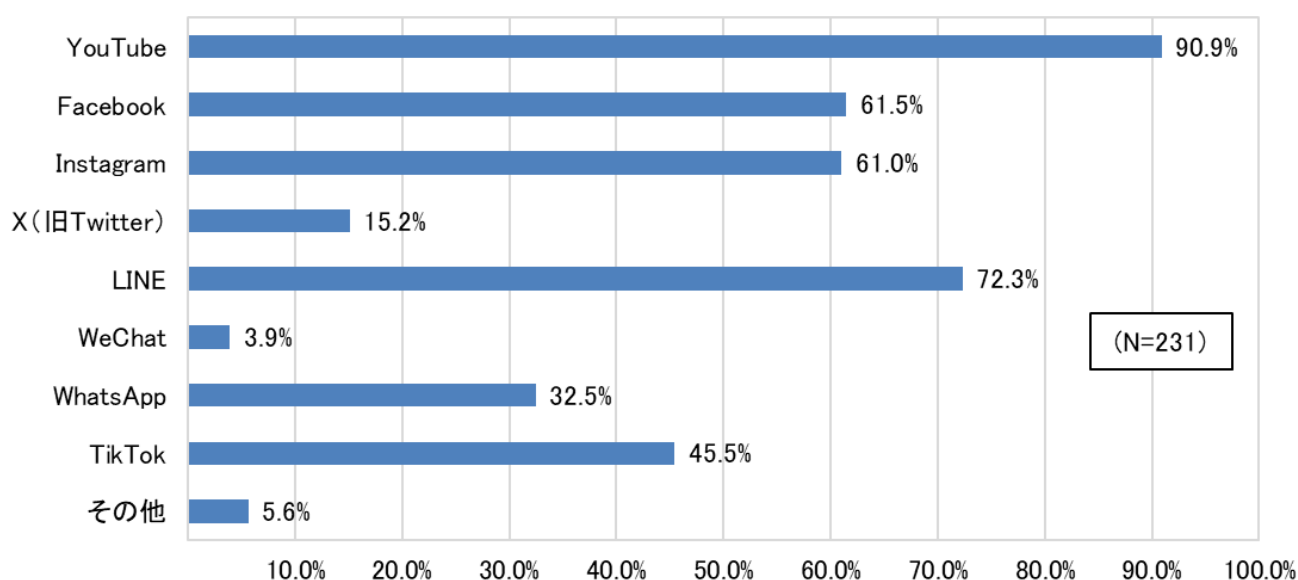
上段：票
下段：横構成比

- 学科別に見ると、「日本語学科」では「YouTube」の割合が93.0%と最も高くなっており、次いで「LINE」が72.7%、「Instagram」が67.6%、「Facebook」が61.5%となっている。
- 「専門学科」では「YouTube」の割合が90.9%と最も高くなっており、次いで「LINE」が72.3%、「Facebook」が61.5%、「Instagram」が61.0%となっている。

日本語学科



専門学科

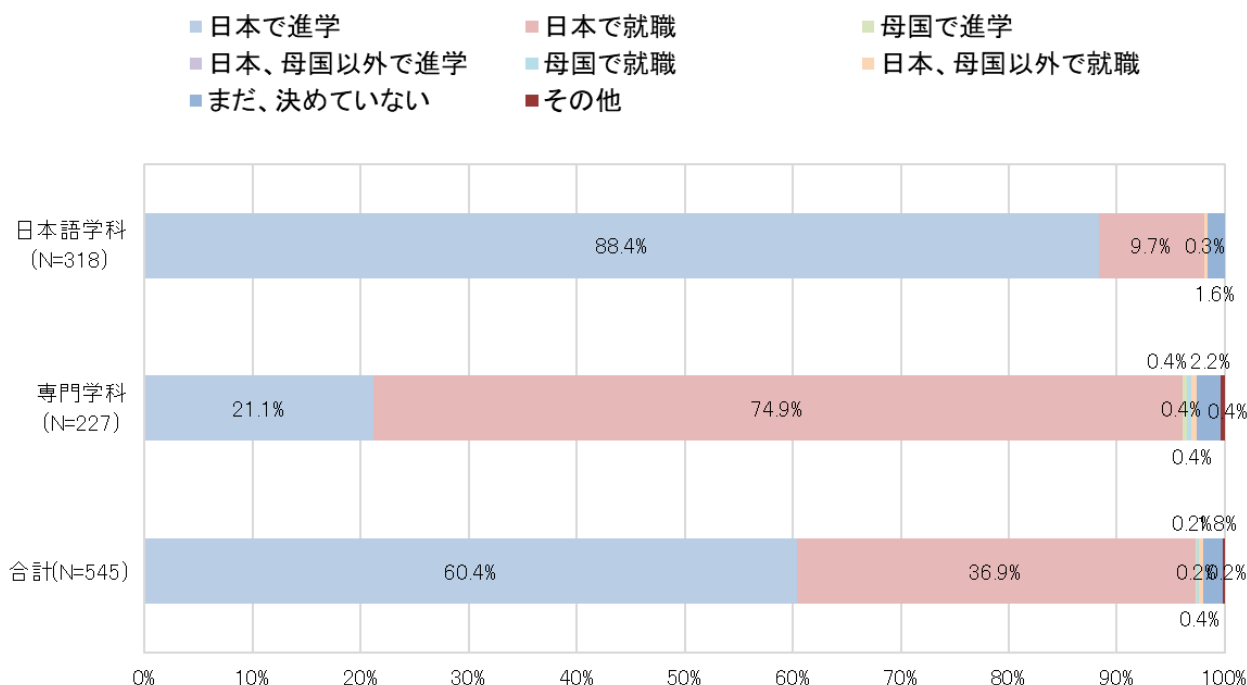


(2) 今後の進路について

①卒業後の進路希望（問 09）

- ・卒業後の進路について、「日本で進学」の割合が 60.4%と最も高くなっており、次いで「日本で就職」が 36.9%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「日本で進学」の割合が 88.4%と最も高くなっており、次いで「日本で就職」が 9.7%となっている。
- ・「専門学科」では「日本で就職」の割合が 74.9%と最も高くなっており、次いで「日本で進学」が 21.1%となっている。

< 卒業後の進路希望 >



	日本で進学	日本で就職	母国で進学	日本、母国以外で進学	母国で就職	日本、母国以外で就職	まだ、決めていない	その他	合計
日本語学科	281 88.4%	31 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	5 1.6%	0 0.0%	318 100.0%
専門学科	48 21.1%	170 74.9%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.4%	1 0.4%	5 2.2%	1 0.4%	227 100.0%
合計	329 60.4%	201 36.9%	1 0.2%	0 0.0%	1 0.2%	2 0.4%	10 1.8%	1 0.2%	545 100.0%

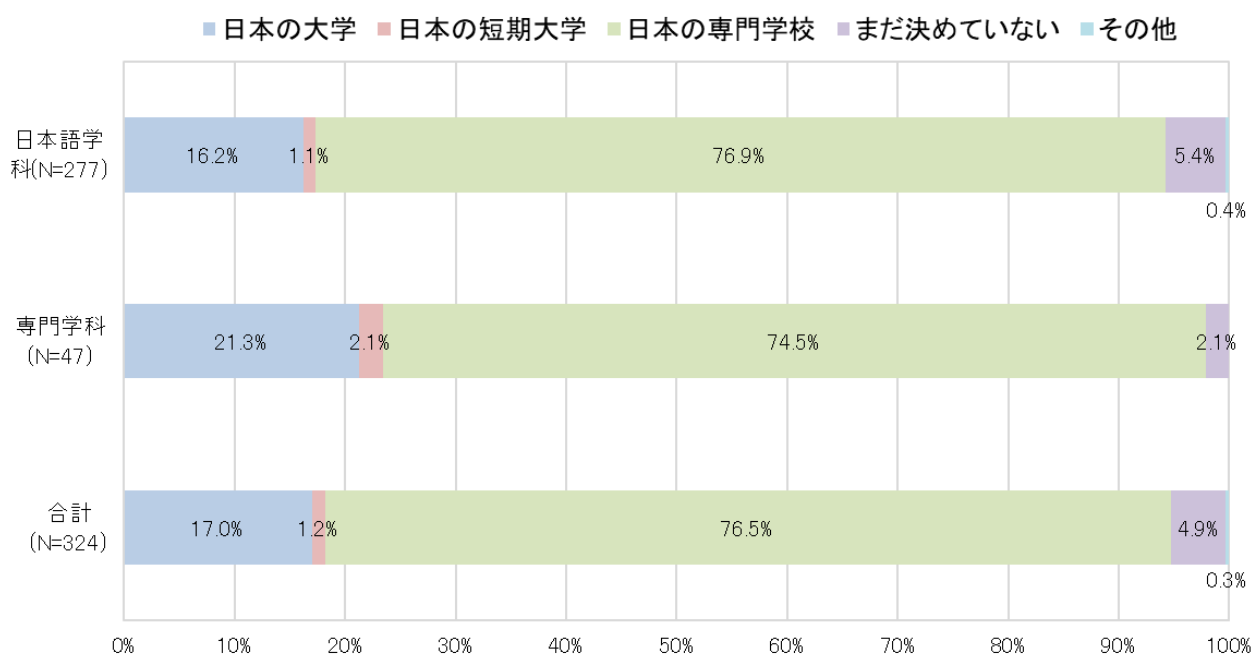
未回答(回答不明含む)16票を除く

上段: 票
下段: 横構成比

②日本での進学先（問 10-1）

- ・日本での進学先について、「日本の専門学校」の割合が 76.5%と最も高くなっており、次いで「日本の大学」が 17.0%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に「日本の専門学校」の割合が最も高くなっており、次いで「日本の大学」となっている。

< 日本での進学先 >



	日本の大学	日本の短期大学	日本の専門学校	まだ決めていない	その他	合計
日本語学科	45 16.2%	3 1.1%	213 76.9%	15 5.4%	1 0.4%	277 100.0%
専門学科	10 21.3%	1 2.1%	35 74.5%	1 2.1%	0 0.0%	47 100.0%
合計	55 17.0%	4 1.2%	248 76.5%	16 4.9%	1 0.3%	324 100.0%

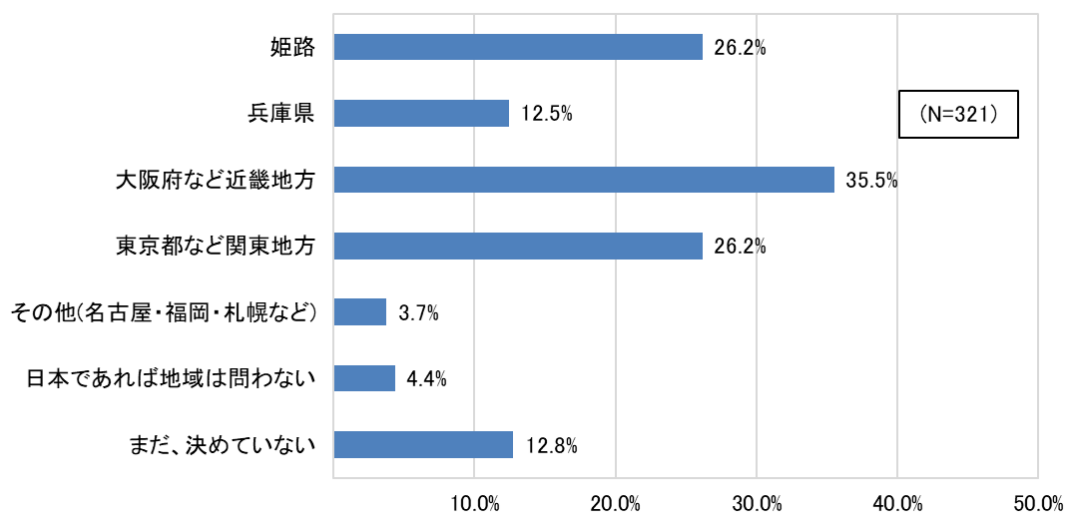
未回答(回答不明含む)5票を除く

上段: 票
下段: 横構成比

③日本で進学したい地域（問 10-2）

- ・日本で進学したい地域について、「大阪府など近畿地方」の割合が 35.5%と最も高くなっており、次いで「姫路」と「東京都など関東地方」が 26.2%となっている。

< 日本で進学したい地域 >



	姫路	兵庫県	大阪府など近畿地方	東京都など関東地方	その他(名古屋・福岡・札幌など)	日本であれば地域は問わない	まだ、決めていない	合計
日本語学科	72 26.4%	31 11.4%	94 34.4%	70 25.6%	12 4.4%	13 4.8%	36 13.2%	273 100.0%
専門学科	12 25.0%	9 18.8%	20 41.7%	14 29.2%	0 0.0%	1 2.1%	5 10.4%	48 100.0%
合計	84 26.2%	40 12.5%	114 35.5%	84 26.2%	12 3.7%	14 4.4%	41 12.8%	321 100.0%

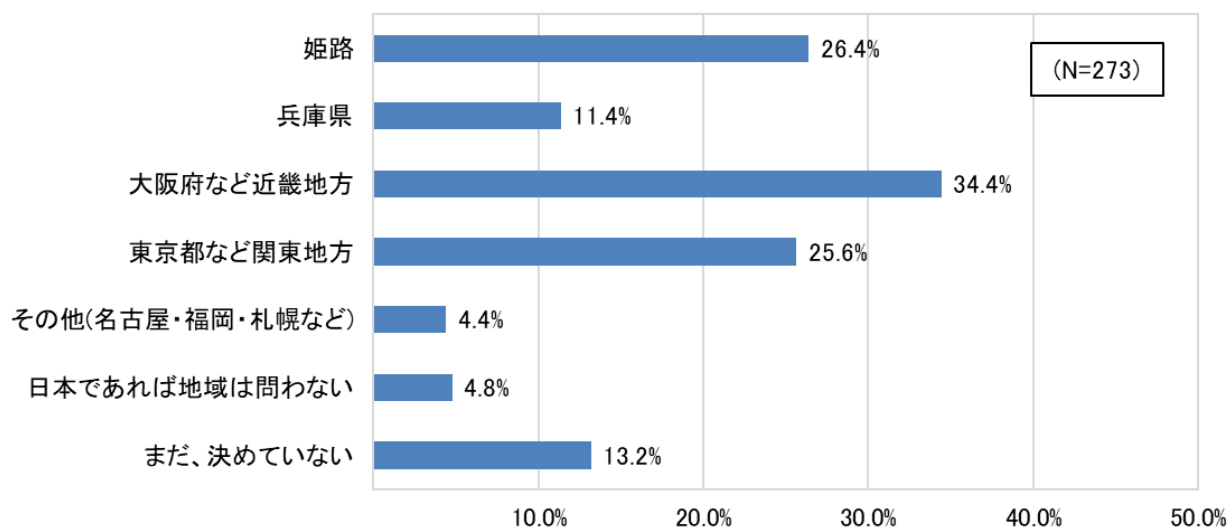
未回答(回答不明含む)8票を除く

上段: 票

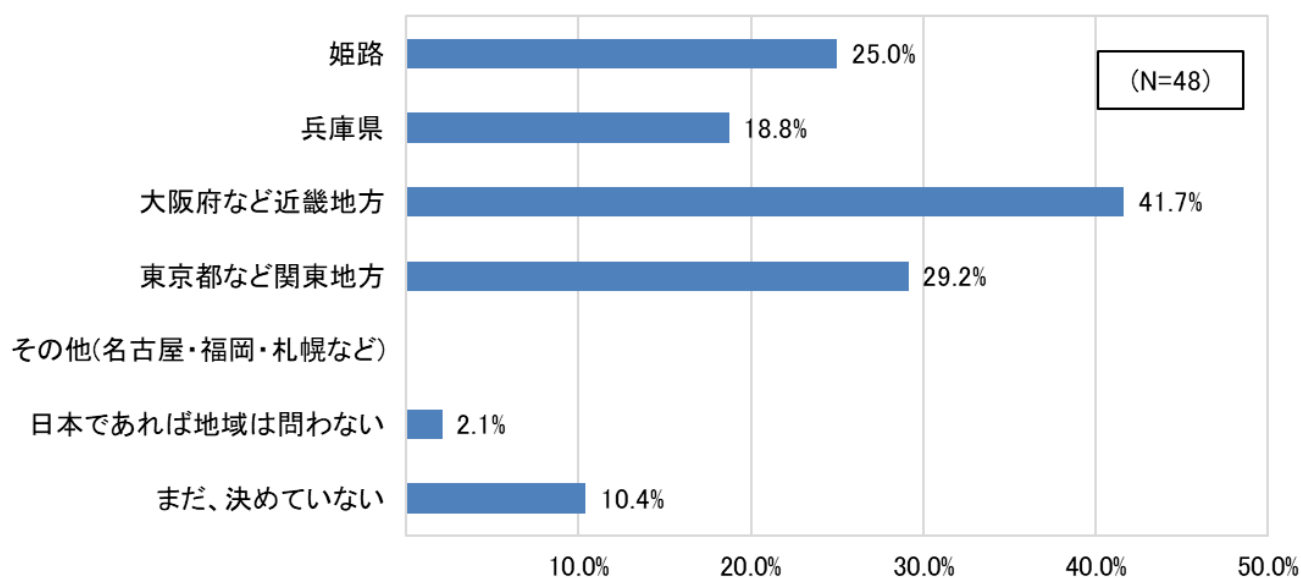
下段: 横構成比

- 学科別に見ると、「日本語学科」は「大阪府など近畿地方」の割合が 34.4%と最も高くなっており、次いで「姫路」が 26.4%、「東京都など関東地方」が 25.6%となっている。
- 「専門学科」は「大阪府など近畿地方」の割合が 41.7%と最も高くなっており、次いで「東京都など関東地方」が 29.2%、「姫路」が 25.0%となっている。

日本語学科



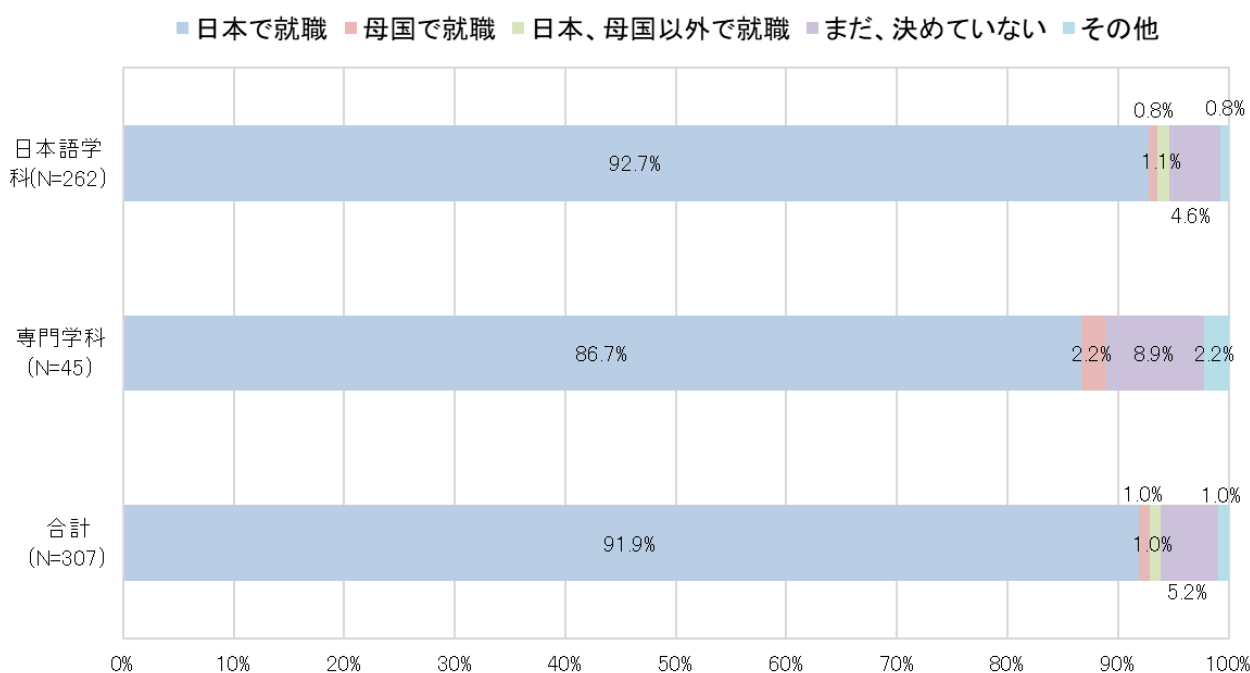
専門学科



④進学先を卒業した後の進路希望（問 10-3）

- ・進学先を卒業した後の進路について、「日本で就職」の割合が 91.9%と最も高くなっており、次いで「まだ、決めていない」が 5.2%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に「日本で就職」の割合が最も高くなっており、次いで「まだ、決めていない」となっている。

< 進学先を卒業した後の進路希望 >



回答	回答数
研究者	1

	日本で就職	母国で就職	日本、母国以外で就職	まだ、決めていない	その他	合計
日本語学科	243 92.7%	2 0.8%	3 1.1%	12 4.6%	2 0.8%	262 100.0%
専門学科	39 86.7%	1 2.2%	0 0.0%	4 8.9%	1 2.2%	45 100.0%
合計	282 91.9%	3 1.0%	3 1.0%	16 5.2%	3 1.0%	307 100.0%

未回答（回答不明含む）22 票を除く

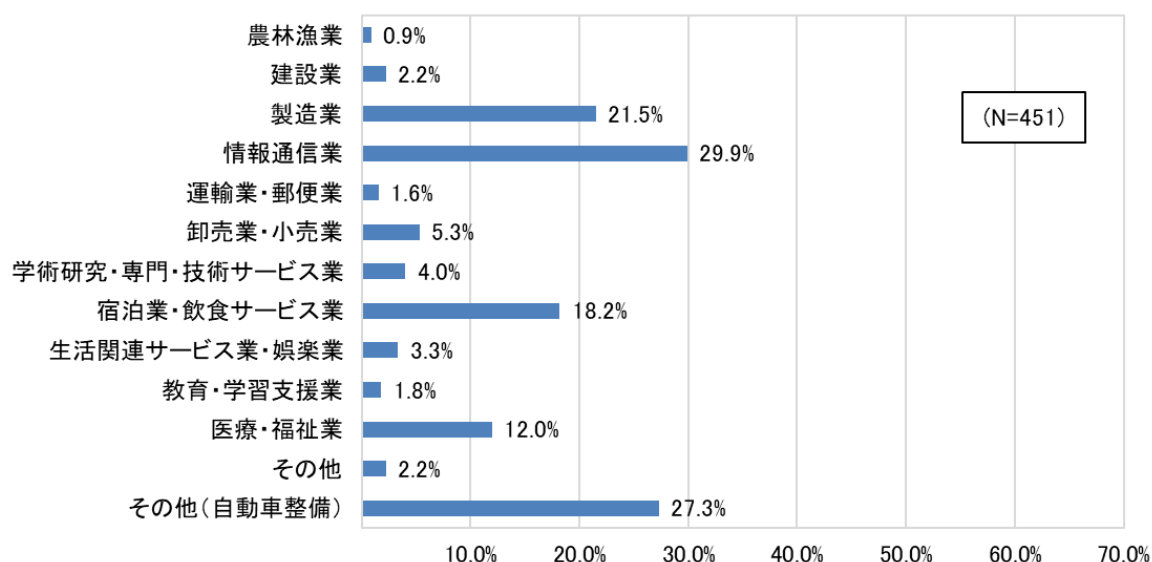
上段：票
下段：構成員比

⑤日本での就職分野（問 11-1）【複数選択】

- ・日本での就職分野について、「情報通信業※」の割合が 29.9%と最も高くなっており、次いで「その他（自動車整備）※」が 27.3%、「製造業※」が 21.5%となっている。

※日本での就職分野は、調査対象の専門学校における専門分野が自動車工学科・コミュニケーション学科等となっていることに影響を受けていると考えられる。

< 日本での就職分野 >



< その他回答 >

回答	回答数
まだ決めていない	1
会社員	2

	農林漁業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業
日本語学科	0 0.0%	5 2.1%	43 17.7%	99 40.7%	4 1.6%	17 7.0%
専門学科	4 1.9%	5 2.4%	54 26.0%	36 17.3%	3 1.4%	7 3.4%
合計	4 0.9%	10 2.2%	97 21.5%	135 29.9%	7 1.6%	24 5.3%

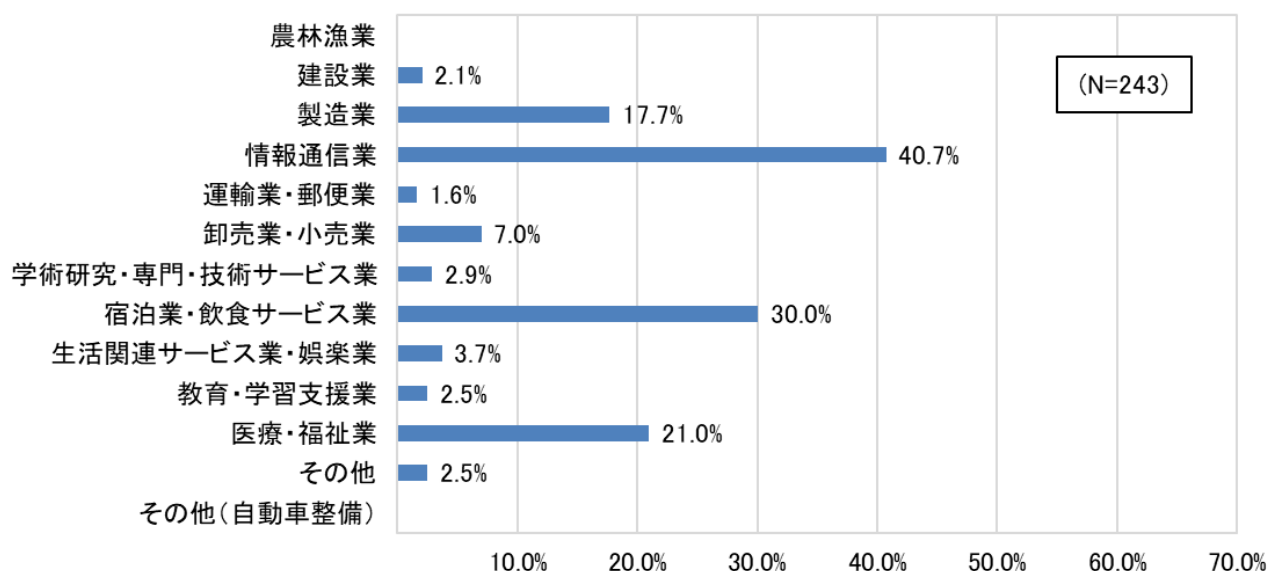
学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉業	その他	その他（自動車整備）	合計
7 2.9%	73 30.0%	9 3.7%	6 2.5%	51 21.0%	6 2.5%	0 0.0%	243 100.0%
11 5.3%	9 4.3%	6 2.9%	2 1.0%	3 1.4%	4 1.9%	123 59.1%	208 100.0%
18 4.0%	82 18.2%	15 3.3%	8 1.8%	54 12.0%	10 2.2%	123 27.3%	451 100.0%

未回答（回答不明含む）32 票を除く

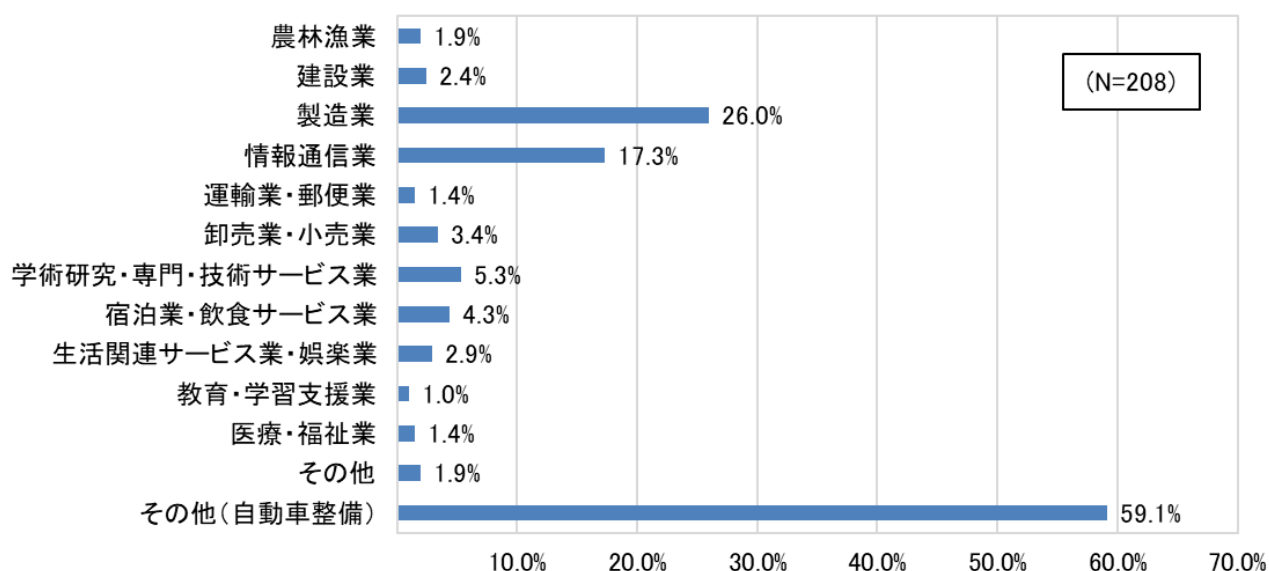
上段：票
下段：横構成比

- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「情報通信業」の割合が40.7%と最も高くなっており、次いで「宿泊業・飲食サービス業」が30.0%となっている。
- ・「専門学科」では「その他（自動車整備）」の割合が59.1%と最も高くなっており、次いで「製造業」が26.0%となっている。

日本語学科



専門学科

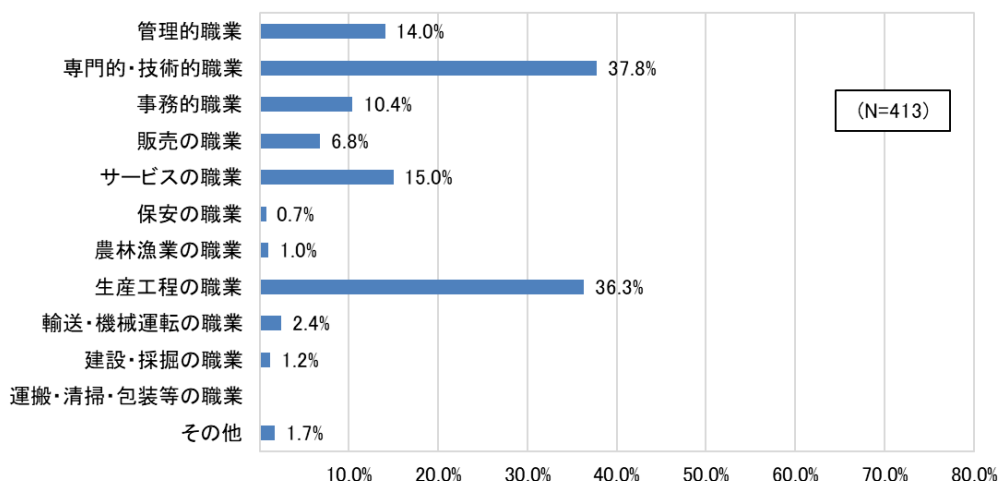


⑥日本で就きたい職種（問 11-2）【複数選択】

- ・日本で就きたい職種について、「専門的・技術的職業※」の割合が 37.8%と最も高くなっており、次いで「生産工程の職業※」が 36.3%となっている。

※日本での職種は、調査対象の専門学校における専門分野が自動車工学科・コミュニケーション学科等となっていることに影響を受けていると考えられる。

< 日本での職種 >



	管理的職業	専門的・技術的職業	事務的職業	販売の職業	サービスの職業	保安の職業	農林漁業の職業
日本語学科	39 17.3%	115 51.1%	31 13.8%	12 5.3%	52 23.1%	0 0.0%	0 0.0%
専門学科	19 10.1%	41 21.8%	12 6.4%	16 8.5%	10 5.3%	3 1.6%	4 2.1%
合計	58 14.0%	156 37.8%	43 10.4%	28 6.8%	62 15.0%	3 0.7%	4 1.0%

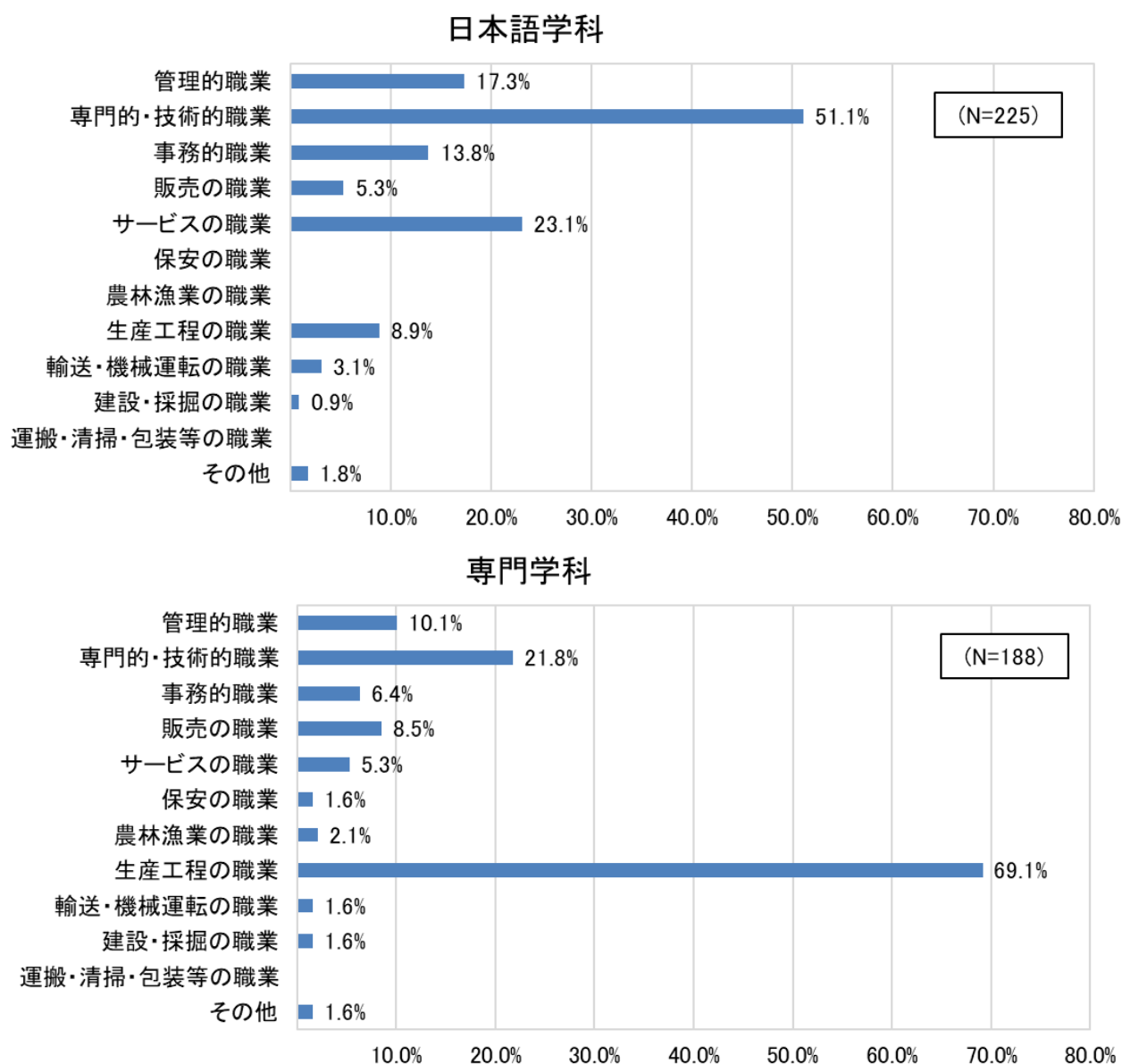
上段：票

下段：横構成比

未回答（回答不明含む）70 票を除く

生産工程の職業	輸送・機械運転の職業	建設・採掘の職業	運搬・清掃・包装等の職業	その他	合計
20 8.9%	7 3.1%	2 0.9%	0 0.0%	4 1.8%	225 100.0%
130 69.1%	3 1.6%	3 1.6%	0 0.0%	3 1.6%	188 100.0%
150 36.3%	10 2.4%	5 1.2%	0 0.0%	7 1.7%	413 100.0%

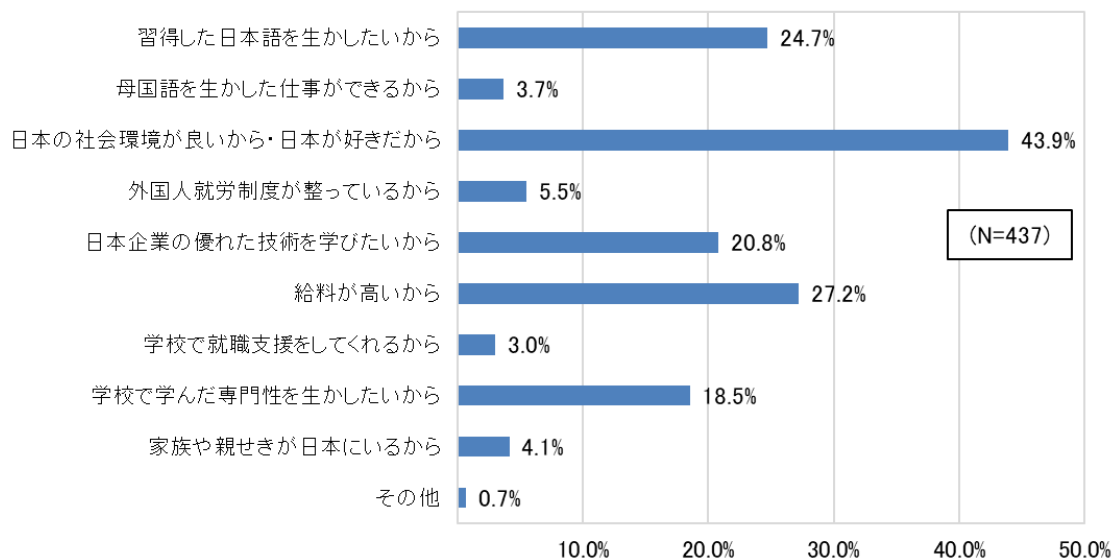
- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「専門的・技術的職業」の割合が51.1%と最も高くなっており、次いで「サービスの職業」が23.1%となっている。
- ・「専門学科」では「生産工程の職業」の割合が69.1%と最も高くなっており、「専門的・技術的職業」が21.8%となっている。



⑦日本で就職したい理由（問 11-3）【複数選択】

・日本で就職したい理由について、「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」の割合が 43.9%と最も高くなっており、次いで「給料が高いから」が 27.2%、「習得した日本語を生かしたいから」が 24.7%、「日本企業の優れた技術を学びたいから」が 20.8%となっている。

＜日本で就職したい理由＞



	習得した日本語を生かしたいから	母国語を生かした仕事ができるから	日本の社会環境が良いから・日本が好きだから	外国人就労制度が整っているから	日本企業の優れた技術を学びたいから	給料が高いから
日本語学科	85 36.3%	13 5.6%	107 45.7%	16 6.8%	27 11.5%	67 28.6%
専門学科	23 11.3%	3 1.5%	85 41.9%	8 3.9%	64 31.5%	52 25.6%
合計	108 24.7%	16 3.7%	192 43.9%	24 5.5%	91 20.8%	119 27.2%

上段：票

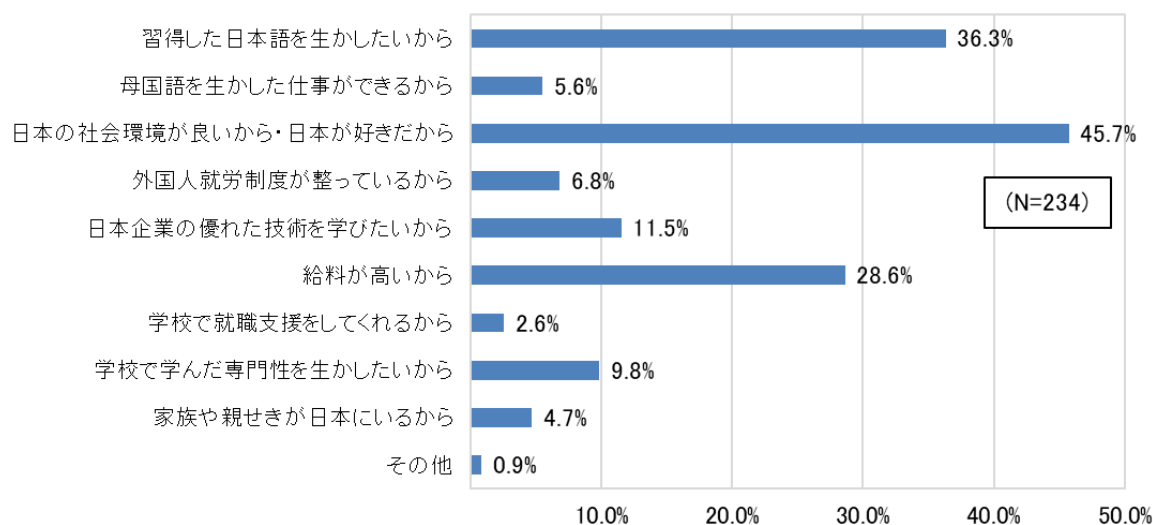
下段：横構成比

未回答（回答不明含む）46票を除く

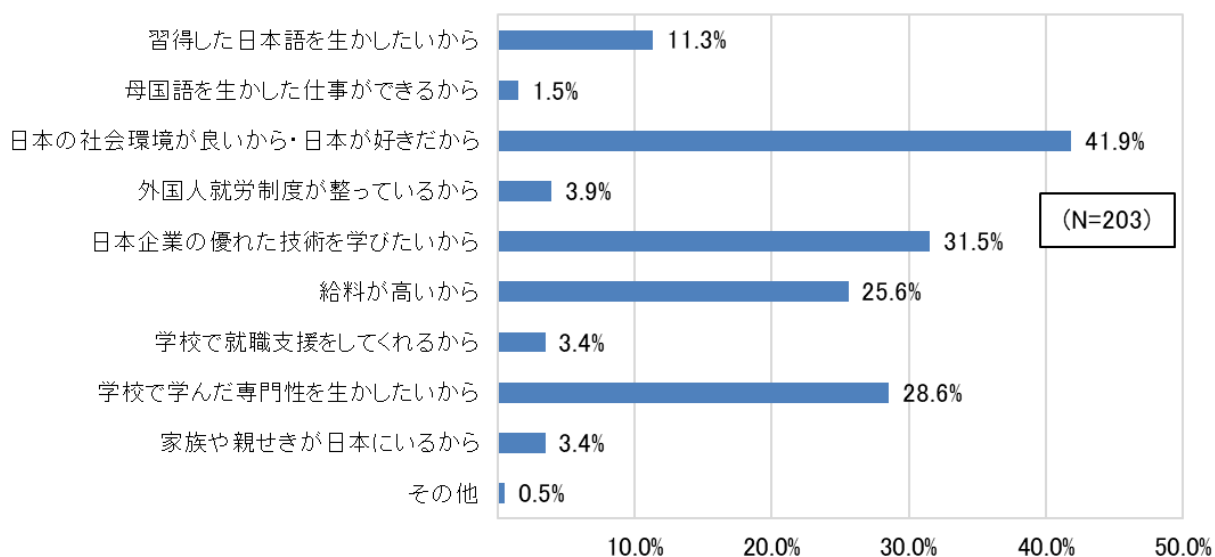
学校で就職支援をしてくれるから	学校で学んだ専門性を生かしたいから	家族や親せきが日本にいるから	その他	合計
6 2.6%	23 9.8%	11 4.7%	2 0.9%	234 100.0%
7 3.4%	58 28.6%	7 3.4%	1 0.5%	203 100.0%
13 3.0%	81 18.5%	18 4.1%	3 0.7%	437 100.0%

- ・学科別に見ると、「日本語学科」は「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」の割合が45.7%と最も高くなっており、次いで「習得した日本語を生かしたいから」が36.3%となっている。
- ・「専門学科」では、「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」の割合が41.9%と最も高くなっており、次いで「日本企業の優れた技術を学びたいから」が31.5%、「学校で学んだ専門性を生かしたいから」が28.6%となっている。

日本語学科



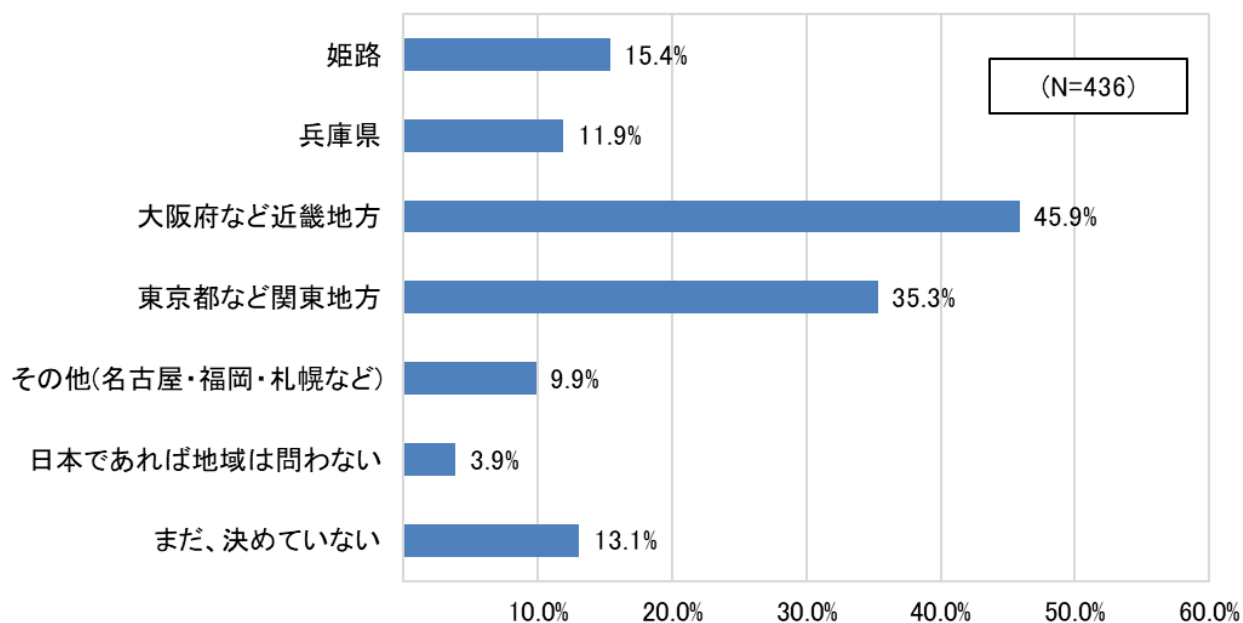
専門学科



⑧日本で就職したい地域（問 11-4）【複数選択（2 つまで）】

- ・日本で就職したい地域について、「大阪府など近畿地方」の割合が 45.9%と最も高くなっており、次いで「東京都など関東地方」が 35.3%となっている。

< 日本で就職したい地域 >



	姫路	兵庫県	大阪府など近畿地方	東京都など関東地方	その他(名古屋・福岡・札幌など)	日本であれば地域は問わない	まだ、決めていない	合計
日本語学科	41 17.6%	17 7.3%	102 43.8%	92 39.5%	9 3.9%	8 3.4%	39 16.7%	233 100.0%
専門学科	26 12.8%	35 17.2%	98 48.3%	62 30.5%	34 16.7%	9 4.4%	18 8.9%	203 100.0%
合計	67 15.4%	52 11.9%	200 45.9%	154 35.3%	43 9.9%	17 3.9%	57 13.1%	436 100.0%

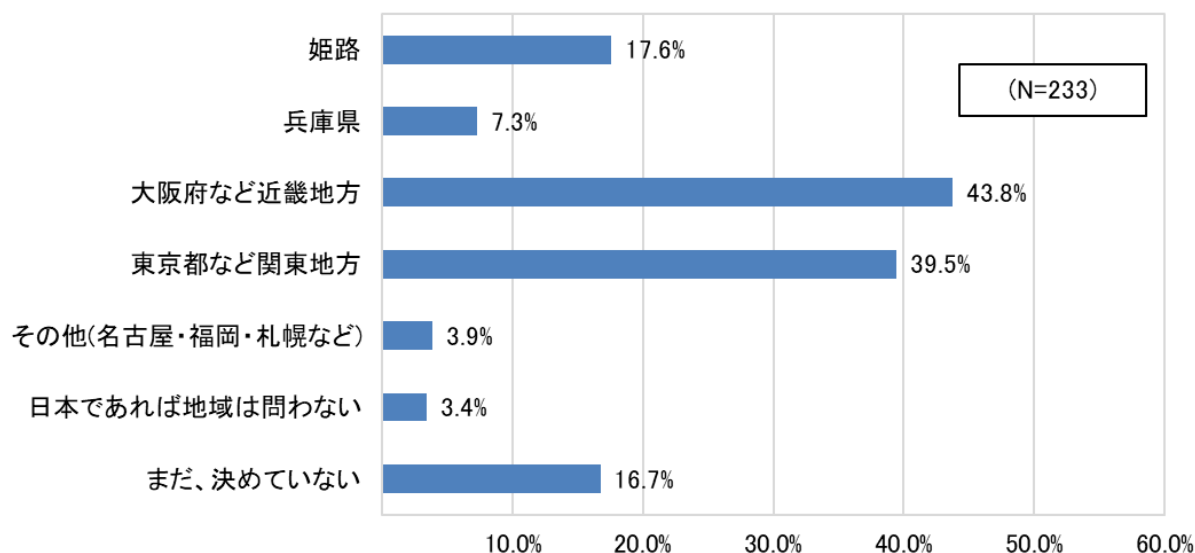
未回答(回答不明含む)47 票を除く

上段: 票

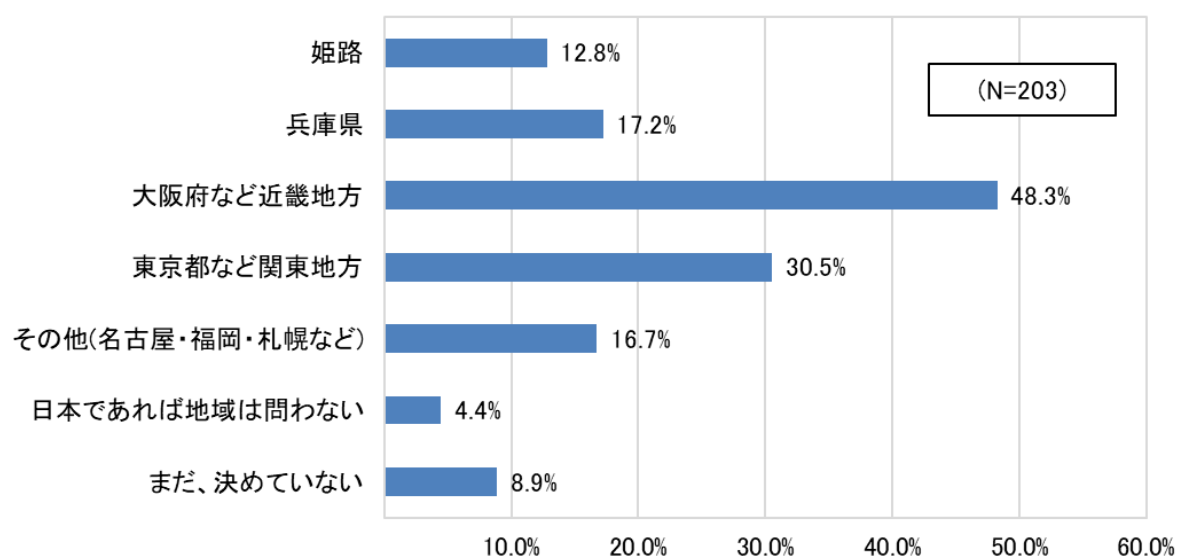
下段: 横構成比

- ・学科別に見ると、「日本語学科」と「専門学科」共に、「大阪府など近畿地方」の割合が最も高く、次いで「東京都など関東地方」となっている。

日本語学科



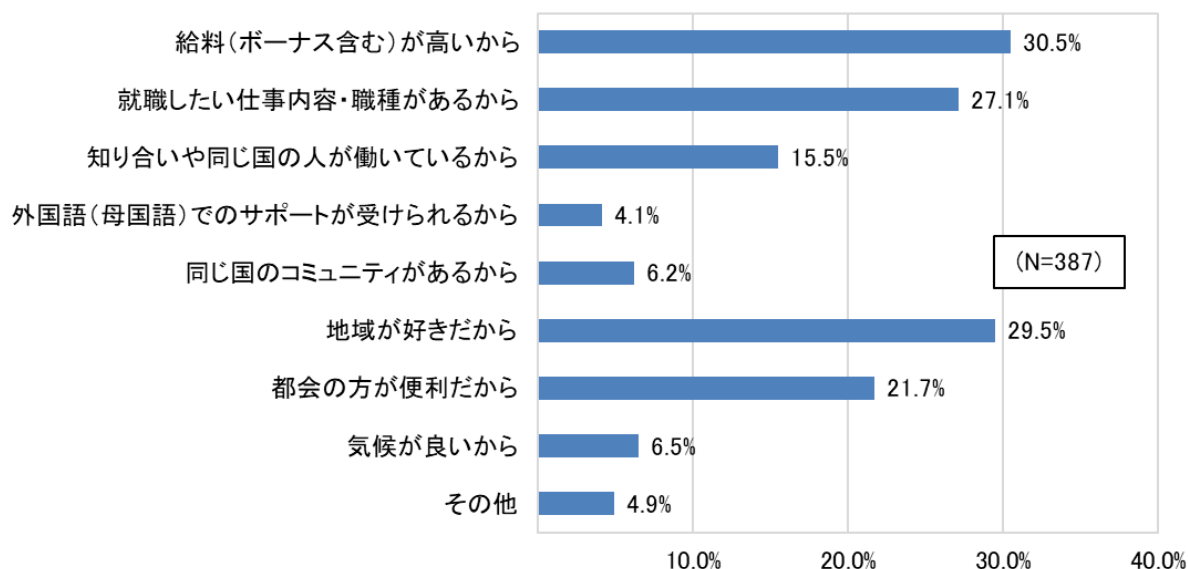
専門学科



⑨その地域で就職したい理由（問 11-5）【複数選択】

- ・その地域で就職したい理由について、「給料（ボーナス含む）が高いから」の割合が30.5%と最も高くなっており、次いで「地域が好きだから」が29.5%、「就職したい仕事内容・職種があるから」が27.1%となっている。

< その地域で就職したい理由 >



< その他回答 >

回答	回答数
分からない	6
早稲田大学が好きだから	1
留学先だから	1
まだ決めていない	1

	給料(ボーナス含む)が高いから	就職したい仕事内容・職種があるから	知り合いや同じ国の人が働いているから	外国語(母国語)でのサポートが受けられるから	同じ国のコミュニティがあるから	地域が好きだから	都会の方が便利だから	気候が良いから	その他	合計
日本語学科	59 30.9%	42 22.0%	44 23.0%	9 4.7%	13 6.8%	52 27.2%	48 25.1%	7 3.7%	7 3.7%	191 100.0%
専門学科	59 30.1%	63 32.1%	16 8.2%	7 3.6%	11 5.6%	62 31.6%	36 18.4%	18 9.2%	12 6.1%	196 100.0%
合計	118 30.5%	105 27.1%	60 15.5%	16 4.1%	24 6.2%	114 29.5%	84 21.7%	25 6.5%	19 4.9%	387 100.0%

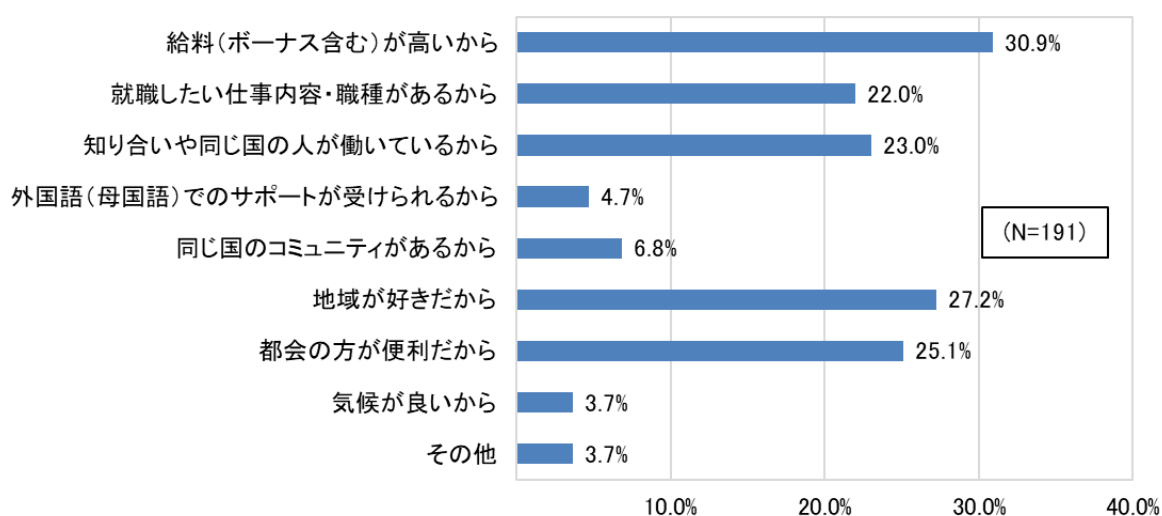
未回答(回答不明含む)96票を除く

上段:票

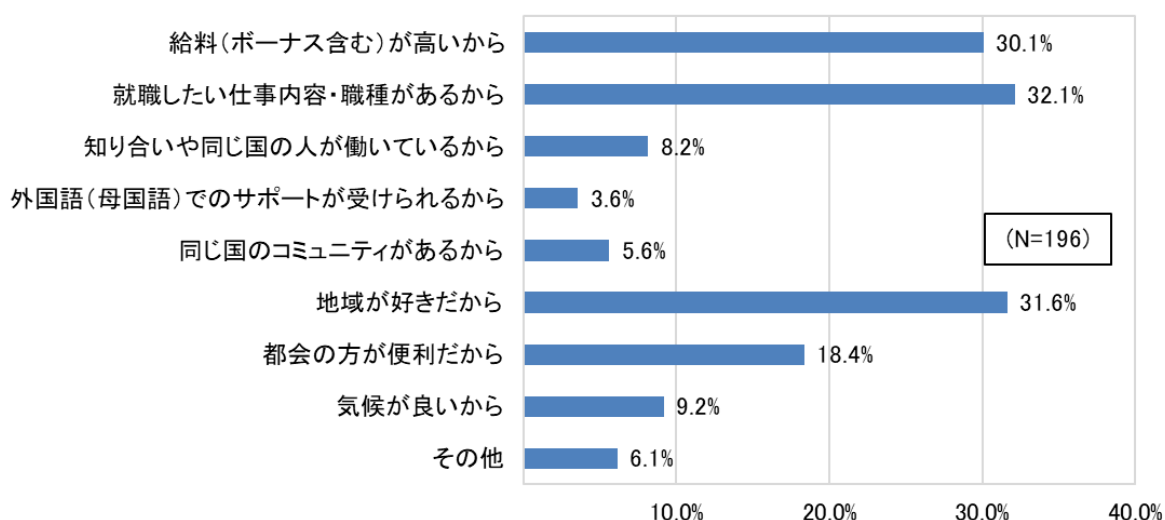
下段:構構成比

- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「給料（ボーナス含む）が高いから」の割合が 30.9%と最も高くなっており、「地域が好きだから」が 27.2%、「都会の方が便利だから」が 25.1%、「知り合いや同じ国の人働いているから」が 23.0%、「就職したい仕事内容・職種があるから」が 22.0%となっている。
- ・「専門学科」では「就職したい仕事内容・職種があるから」の割合が 32.1%と最も高くなっており、次いで「地域が好きだから」が 31.6%、「給料（ボーナス含む）が高いから」が 30.1%となっている。

日本語学科



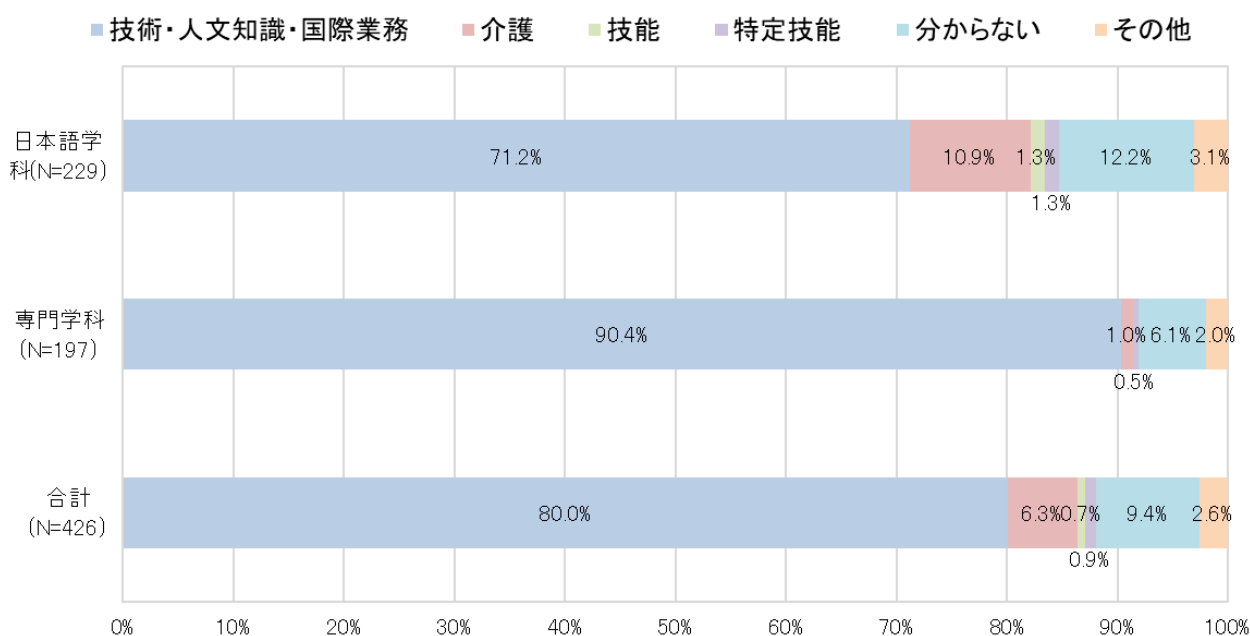
専門学科



⑩日本で働く場合に取得したい在留資格（問 11-6）

- ・日本で働く場合に取得したい在留資格について、「技術・人文知識・国際業務」の割合が80.0%と最も高くなっており、次いで「分からない」が9.4%、「介護」が6.3%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」は「技術・人文知識・国際業務」の割合が71.2%と最も高くなっており、次いで「分からない」が12.2%、「介護」が10.9%となっている。
- ・「専門学科」は「技術・人文知識・国際業務」の割合が90.4%と最も高くなっており、次いで「分からない」が6.1%となっている。

< 日本で働く場合に取得したい在留資格 >



< その他回答 >

回答	回答数
「1.技術・人文知識・国際業務」、「2.介護」と回答	3
永住者	1
日本人がもらえる同じ資格を期待しています。	1
就労	1

	技術・人文知識・国際業務	介護	技能	特定技能	分からない	その他	合計
日本語学科	163 71.2%	25 10.9%	3 1.3%	3 1.3%	28 12.2%	7 3.1%	229 100.0%
専門学科	178 90.4%	2 1.0%	0 0.0%	1 0.5%	12 6.1%	4 2.0%	197 100.0%
合計	341 80.0%	27 6.3%	3 0.7%	4 0.9%	40 9.4%	11 2.6%	426 100.0%

未回答（回答不明含む）57票を除く

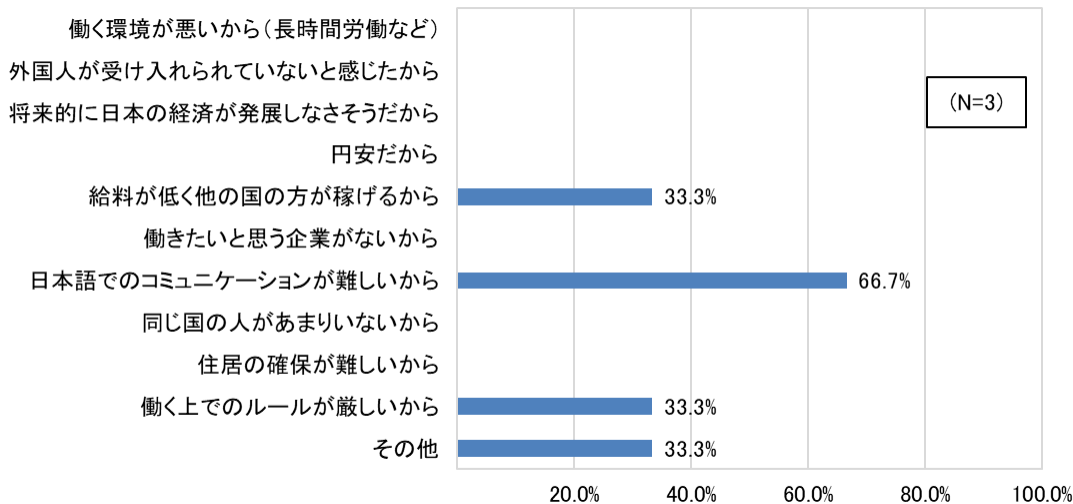
上段：票

下段：横構成比

⑪ 日本で就職しない理由（問 12）【複数選択】

- ・ 日本で就職しない理由について、「日本語でのコミュニケーションが難しいから」の割合が 66.7%と最も高くなっており、次いで「給料が低く他の国の方が稼げるから」「働く上でのルールが厳しいから」「その他」が 33.3%となっている。

< 日本で就職しない理由 >



< その他回答 >

回答	回答数
母国のために働きたいから	1

	働く環境 が悪いから (長時間 労働など)	外国人が 受け入れ られてい ないと感じ たから	将来的に 日本の経 済が発展 しなさそ うだから	円安だか ら	給料が低 く他の国 の方が稼 げるから	働きたい と思う企 業がない から
日本語学科	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
専門学科	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
合計	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%

日本語で のコミュニ ケーション が難しい から	同じ国の 人があま りいない から	住居の確 保が難し いから	働く上での ルールが 厳しいか ら	その他	合計
0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%
2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100.0%

上段: 票

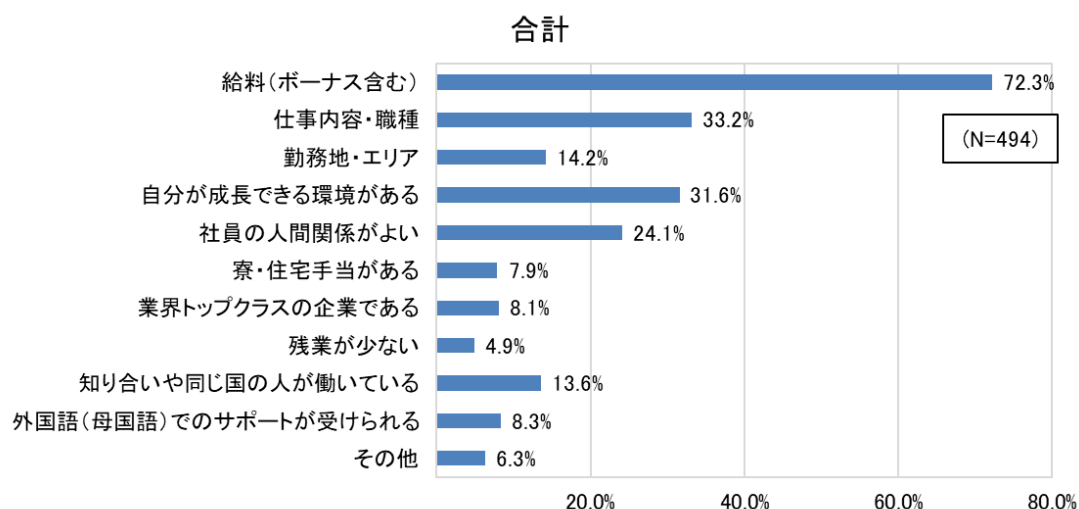
下段: 横構成比

未回答(回答不明含む)6票を除く

⑫日本で就職先を選ぶ時の条件（問 13-1）【複数選択（重要と思う順に3つ）】

- ・日本で就職先を選ぶ時の条件について、「給料（ボーナス含む）」の割合が72.3%と最も高くなっており、次いで「仕事内容・職種」が33.2%、「自分が成長できる環境がある」が31.6%となっている。

< 日本で就職先を選ぶ時の条件 >



< その他回答 >

回答	回答数
研究者	1

	給料(ボーナス含む)	仕事内容・職種	勤務地・エリア	自分が成長できる環境がある	社員の人間関係がよい	寮・住宅手当がある
日本語学科	218 77.0%	86 30.4%	36 12.7%	85 30.0%	60 21.2%	19 6.7%
専門学科	139 65.9%	78 37.0%	34 16.1%	71 33.6%	59 28.0%	20 9.5%
合計	357 72.3%	164 33.2%	70 14.2%	156 31.6%	119 24.1%	39 7.9%

業界トップクラスの企業である	残業が少ない	知り合いや同じ国の人が働いている	外国語(母国語)でのサポートが受けられる	その他	合計
33 11.7%	16 5.7%	49 17.3%	28 9.9%	14 4.9%	283 100.0%
7 3.3%	8 3.8%	18 8.5%	13 6.2%	17 8.1%	211 100.0%
40 8.1%	24 4.9%	67 13.6%	41 8.3%	31 6.3%	494 100.0%

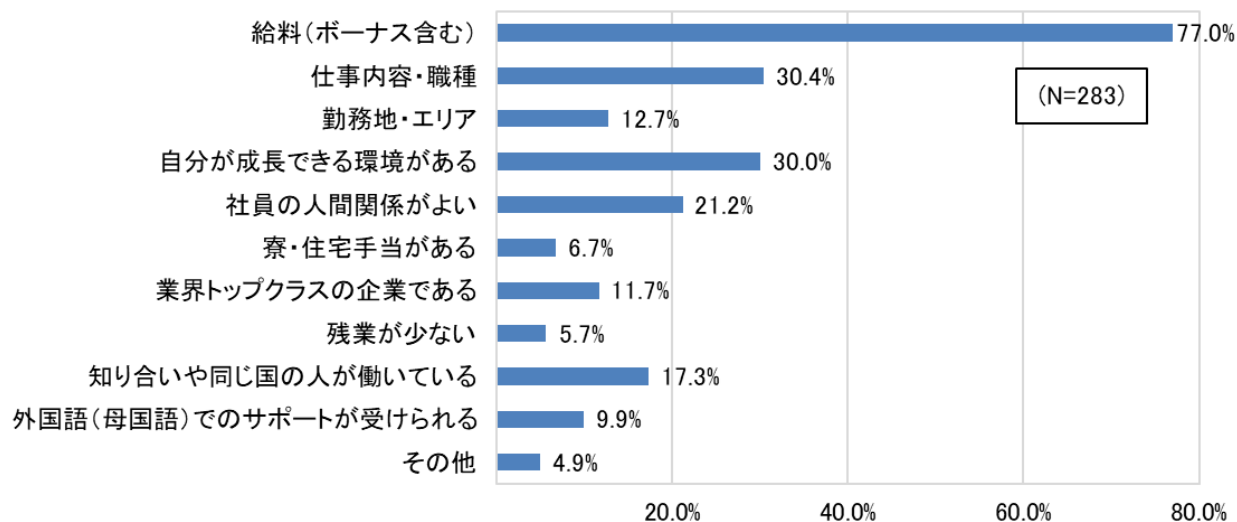
上段: 票

下段: 構成比

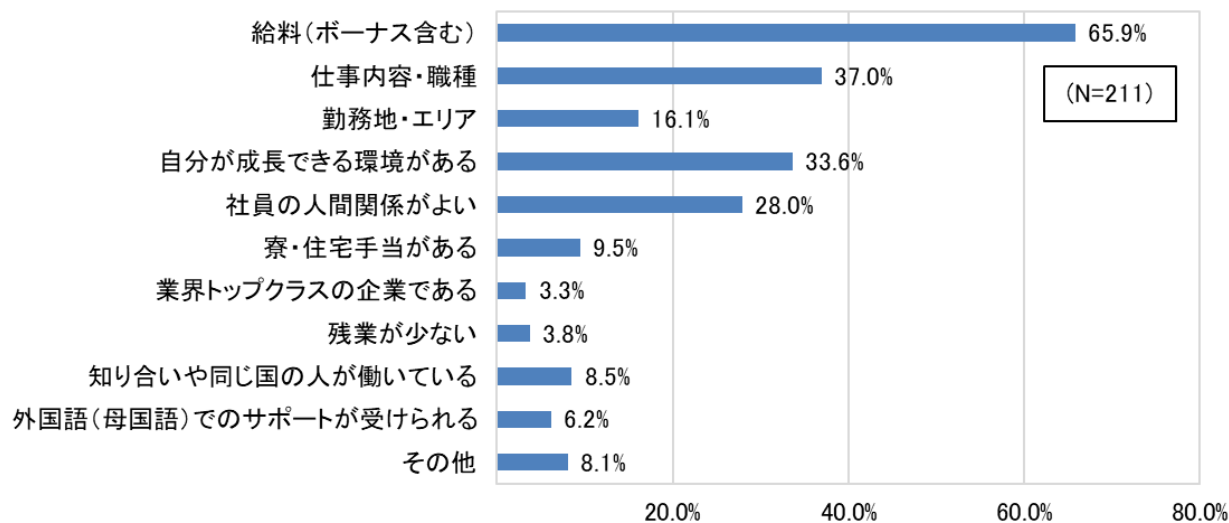
未回答(回答不明含む)67票を除く

- ・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に、「給料（ボーナス含む）」の割合が最も高く、次いで「仕事内容・職種」、「自分が成長できる環境がある」となっている。

日本語学科



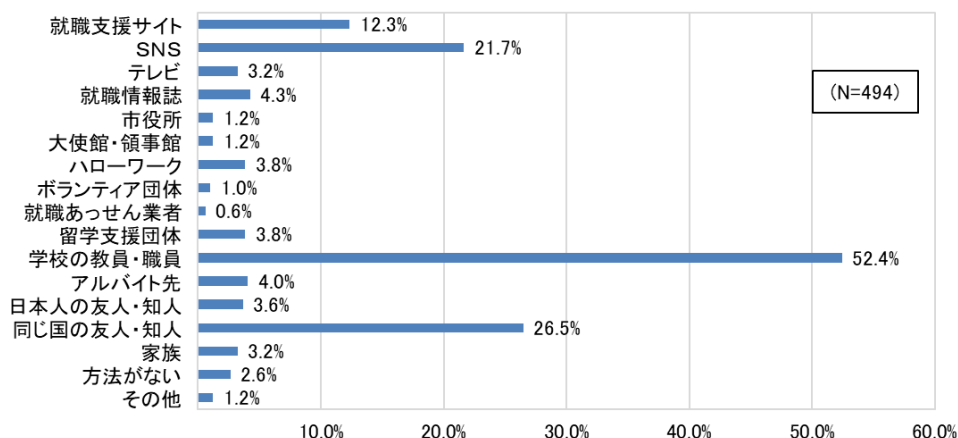
専門学科



⑬就労・進学に関する情報の取得方法（問 13-2）【複数選択】

・就労・進学に関する情報の取得方法について、「学校の教員・職員」の割合が 52.4%と最も高くなっており、次いで「同じ国の友人・知人」が 26.5%となっている。

< 就労・進学に関する情報の取得方法 >



< その他回答 >

回答	回答数
オープンキャンパス	1
自分で選んだ	2

	就職支援 サイト	SNS	テレビ	就職情報 誌	市役所	大使館・ 領事館	ハロー ワーク	ボランティ ア団体
日本語学科	29 10.2%	60 21.2%	12 4.2%	9 3.2%	6 2.1%	6 2.1%	5 1.8%	0 0.0%
専門学科	32 15.2%	47 22.3%	4 1.9%	12 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	14 6.6%	5 2.4%
合計	61 12.3%	107 21.7%	16 3.2%	21 4.3%	6 1.2%	6 1.2%	19 3.8%	5 1.0%

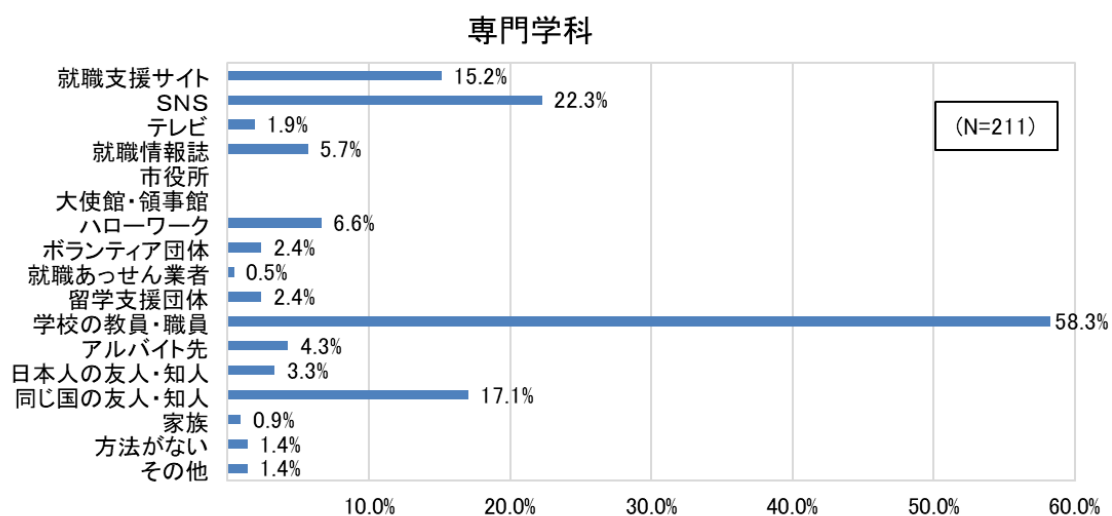
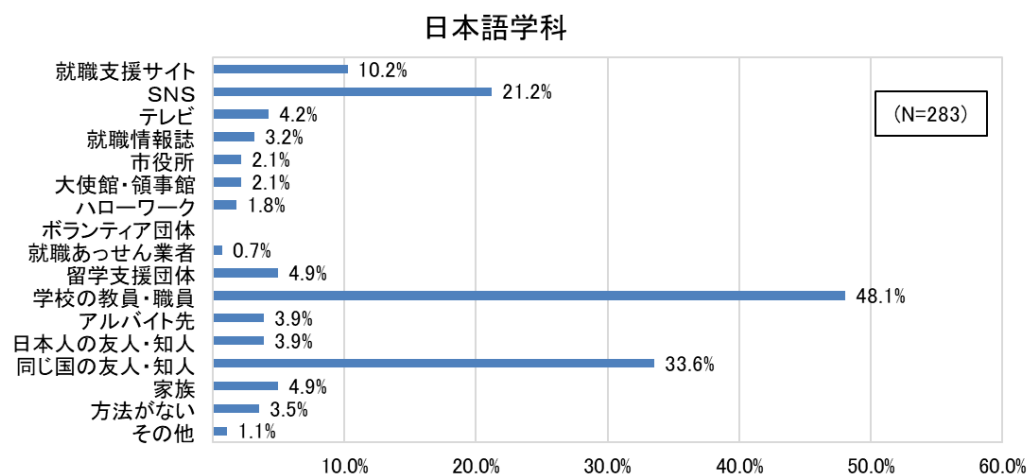
上段：票

下段：横構成比

就職あつ せん業者	留学支援 団体	学校の教 員・職員	アルバイト 先	日本人の 友人・知 人	同じ国の 友人・知 人	家族	方法がな い	その他	合計
2 0.7%	14 4.9%	136 48.1%	11 3.9%	11 3.9%	95 33.6%	14 4.9%	10 3.5%	3 1.1%	283 100.0%
1 0.5%	5 2.4%	123 58.3%	9 4.3%	7 3.3%	36 17.1%	2 0.9%	3 1.4%	3 1.4%	211 100.0%
3 0.6%	19 3.8%	259 52.4%	20 4.0%	18 3.6%	131 26.5%	16 3.2%	13 2.6%	6 1.2%	494 100.0%

未回答（回答不明含む）67 票を除く

- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「学校の教員・職員」の割合が48.1%と最も高くなっており、次いで「同じ国の友人・知人」が33.6%となっている。
- ・「専門学科」では「学校の教員・職員」の割合が58.3%と最も高くなっており、次いでSNSが22.3%となっている。

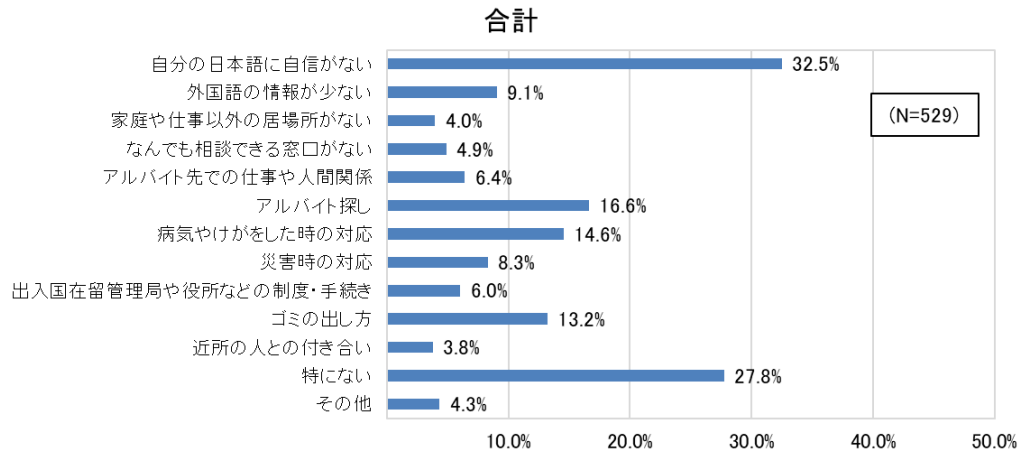


(3) 日本滞在における課題について

①生活での困りごと・心配事（問 14）【複数選択】

・生活での困りごと・心配事について、「自分の日本語に自信がない」の割合が 32.5%と最も高くなっており、次いで「特にない」が 27.8%となっている。

< 生活での困りごと・心配事 >



< その他回答 >

回答	回答数
イスラムの食事	2
生活費は足りてません	2
アルバイトのお金が安い	2
国民から税金を取り過ぎて生活で困っている。	1
お金、税金、保険	1
税金が高い	1
アルバイトの時間28時間が少ないから	1
姫路で日本人と以前住んでいました。日本人と比べて外国人が嫌いな人がいると思いますので、アルバイトなどには困っています。	1
お金が足りないです	1
緊張で解決できることもよく間違える	1
外国人が受け入れられていないと感じる	1

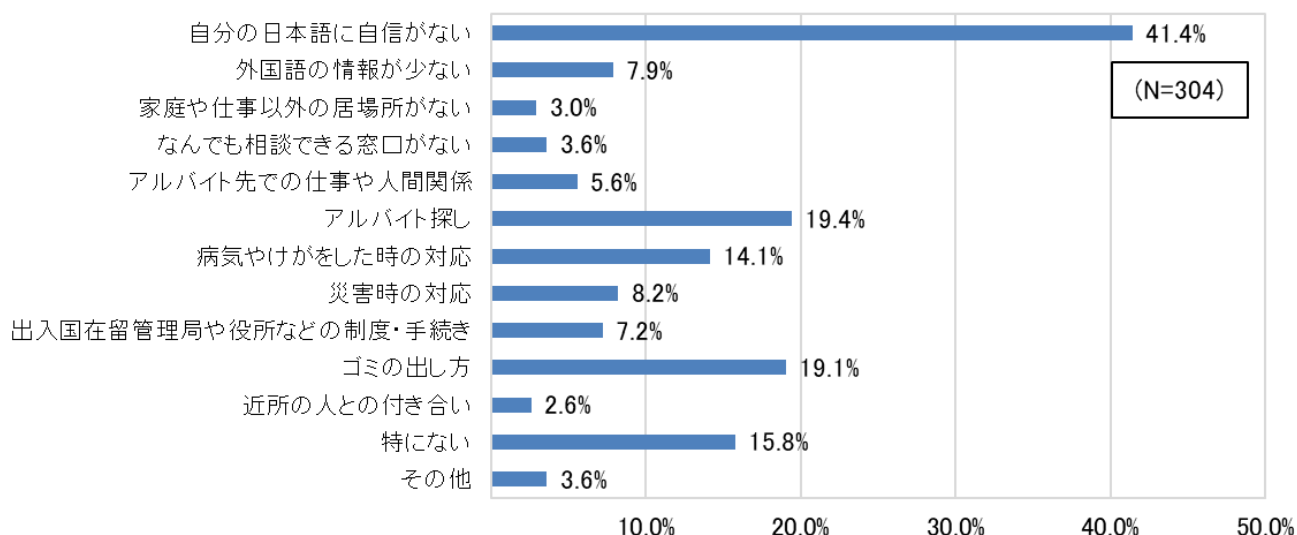
	自分の日本語に自信がない	外国語の情報が少ない	家庭や仕事以外の居場所がない	なんでも相談できる窓口がない	アルバイト先での仕事や人間関係	アルバイト探し	病気やけがをした時の対応	災害時の対応
日本語学科	126 41.4%	24 7.9%	9 3.0%	11 3.6%	17 5.6%	59 19.4%	43 14.1%	25 8.2%
専門学科	46 20.4%	24 10.7%	12 5.3%	15 6.7%	17 7.6%	29 12.9%	34 15.1%	19 8.4%
合計	172 32.5%	48 9.1%	21 4.0%	26 4.9%	34 6.4%	88 16.6%	77 14.6%	44 8.3%

上段：票
下段：横構成比
未回答(回答不明含む)32票を除く

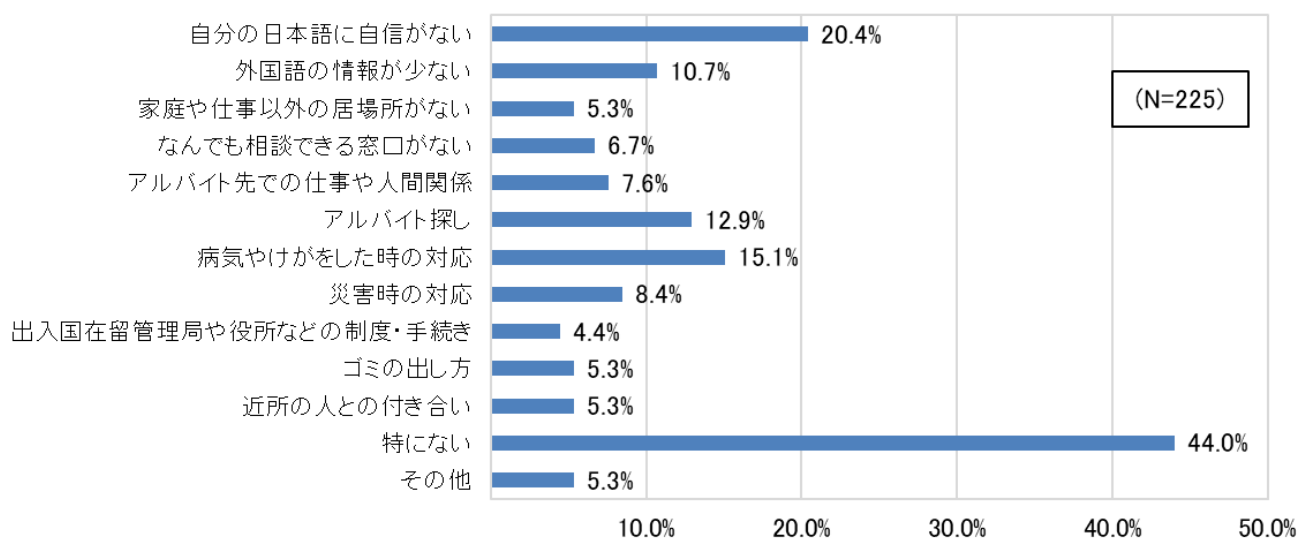
出入国在留管理局や役所などの制度・手続き	ゴミの出し方	近所の人との付き合い	特にない	その他	合計
22 7.2%	58 19.1%	8 2.6%	48 15.8%	11 3.6%	304 100.0%
10 4.4%	12 5.3%	12 5.3%	99 44.0%	12 5.3%	225 100.0%
32 6.0%	70 13.2%	20 3.8%	147 27.8%	23 4.3%	529 100.0%

- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「自分の日本語に自信がない」の割合が 41.4%、次いで「アルバイト探し」が 19.4%、「ゴミの出し方」が 19.1%となっている。「専門学科」では「特にない」の割合が 44.0%と最も高くなっており、次いで「自分の日本語に自信がない」が 20.4%となっている。

日本語学科



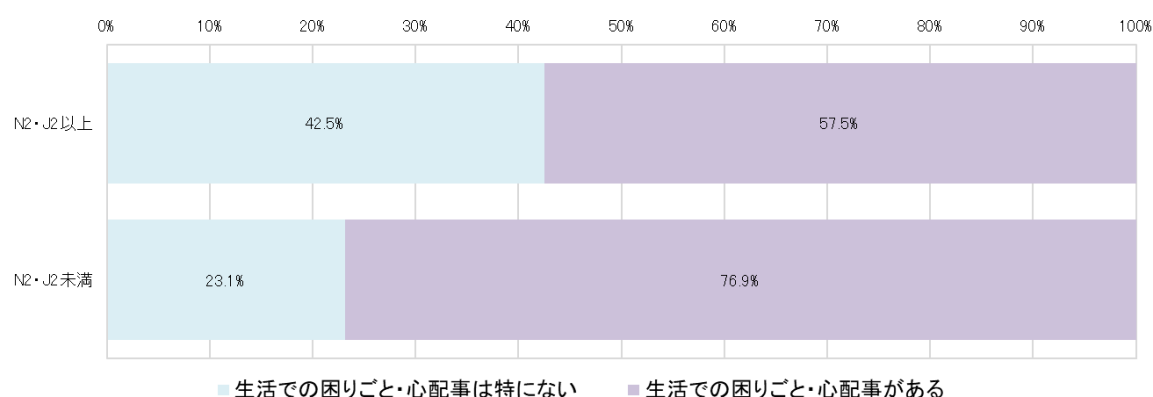
専門学科



(参考) 生活での困りごと・心配事が「特にない」と回答した留学生について

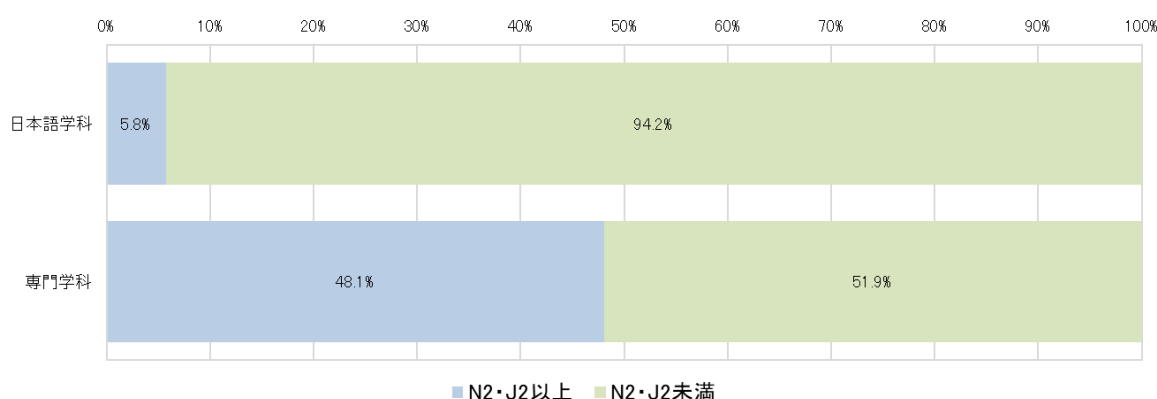
- 生活での困りごと・心配事について、「特にない」の割合は「日本語学科」で 15.8% に対し、「専門学科」では 44.0%と 28.2 ポイント高くなっている。
- 「特にない」選択者の割合を日本語能力別に見ると、「N2・J2 以上」が 42.5%と「N2・J2 未満」の 23.1%より 19.4 ポイント高くなっており、日本語能力が高い方が生活での困りごと・心配事が少なくなる傾向があると考えられる。
- 学科別の日本語能力では、「専門学科」は「N2・J2 以上」の割合が 48.1%と「日本語学科」の 5.8%より 42.3 ポイント高くなっており、「専門学科」では日本語能力が高い人が多いことで、生活での困りごと・心配事が少ない人が多くなっていると考えられる。

< 生活での困りごと・心配事の有無別 日本語能力 >



分類	生活での 困りごと・ 心配事は 特にない	生活での 困りごと・ 心配事が ある	合計
N2・J2以上	54 (42.5%)	73 (57.5%)	127 (100.0%)
N2・J2未満	93 (23.1%)	309 (76.9%)	402 (100.0%)
回答者合計	147 (27.8%)	382 (72.2%)	529 (100.0%)

< 学科別 日本語能力 >



分類	N2・J2 以上	N2・J2 未満	合計
日本語学科	19 (5.8%)	311 (94.2%)	330 (100.0%)
専門学科	111 (48.1%)	120 (51.9%)	231 (100.0%)
回答者合計	130 (23.2%)	431 (76.8%)	561 (100.0%)

- ・学科別に生活での困りごと・心配事が特にない留学生の自由意見回答状況を見ると、日本語学科ではほとんどが回答していないのに対し、専門学科では「税金が高い」「年金・保険料が高い」などの経済的な困りごと・心配事などを中心に 34 人が回答している。
- ・自由意見が日本語での回答のため、「専門学科」は日本語能力が高いことで回答が多かったと考えられるが、生活での困りごと・心配事が特にないのではなく、選択肢にない困りごと・心配事も多くあると考えられる。

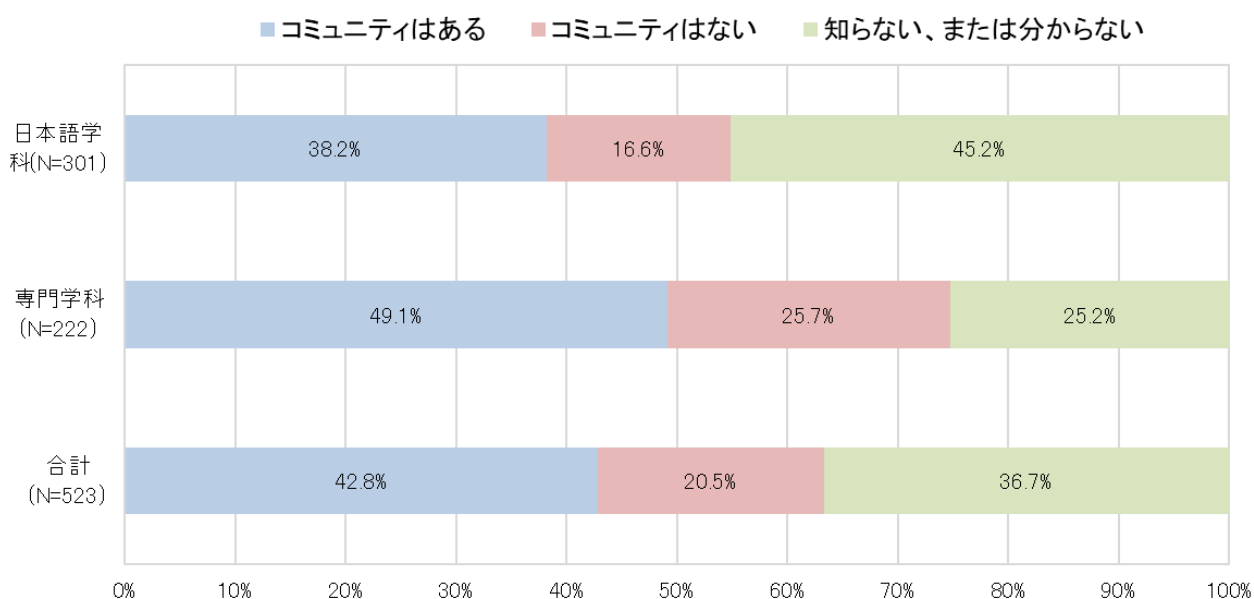
＜ 学科別 生活での困りごと・心配事についての 回答状況 ＞

回答状況 学科	問 14 生活での困りごと・心配事で「特になし」と回答した留学生 (A)	問 20 自由意見（その他困っていること・悩んでいること）で回答した留学生 (B)
日本語学科	48 人	5 人
専門学科	99 人	34 人
回答者計	157 人	39 人

②同じ国のコミュニティの認知状況（問 15-1）

- ・同じ国のコミュニティの認知状況について、「コミュニティはある」の割合が 42.8%と最も高くなっており、次いで「知らない、または分からない」が 36.7%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「知らない、または分からない」の割合が 45.2%、「専門学科」では「コミュニティはある」が 49.1%と最も高くなっている。

< 同じ国のコミュニティの認知状況 >



	コミュニティはある	コミュニティはない	知らない、または分からない	合計
日本語学科	115 38.2%	50 16.6%	136 45.2%	301 100.0%
専門学科	109 49.1%	57 25.7%	56 25.2%	222 100.0%
合計	224 42.8%	107 20.5%	192 36.7%	523 100.0%

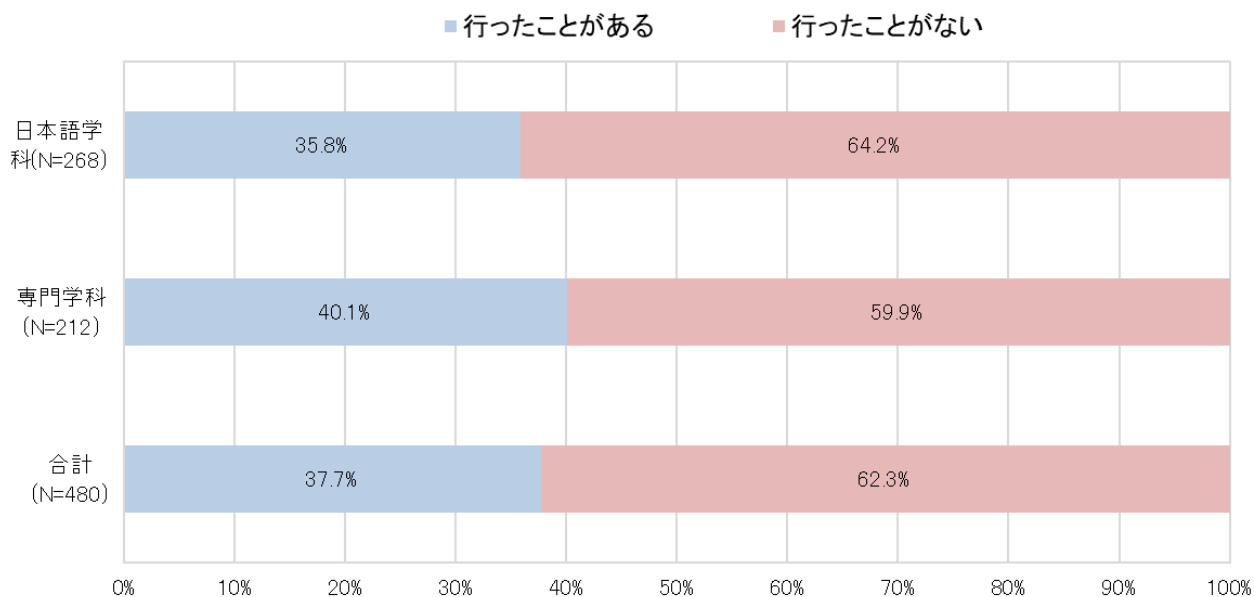
未回答（回答不明含む）38 票を除く

上段：票
下段：横構成比

③同じ国のコミュニティの参加状況（問 15-2）

- ・同じ国のコミュニティの参加状況について、「行ったことがない」の割合が 62.3%となっており、「行ったことがある」の 37.7%と比較して高くなっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に「行ったことがない」の割合が最も高くなっている。

< 同じ国のコミュニティの参加状況 >



	行ったことがある	行ったことがない	合計
日本語学科	96 35.8%	172 64.2%	268 100.0%
専門学科	85 40.1%	127 59.9%	212 100.0%
合計	181 37.7%	299 62.3%	480 100.0%

未回答（回答不明含む）81 票を除く

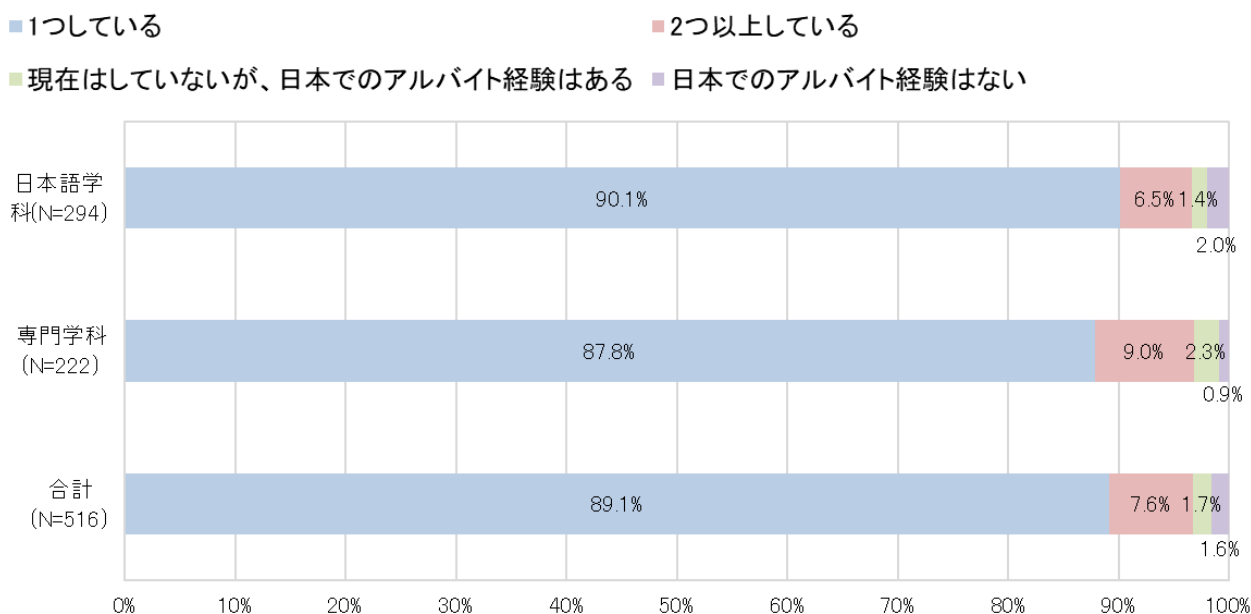
上段：票
下段：横構成比

(4) 資格外活動（アルバイト）について

①アルバイト経験の有無（問 16）

- ・アルバイト経験の有無について、「1つしている」の割合が89.1%と最も高くなっており、次いで「2つ以上している」が7.6%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に「1つしている」の割合が最も高くなっており、次いで「2つ以上している」となっている。

< アルバイト経験の有無 >



	1つしている	2つ以上している	現在はしていないが、日本でのアルバイト経験はある	日本でのアルバイト経験はない	合計
日本語学科	265 90.1%	19 6.5%	4 1.4%	6 2.0%	294 100.0%
専門学科	195 87.8%	20 9.0%	5 2.3%	2 0.9%	222 100.0%
合計	460 89.1%	39 7.6%	9 1.7%	8 1.6%	516 100.0%

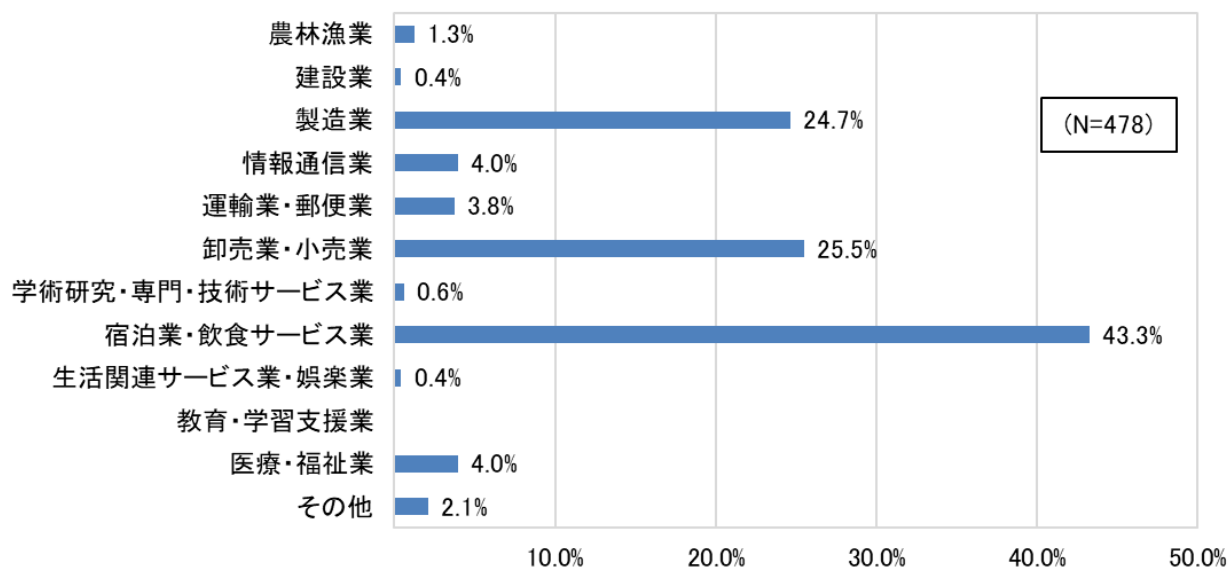
未回答（回答不明含む）45票を除く

上段：票
下段：横構成比

②アルバイトの分野（問 17）【複数選択】

- ・アルバイトの分野について、「宿泊業・飲食サービス業」の割合が 43.3%と最も高くなっており、次いで「卸売業・小売業」が 25.5%、「製造業」が 24.7%となっている。

< アルバイトの分野 >



	農林漁業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業
日本語学科	4 1.5%	1 0.4%	81 29.6%	16 5.8%	16 5.8%	34 12.4%
専門学科	2 1.0%	1 0.5%	37 18.1%	3 1.5%	2 1.0%	88 43.1%
合計	6 1.3%	2 0.4%	118 24.7%	19 4.0%	18 3.8%	122 25.5%

上段：票

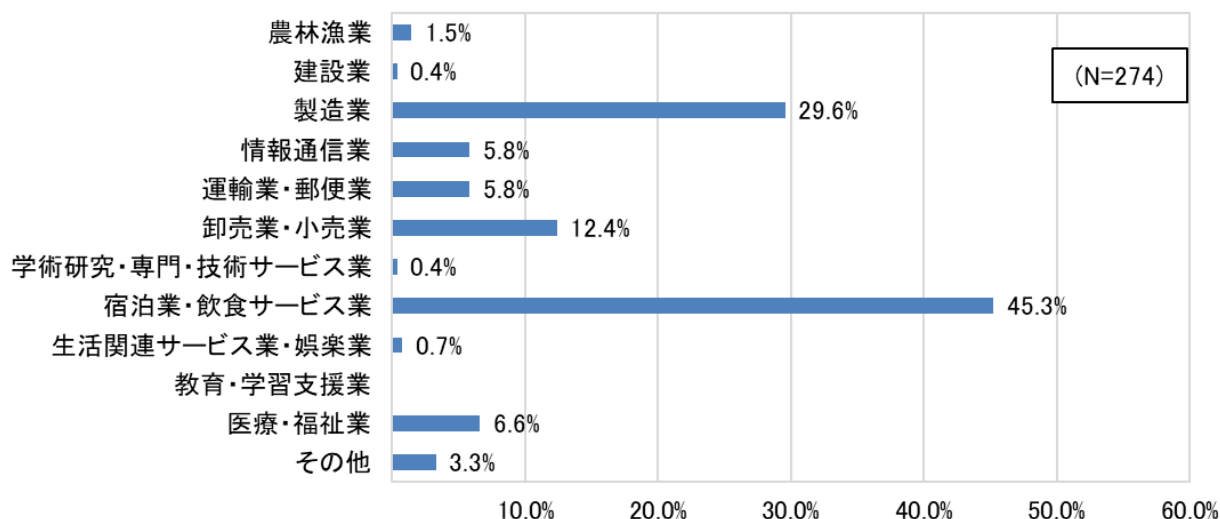
下段：横構成比

未回答（回答不明含む）30 票を除く

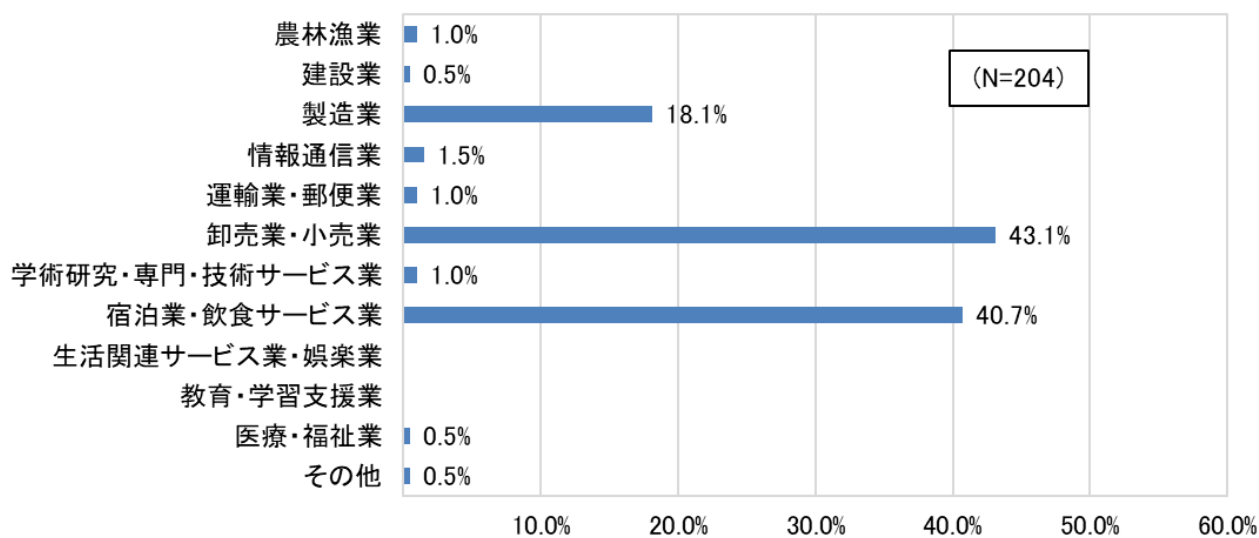
学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉業	その他	合計
1 0.4%	124 45.3%	2 0.7%	0 0.0%	18 6.6%	9 3.3%	274 100.0%
2 1.0%	83 40.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.5%	204 100.0%
3 0.6%	207 43.3%	2 0.4%	0 0.0%	19 4.0%	10 2.1%	478 100.0%

- ・学科別に見ると、「日本語学科」では「宿泊業・飲食サービス業」の割合が45.3%と最も高く、次いで製造業が29.6%となっている。
- ・「専門学科」では「卸売業・小売業」の割合が43.1%と最も高くなっており、次いで「宿泊業・飲食サービス業」が40.7%となっている。

日本語学科



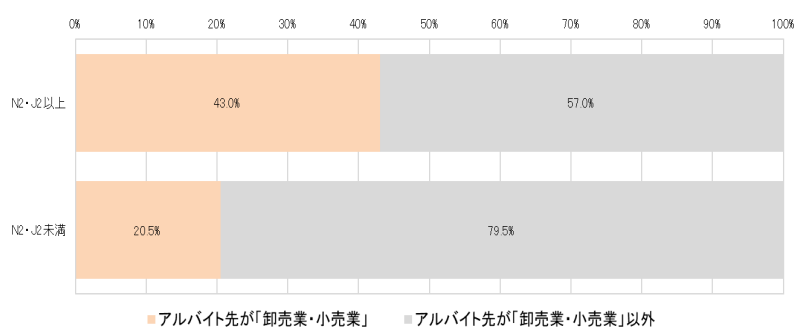
専門学科



(参考) アルバイトの職業分野が「卸売業・小売業」と回答した留学生について

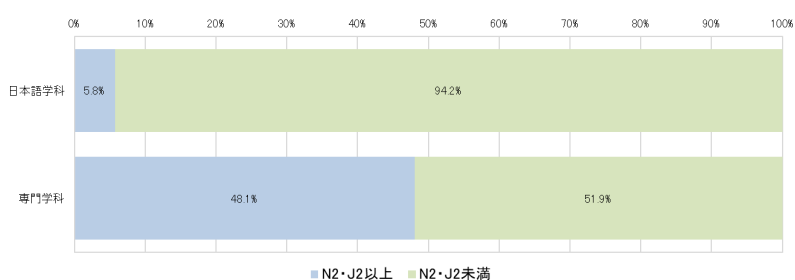
- ・アルバイトの分野を見ると、「卸売業・小売業」の割合は「日本語学科」で 12.4% に対し、「専門学科」では 43.1%と 30.7 ポイント高くなっている。
- ・日本語能力別にアルバイト先が卸売業・小売業の留学生を見ると、「N2・J2 以上」の割合が 43.0%と「N2・J2 未満」の 20.5%より 22.5 ポイント高くなっており、日本語能力が高い人が「卸売業・小売業」でアルバイトをしている傾向があると考えられる。
- ・学科別の日本語能力では、「専門学科」は「N2・J2 以上」の割合が 48.1%と「日本語学科」の 5.8%より 42.3 ポイント高くなっており、「専門学科」では日本語能力が高い人が多いことで「卸売業・小売業」でアルバイトをしている人の割合が高くなっていると考えられる。

< アルバイトの分野別 日本語能力 >



分類	アルバイト先が「卸売業・小売業」	アルバイト先が「卸売業・小売業」以外	合計
N2・J2 以上	46 (43.0%)	61 (57.0%)	107 (100.0%)
N2・J2 未満	76 (20.5%)	295 (79.5%)	371 (100.0%)
回答者合計	122 (25.5%)	356 (74.5%)	478 (100.0%)

< 学科別 日本語能力 >

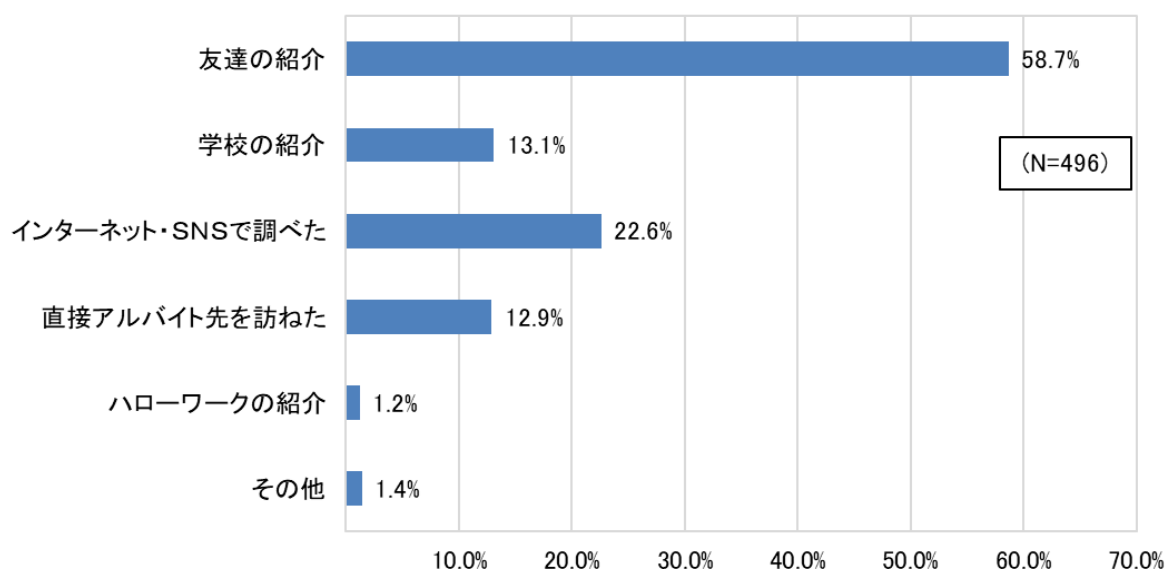


分類	N2・J2 以上	N2・J2 未満	合計
日本語学科	19 (5.8%)	311 (94.2%)	330 (100.0%)
専門学科	111 (48.1%)	120 (51.9%)	231 (100.0%)
回答者合計	130 (23.2%)	431 (76.8%)	561 (100.0%)

③アルバイト先の見つけ方（問 18）【複数選択】

- ・アルバイト先の見つけ方について、「友達の紹介」の割合が 58.7%と最も高くなっており、次いで「インターネット・SNS で調べた」が 22.6%となっている。
- ・学科別に見ると、「日本語学科」は「友達の紹介」の割合が 63.6%と最も高くなっており、次いで「学校の紹介」が 18.9%、「インターネット・SNS で調べた」が 15.7%となっている。
- ・「専門学科」は「友達の紹介」の割合が 52.3%と最も高くなっており、次いで「インターネット・SNS で調べた」が 31.5%となっている。

< アルバイト先の見つけ方 >



< その他回答 >

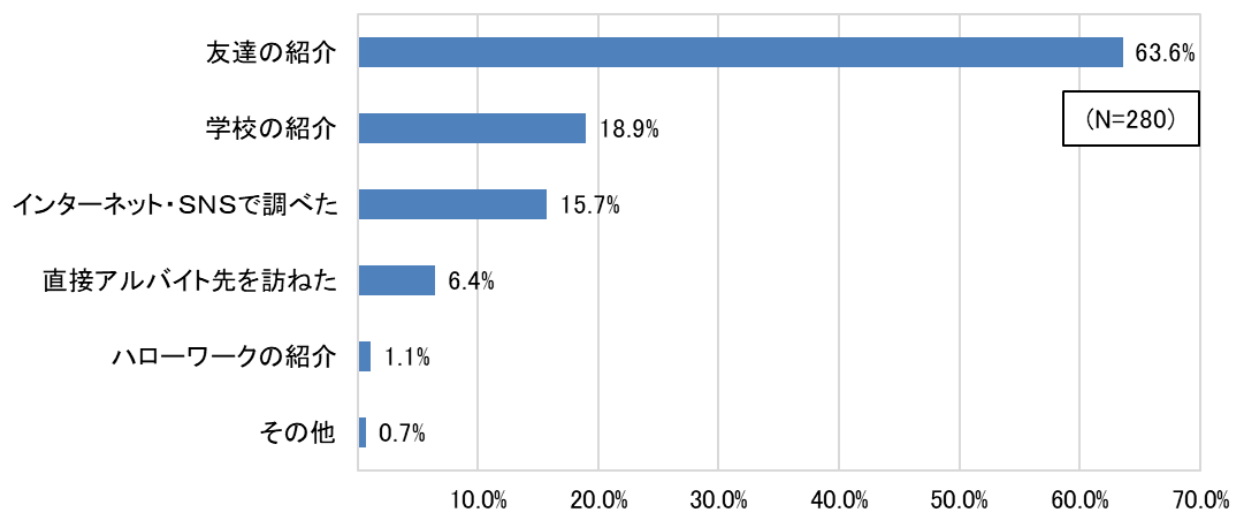
回答	回答数
自分で選んだ	2
インドネシアで奨学金をもらって紹介してもらった	1
前から経験あったので前の店の店長が紹介してくれました。	1
昔バイト先店の社長の紹介	1

	友達の紹介	学校の紹介	インターネット・SNSで調べた	直接アルバイト先を訪ねた	ハローワークの紹介	その他	合計
日本語学科	178 63.6%	53 18.9%	44 15.7%	18 6.4%	3 1.1%	2 0.7%	280 100.0%
専門学科	113 52.3%	12 5.6%	68 31.5%	46 21.3%	3 1.4%	5 2.3%	216 100.0%
合計	291 58.7%	65 13.1%	112 22.6%	64 12.9%	6 1.2%	7 1.4%	496 100.0%

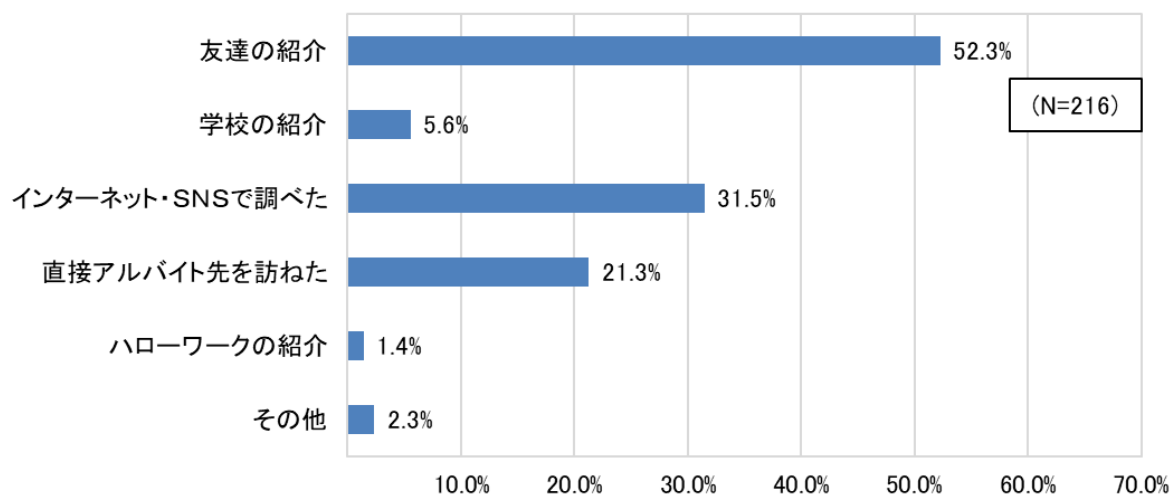
未回答(回答不明含む)12票を除く

上段: 票
下段: 横構成比

日本語学科



専門学科

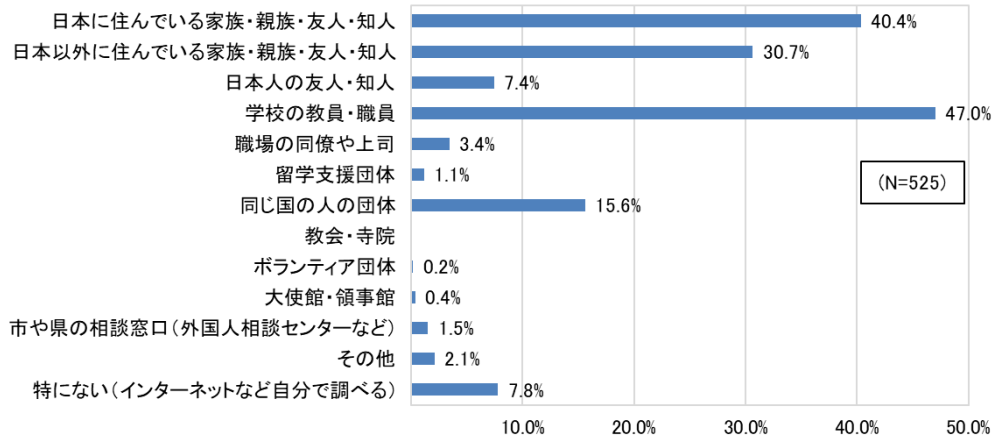


(5) 相談・悩み事の解決方法について

①困った時の相談先（問 19）【複数選択】

・困った時の相談先について、「学校の教員・職員」の割合が 47.0%と最も高くなっており、次いで「日本に住んでいる家族・親族・友人・知人」が 40.4%となっている。

< 困った時の相談先 >



< その他回答 >

回答	回答数
同じ国の友達、親	1
お酒を飲む	1
母親	1
母親と彼女	1
自分	1
自分の親みたい先生	1

	日本に住 んでいる 家族・親 族・友人・ 知人	日本以外 に住んで いる家族・ 親族・友 人・知人	日本人の 友人・知人	学校の教 員・職員	職場の同 僚や上司	留学支援 団体	同じ国の 人の団体
日本語学科	129 42.3%	109 35.7%	14 4.6%	143 46.9%	12 3.9%	3 1.0%	53 17.4%
専門学科	83 37.7%	52 23.6%	25 11.4%	104 47.3%	6 2.7%	3 1.4%	29 13.2%
合計	212 40.4%	161 30.7%	39 7.4%	247 47.0%	18 3.4%	6 1.1%	82 15.6%

教会・寺院	ボランティ ア団体	大使館・領 事館	市や県の 相談窓口 (外国人相 談センター など)	その他	特にな い(インター ネットなど 自分で調 べる)	合計
0 0.0%	0 0.0%	2 0.7%	5 1.6%	6 2.0%	8 2.6%	305 100.0%
0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	3 1.4%	5 2.3%	33 15.0%	220 100.0%
0 0.0%	1 0.2%	2 0.4%	8 1.5%	11 2.1%	41 7.8%	525 100.0%

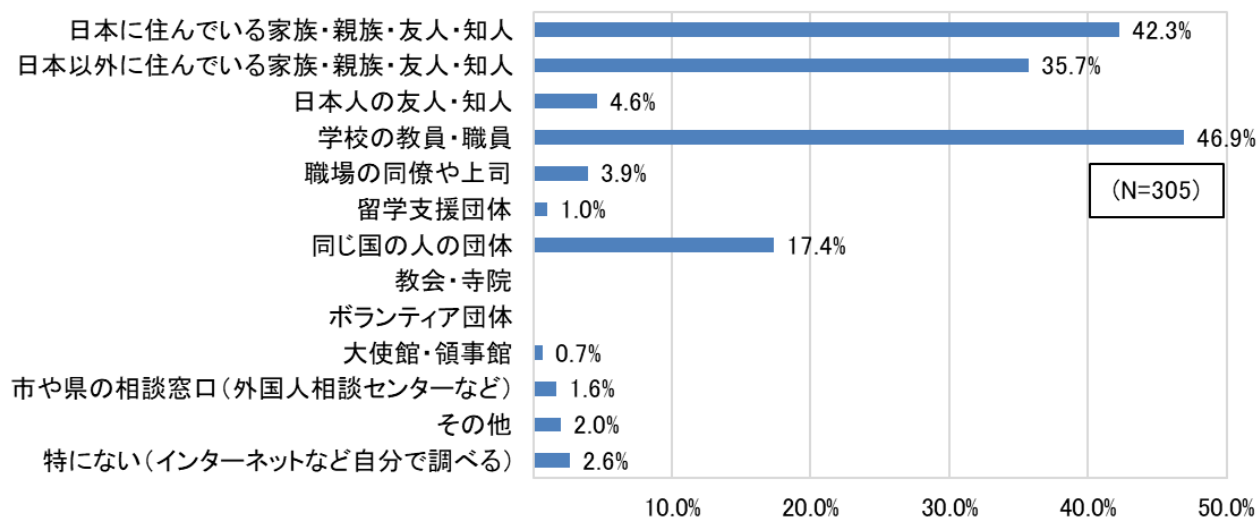
上段:票

下段:横構成比

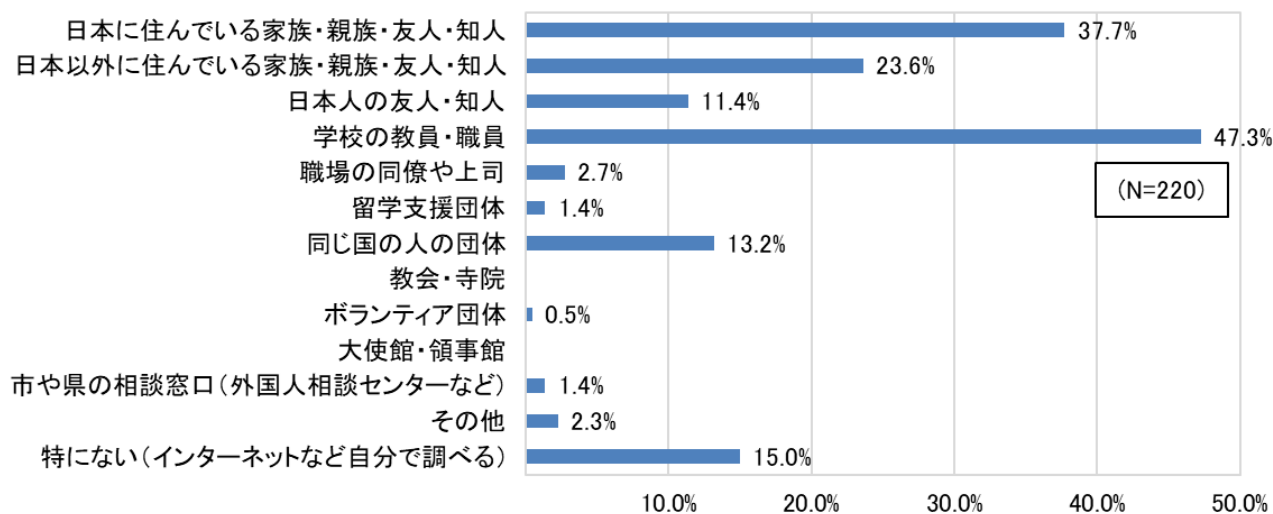
未回答(回答不明含む)36票を除く

・学科別に見ると、「日本語学科」「専門学科」共に「学校の教員・職員」の割合が最も高くなっており、次いで「日本に住んでいる家族・親族・友人・知人」となっている。

日本語学科



専門学科

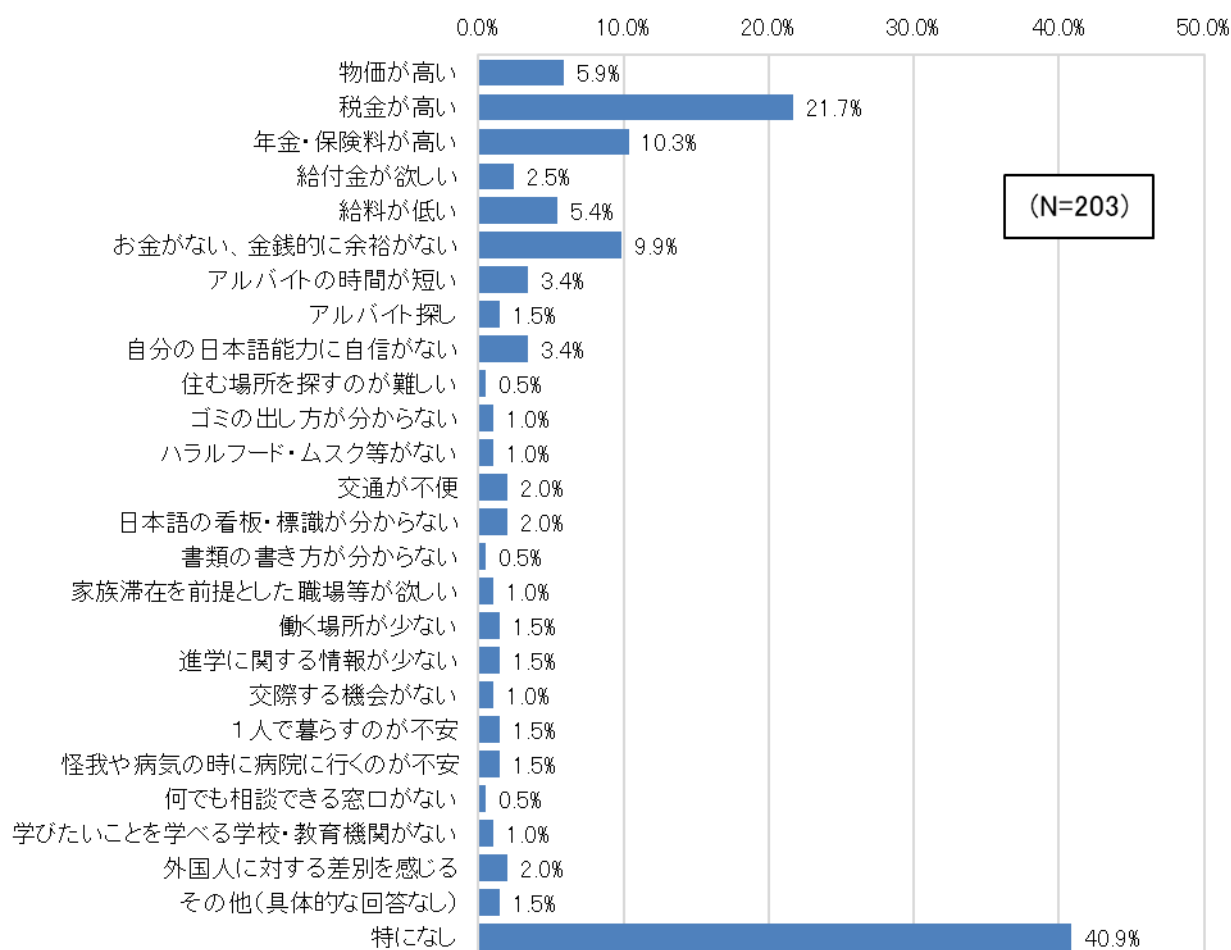


②自由意見（その他困っていること、悩んでいること）

- ・自由意見については、「税金が高い」の割合が21.7%と最も高くなっており、次いで「年金・保険料が高い」が10.3%、「お金がない、金銭的に余裕がない」が9.9%となっている。

※自由意見については、回答内容をおおまかな項目に分類して集計した

< 自由意見 >



回答	回答数	構成比
物価が高い	12	5.9%
税金が高い	44	21.7%
年金・保険料が高い	21	10.3%
給付金が欲しい	5	2.5%
給料が低い	11	5.4%
お金がない、金銭的に余裕がない	20	9.9%
アルバイトの時間が短い	7	3.4%
アルバイト探し	3	1.5%
自分の日本語能力に自信がない	7	3.4%
住む場所を探すのが難しい	1	0.5%
ゴミの出し方が分からない	2	1.0%
ハラルフード・ムスク等がない	2	1.0%
交通が不便	4	2.0%
日本語の看板・標識が分からない	4	2.0%
書類の書き方が分からない	1	0.5%
家族滞在を前提とした職場等が欲しい	2	1.0%
働く場所が少ない	3	1.5%
進学に関する情報が少ない	3	1.5%
交際する機会がない	2	1.0%
1人で暮らすのが不安	3	1.5%
怪我や病気の時に病院に行くのが不安	3	1.5%
何でも相談できる窓口がない	1	0.5%
学びたいことを学べる学校・教育機関がない	2	1.0%
外国人に対する差別を感じる	4	2.0%
その他(具体的な回答なし)	3	1.5%
特になし	83	40.9%
合計	203	100.0%

未回答(回答不明含む)358票を除く

2.2 回答傾向のとりまとめ

・単純集計における回答傾向のとりまとめは以下の通りである。

< 回答傾向のとりまとめ >

項目	回答傾向
(1) 回答者属性	
①国籍・地域	・「ネパール」の割合が約5割と最も高く、次いで「ベトナム」「ミャンマー」「バングラデシュ」がそれぞれ約1割
②通っている学校を選んだ理由	・「母国の日本語学校の先生に勧められたから」「友達・先輩・家族に紹介されたから」の割合が約3割
③現在の日本語能力	・「N3」の割合が約4割と最も高く、次いで「N2」「N4」がそれぞれ約2割
④将来目標とする日本語能力	・「N1」の割合が約7割と最も高く、次いで「N2」が約3割
(2) 今後の進路	
①進学希望	・「日本で進学」の割合が約6割と最も高く、次いで「日本で就職」が約4割
②進学先卒業後の就労希望	・「日本で就職」の割合が約9割と最も高く、次いで「まだ、決めていない」が約1割
③希望する職業分野	・「情報通信業」「その他（自動車整備）」の割合が約3割と高くなっており、次いで「製造業」が約2割
④日本で働きたい理由	・「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」の割合が約4割と最も高くなっており、次いで「給料が高いから」が約3割、「習得した日本語を生かしたいから」が約2割
(3) 日本滞在における課題	
①生活での困りごと、心配事	・「自分の日本語に自信がない」「特にない」が約3割と高い
②コミュニティの認知状況	・「コミュニティはある」「知らない、または分からない」が約4割
(4) 資格外活動（アルバイト）	
①アルバイトの経験	・「1つしている」の割合が約9割と最も高く、次いで「2つ以上している」が約1割
②職業分野	・「宿泊業・飲食サービス業」の割合が約4割と最も高く、次いで「卸売業・小売業」「製造業」が約2割
(5) 相談・悩み事の解決方法	
①困った時の相談先	・「学校の教員・職員」の割合が約5割と最も高く、次いで「日本に住んでいる家族・親族・友人・知人」が約4割

3. 就労希望地域別の回答傾向分析

3.1 就労希望地域についての整理

(1) 日本や市内への就労の可能性のある留学生の類型化

①就労を希望する地域についての抽出

- ・日本や市内への就労の可能性のある留学生について分析するために、以下に示す条件で抽出した。
- ・抽出した分類ごとに以下に示す各設問の傾向について比較分析することで、日本や市内への就労の可能性のある留学生の特徴について整理し、分類した。

< 就労の可能性のある留学生の類型化にかかる分析対象設問 >

設問	分析内容	備考
職業分野（問 11-1）	留学生の今後の就労意向 （属性分析）	性別・年齢・在留資格については傾向が類似しており、比較分析が困難である
職種（問 11-2）		
日本で就職したい理由（問 11-3）	就労に際して重視する条件	—
その地域で就職したい理由（問 11-5）		—
就職先を選ぶ条件（問 13-1）		—

< 就労を希望する地域 抽出条件 >

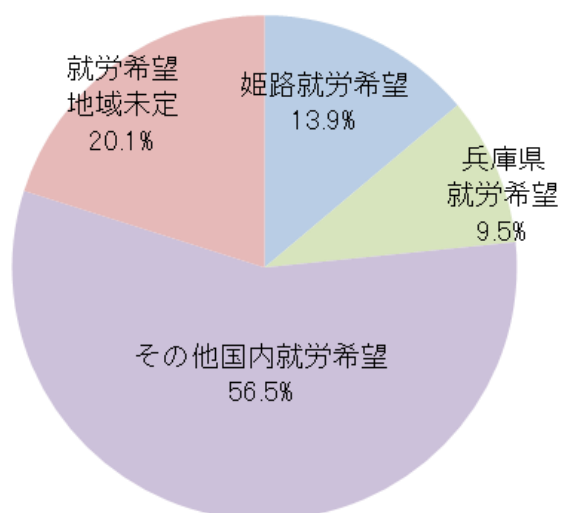
分類	抽出条件
姫路で就労したい留学生 （以下、「姫路就労希望」と記載）	「問 11-4 日本で就職したい地域」で 「1. 姫路」と回答した人
兵庫県で就労したい留学生 （以下、「兵庫県就労希望」と記載）	「問 11-4 日本で就職したい地域」で 「2. 兵庫県」と回答した人 かつ「姫路で就労したい留学生」に該当しない人
その他日本国内で就労したい留学生 （以下、「その他国内就労希望」と記載）	「問 11-4 日本で就職したい地域」で 「3. 大阪府など近畿地方」「4. 東京都など関東地方」 「5. その他(名古屋・福岡・札幌など)」 「6. 日本であれば地域は問わない」と回答した人 かつ「姫路で就労したい留学生」 「兵庫県で就労したい留学生」に該当しない人
就労地域を決めていない・不明の留学生 （以下、「就労希望地域未定」と記載）	「姫路市で就労したい留学生」 「兵庫県で就労したい留学生」 「その他日本国内で就労したい留学生」 のいずれにも該当しない人

※「問 11-4 日本で就職したい地域」で未回答の人は除く

②抽出結果

- ・抽出結果を見ると、「その他国内就労希望」が約 6 割と最も多くなっており、次いで「就労希望地域未定」が約 2 割と多くなっている。
- ・「姫路就労希望」は回答者全体の約 1 割にとどまっている。

< 就労を希望する地域 抽出結果 >

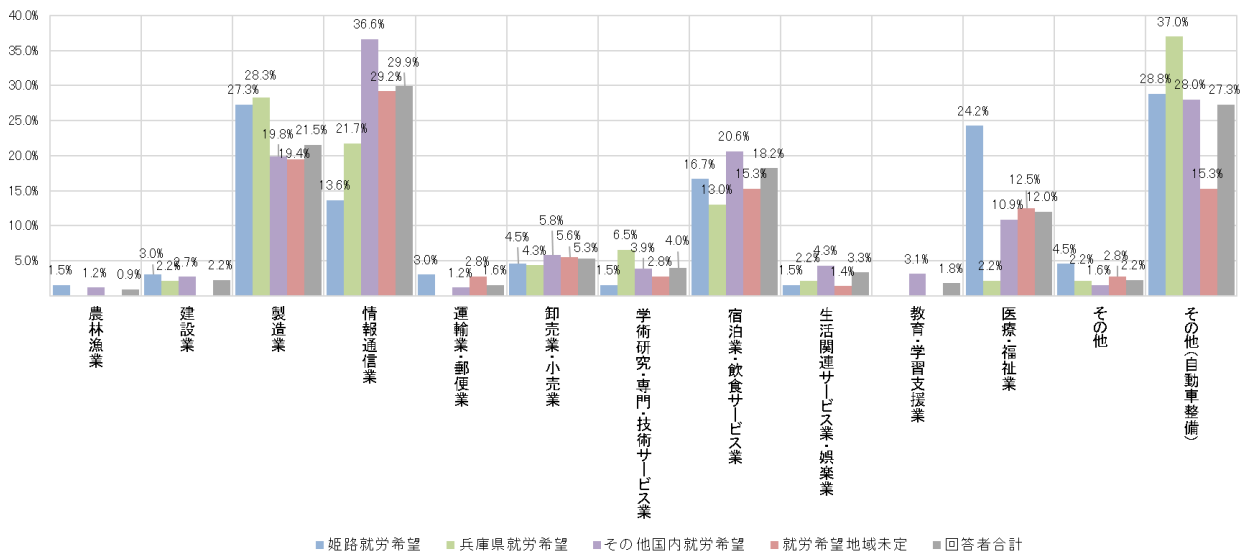


分類	回答者数	構成比
姫路就労希望	67	13.9%
兵庫県就労希望	46	9.5%
その他地域就労希望	273	56.5%
就労希望地域未定	97	20.1%
合計	483	100.0%

(2) 希望する職業分野（就労希望地域別）

- ・希望する職業分野について、「姫路就労希望」では「その他（自動車整備）」の割合が28.8%と最も高く、次いで「製造業」が27.3%となっている。
- ・回答者全体で回答が多い職業分野について、「情報通信業」では「その他国内就労希望」が36.6%と比較的高くなっており、「その他（自動車整備）」「製造業」では「兵庫県就労希望」が比較的高くなっている。
- ・「姫路就労希望」について、「医療・福祉業」が24.2%と他の地域を希望する留学生と比較して著しく高くなっており、姫路市内で日本語教育機関等に通う留学生のキャリアプランの1つになっていると考えられる。

< 希望する職業分野〔就労希望地域別〕 >



分類	農林漁業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	学術研究・専門・技術サービス業
姫路就労希望	1 (1.5%)	2 (3.0%)	18 (27.3%)	9 (13.6%)	2 (3.0%)	3 (4.5%)	1 (1.5%)
兵庫県就労希望	0 (0.0%)	1 (2.2%)	13 (28.3%)	10 (21.7%)	0 (0.0%)	2 (4.3%)	3 (6.5%)
その他国内就労希望	3 (1.2%)	7 (2.7%)	51 (19.8%)	94 (36.6%)	3 (1.2%)	15 (5.8%)	10 (3.9%)
就労希望地域未定	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (19.4%)	21 (29.2%)	2 (2.8%)	4 (5.6%)	2 (2.8%)
回答者合計	4 (0.9%)	10 (2.2%)	97 (21.5%)	135 (29.9%)	7 (1.6%)	24 (5.3%)	18 (4.0%)

上段：票

下段：横構成比

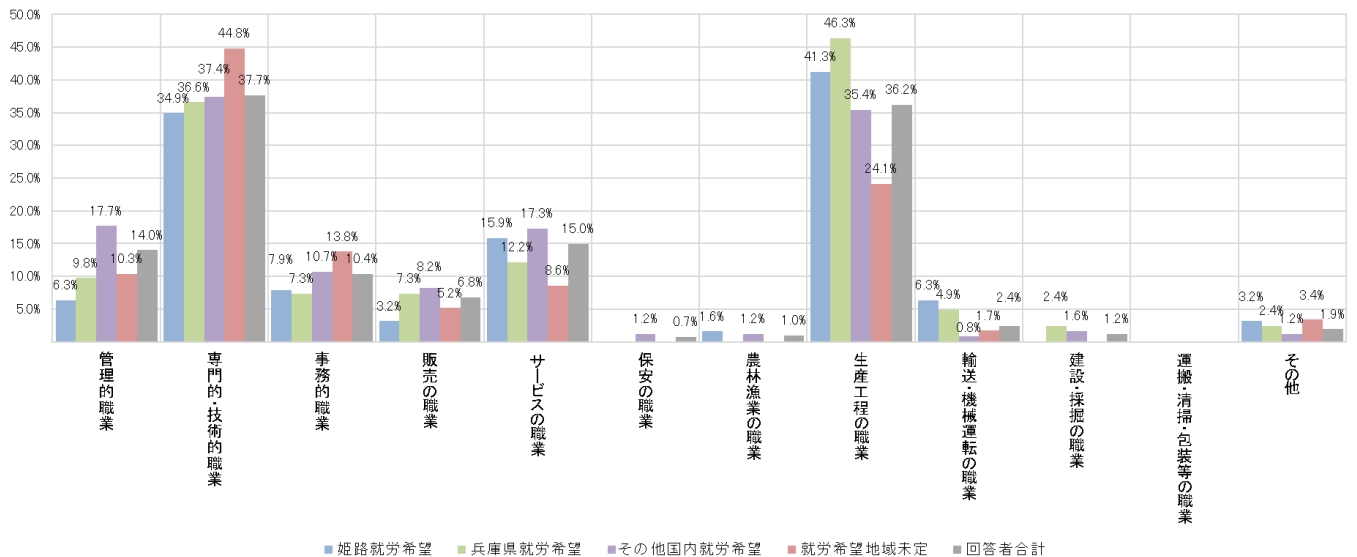
未回答(回答不明含む)32票を除く

宿泊業・飲食サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉業	その他	その他(自動車整備)	合計
11 (16.7%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	16 (24.2%)	3 (4.5%)	19 (28.8%)	66 (100.0%)
6 (13.0%)	1 (2.2%)	0 (0.0%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	17 (37.0%)	46 (100.0%)
53 (20.6%)	11 (4.3%)	8 (3.1%)	28 (10.9%)	4 (1.6%)	72 (28.0%)	257 (100.0%)
11 (15.3%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	9 (12.5%)	2 (2.8%)	11 (15.3%)	72 (100.0%)
82 (18.2%)	15 (3.3%)	8 (1.8%)	54 (12.0%)	10 (2.2%)	123 (27.3%)	451 (100.0%)

(3) 希望する職種（就労希望地域別）

- 希望する職種について、「姫路就労希望」では「生産工程の職業」の割合が41.3%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業」が34.9%となっている。
- 回答者全体で回答が多い職業分野について、「専門的・技術的職業」では「就労希望地域未定」が44.8%と比較的高くなっており、「生産工程の職業」では「兵庫県就労希望」が比較的高くなっている。このため、身に着けた専門的な知識・技術を生かした職種の希望する留学生が多いものの、兵庫県内や他都市圏と就労希望が競合していると考えられる。

< 職種〔就労希望地域別〕 >



分類	管理的職業	専門的・技術的職業	事務的職業	販売の職業	サービスの職業	保安の職業
姫路就労希望	4 (6.3%)	22 (34.9%)	5 (7.9%)	2 (3.2%)	10 (15.9%)	0 (0.0%)
兵庫県就労希望	28 (13.6%)	82 (39.8%)	21 (10.2%)	13 (6.3%)	40 (19.4%)	0 (0.0%)
その他国内就労希望	43 (17.7%)	91 (37.4%)	26 (10.7%)	20 (8.2%)	42 (17.3%)	3 (1.2%)
就労希望地域未定	6 (10.3%)	26 (44.8%)	8 (13.8%)	3 (5.2%)	5 (8.6%)	0 (0.0%)
回答者合計	58 (14.0%)	156 (37.8%)	43 (10.4%)	28 (6.8%)	62 (15.0%)	3 (0.7%)

上段：票

下段：横構成比

未回答（回答不明含む）

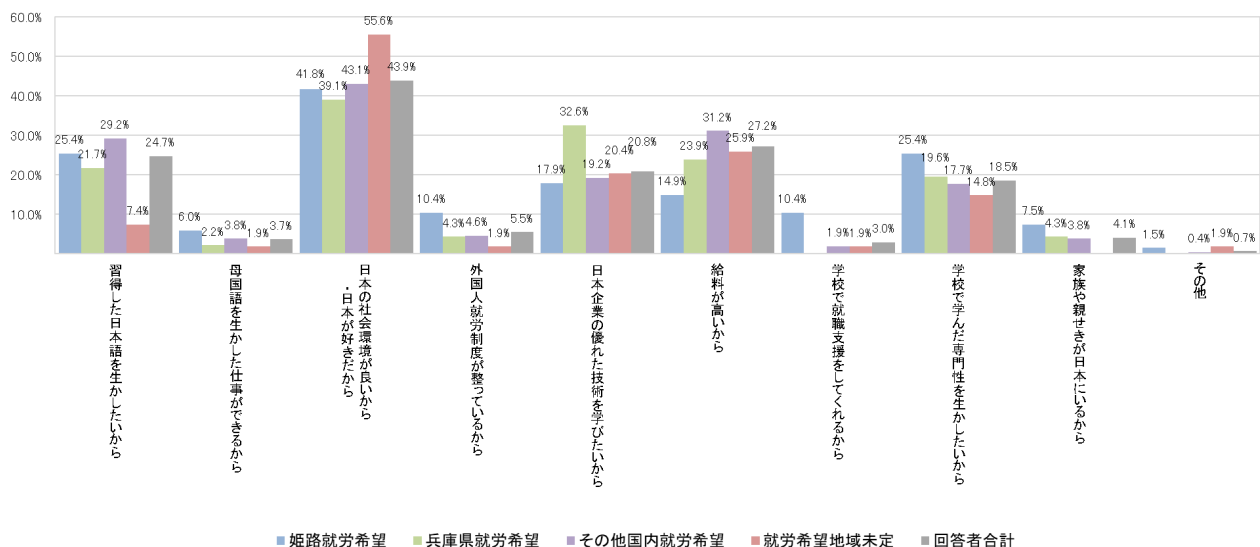
70 票を除く

農林漁業の職業	生産工程の職業	輸送・機械運転の職業	建設・採掘の職業	運搬・清掃・包装等の職業	その他	合計
1 (1.6%)	26 (41.3%)	4 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.2%)	63 (100.0%)
2 (1.0%)	75 (36.4%)	5 (2.4%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)	206 (100.0%)
3 (1.2%)	86 (35.4%)	2 (0.8%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	3 (1.2%)	243 (100.0%)
0 (0.0%)	14 (24.1%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	58 (100.0%)
4 (1.0%)	150 (36.3%)	10 (2.4%)	5 (1.2%)	0 (0.0%)	7 (1.7%)	413 (100.0%)

(4) 日本で就職したい理由（就労希望地域別）

- ・日本で就職したい理由について、「姫路就労希望」では「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」の割合が41.8%と最も高く、次いで「習得した日本語を生かしたいから」「学校で学んだ専門性を生かしたいから」が25.4%となっている。
- ・回答者全体で回答が多い就労希望理由について、「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」では「就労希望地域未定」が55.6%と比較的高くなっており、「給料が高いから」では「その他国内就労希望」が比較的多くになっている。また、「日本企業の優れた技術を学びたいから」では兵庫県が高くなっている。
- ・「姫路就労希望」について、「給料が高いから」が14.9%と他の地域を希望する留学生と比較して低く、「学校で就職支援をしてくれるから」が10.4%と他の地域を希望する留学生と比較して高くなっており、給与面への期待は他地域より低いものの、日本語教育機関等を通じた就職支援が日本で就職したい理由の1つになっているものと考えられる。

＜ 日本で就職したい理由〔就労希望地域別〕 ＞



分類	習得した日本語を生かしたいから	母国語を生かした仕事ができるから	日本の社会環境が良いから・日本が好きだから	外国人就労制度が整っているから	日本企業の優れた技術を学びたいから	給料が高いから	学校で就職支援をしてくれるから	学校で学んだ専門性を生かしたいから	家族や親せきが日本にいるから	その他	合計
姫路就労希望	17 (25.4%)	4 (6.0%)	28 (41.8%)	7 (10.4%)	12 (17.9%)	10 (14.9%)	7 (10.4%)	17 (25.4%)	5 (7.5%)	1 (1.5%)	67 (100.0%)
兵庫県就労希望	10 (21.7%)	1 (2.2%)	18 (39.1%)	2 (4.3%)	15 (32.6%)	11 (23.9%)	0 (0.0%)	9 (19.6%)	2 (4.3%)	0 (0.0%)	46 (100.0%)
その他国内就労希望	76 (29.2%)	10 (3.8%)	112 (43.1%)	12 (4.6%)	50 (19.2%)	81 (31.2%)	5 (1.9%)	46 (17.7%)	10 (3.8%)	1 (0.4%)	260 (100.0%)
就労希望地域未定	4 (7.4%)	1 (1.9%)	30 (55.6%)	1 (1.9%)	11 (20.4%)	14 (25.9%)	1 (1.9%)	8 (14.8%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)	54 (100.0%)
回答者合計	108 (24.7%)	16 (3.7%)	192 (43.9%)	24 (5.5%)	91 (20.8%)	119 (27.2%)	13 (3.0%)	81 (18.5%)	18 (4.1%)	3 (0.7%)	437 (100.0%)

上段：票

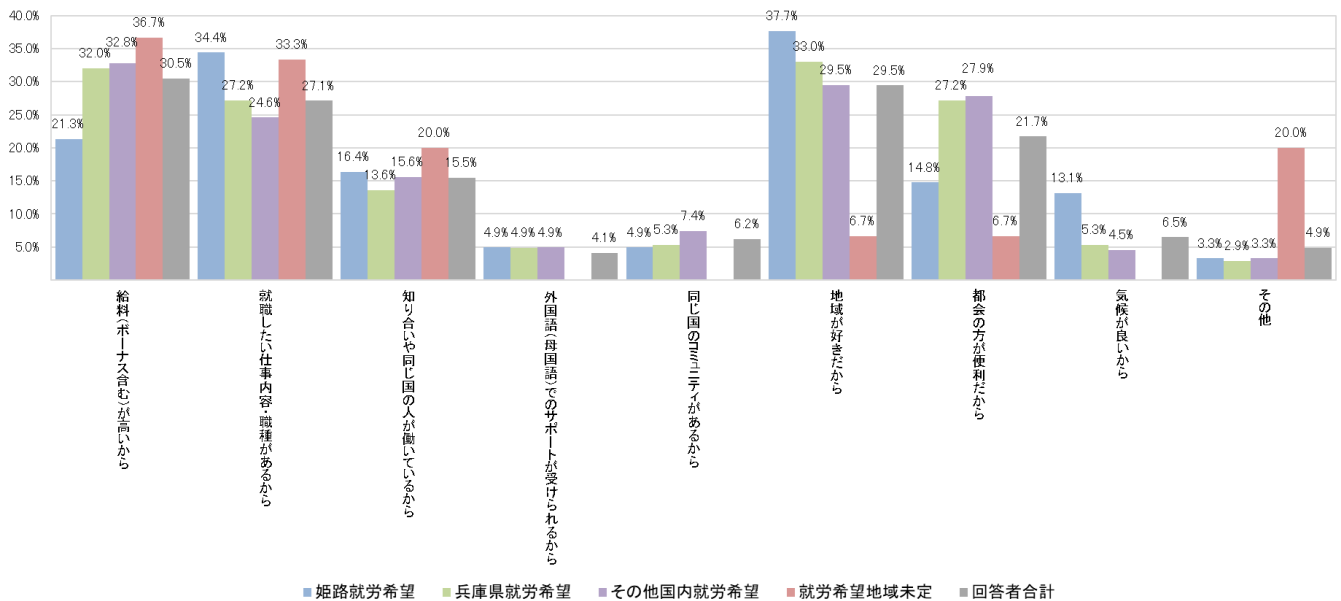
下段：構成比

未回答（回答不明含む）46票を除く

(5) その地域で就職したい理由（就労希望地域別）

- ・その地域で就職したい理由について、「姫路就労希望」では「地域が好きだから」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「就職したい仕事内容・職種があるから」が 34.4%となっている。
- ・姫路市で就職したい理由は、仕事内容、職種ニーズの一致や地域への愛着が要因であると考えられる。

＜ その地域で就職したい理由〔就労希望地域別〕 ＞



分類	給料(ボーナス含む)が高いから	就職したい仕事内容・職種があるから	知り合いや同じ国の人がいるから	外国語(母国語)でのサポートが受けられるから	同じ国のコミュニティがあるから
姫路就労希望	13 (21.3%)	21 (34.4%)	10 (16.4%)	3 (4.9%)	3 (4.9%)
兵庫県就労希望	66 (32.0%)	56 (27.2%)	28 (13.6%)	10 (4.9%)	11 (5.3%)
その他国内就労希望	80 (32.8%)	60 (24.6%)	38 (15.6%)	12 (4.9%)	18 (7.4%)
就労希望地域未定	11 (36.7%)	10 (33.3%)	6 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回答者合計	118 (30.5%)	105 (27.1%)	60 (15.5%)	16 (4.1%)	24 (6.2%)

上段: 票

下段: 構成比

未回答(回答不明含む)96票を除く

地域が好きだから	都会の方が便利だから	気候が良いから	その他	合計
23 (37.7%)	9 (14.8%)	8 (13.1%)	2 (3.3%)	61 (100.0%)
68 (33.0%)	56 (27.2%)	11 (5.3%)	6 (2.9%)	206 (100.0%)
72 (29.5%)	68 (27.9%)	11 (4.5%)	8 (3.3%)	244 (100.0%)
2 (6.7%)	2 (6.7%)	0 (0.0%)	6 (20.0%)	30 (100.0%)
114 (29.5%)	84 (21.7%)	25 (6.5%)	19 (4.9%)	387 (100.0%)

4. 詳細分析

4.1 詳細分析の概要

(1) 就労を希望する地域についての整理

①就労を希望する地域についての分類

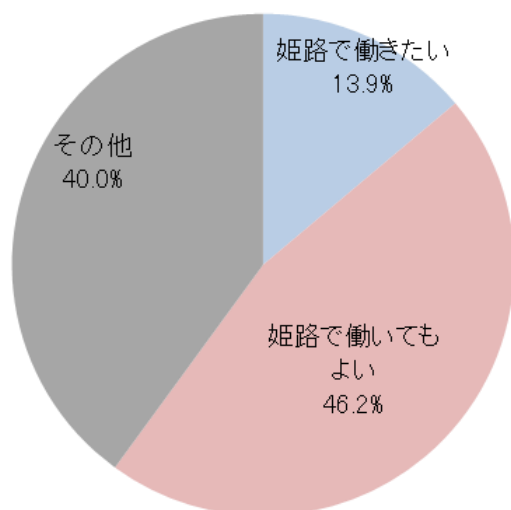
- ・日本や市内への就労の可能性のある留学生について分析するために、以下に示す条件で分類した。
- ・抽出結果を見ると、「姫路で働いてもよい」の割合が46.2%と最も高くなっており、次いで「その他」が40.0%、「姫路で働きたい」が13.9%となっている。

< 就労を希望する地域による分類条件 >

分類	分類条件
姫路で働きたい留学生 (以下、「姫路で働きたい」と記載)	「問 11-4 日本で就職したい地域」で 「1. 姫路」と回答した人
姫路を含むエリア で働く可能性がある留学生 (以下、「姫路で働いてもよい」と記載)	「問 11-4 日本で就職したい地域」で 「2. 兵庫県」「3. 大阪府など近畿地方」 「6. 日本であれば地域は問わない」と回答した人 かつ「姫路で働きたい留学生」に該当しない人
その他の留学生 (以下、「その他」と記載)	「問 11-4 日本で就職したい地域」で 「4. 東京都など関東地方」 「5. その他(名古屋・福岡・札幌など)」 と回答した人 かつ「姫路で就労したい留学生」 「姫路を含むエリアで働く可能性のある留学生」 に該当しない人

※「問 11-4 日本で就職したい地域」で未回答の人を除く

< 就労を希望する地域 抽出結果 >



分類	回答者数	構成比
姫路で働きたい	67	13.9%
姫路で働いてもよい	223	46.2%
その他	193	40.0%
合計	483	100.0%

(2) 集計・分析の考え方

- ・「姫路で働きたい留学生」は、既に姫路市を就労希望地域として考えているものの、長く姫路市で就労してもらうためには、生活しやすい環境を整える必要がある。このため、生活面での不満や心配事は何かを分析する。
- ・「姫路で働いてもよい留学生」は、兵庫県内や近畿圏内など、姫路市を含むエリアでの就労を検討しており、就労条件によっては姫路市に就労する可能性がある。このため、希望する就労条件や職業分野等を分析する。
- ・「その他」の留学生は主に他の都市圏や地域での就労を考えているか、就労そのものが未定となっており、姫路市内での就労を促すことは難しいと考えられる。このため、本分析では「その他」の留学生についての分析は行わない。
- ・上記を受けて、本調査の集計・分析においては、以下の考え方で整理するものとする。

< 集計・分析の考え方 >

集計区分	集計・分析の考え方
姫路で働きたい留学生	姫路市で長期間就労してもらうために、生活面での不満や心配事の緩和・解消に向けた取組を検討する。
姫路で働いてもよい留学生	姫路市を就労先として選んでもらうために、就労条件や就職したい理由について分析し、就労に求める条件に合った取組を検討する。

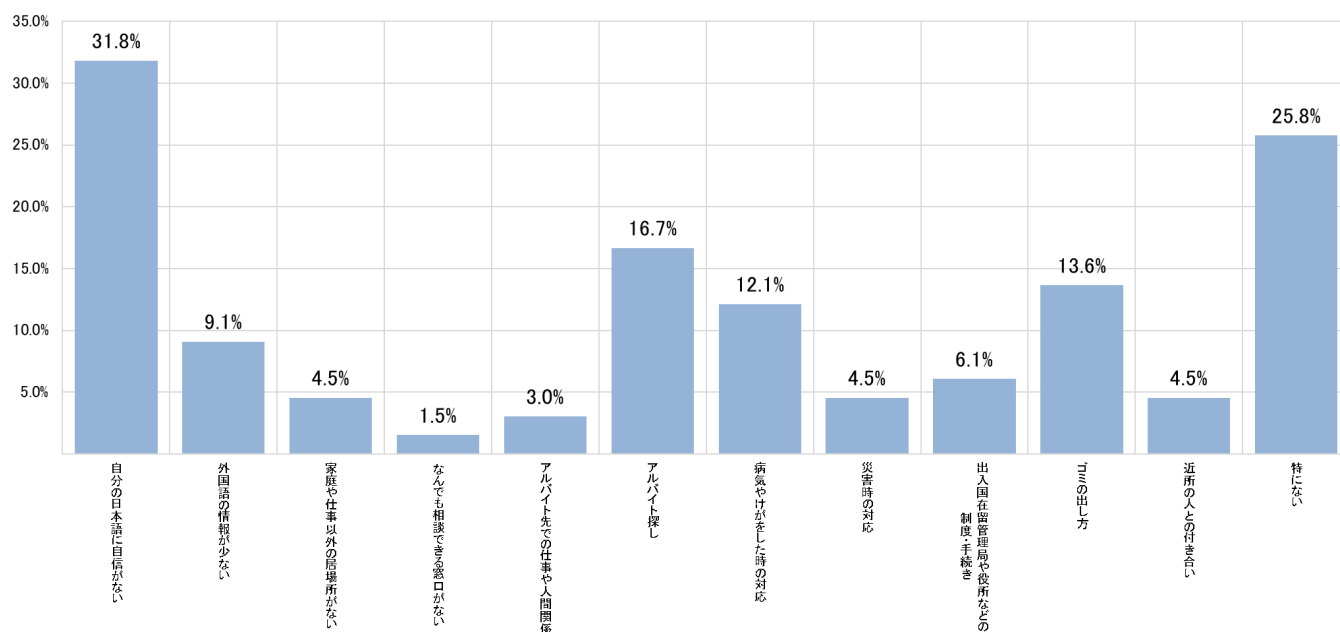
4.2 詳細分析

(1) 姫路市で働きたい留學生の分析

①生活での困りごと・心配事

- ・生活での困りごとについて、「姫路で働きたい」留學生では「自分の日本語に自信がない」の割合が31.8%と最も高く、次いで「特にない」が25.8%、「アルバイト探し」が16.7%、そのほか、「病気やけがをした時の対応」「ゴミの出し方」「外国語の情報が少ない」「出入国在留管理局や役所などの制度・手続き」などがあげられている。
- ・このため、「姫路で働きたい」留學生については、日本語教育支援や地域での生活、病気やけがをした時の対応など姫路市での日常生活に関する情報提供が求められる。

＜生活での困りごと・心配事〔姫路で働きたい留學生〕＞



※「その他」と回答した「姫路で働きたい」留學生はいなかった

分類	自分の日本語に自信がない	外国語の情報が少ない	家庭や仕事以外の居場所がない	なんでも相談できる窓口がない	アルバイト先での仕事や人間関係	アルバイト探し
姫路で働きたい	21 (31.8%)	6 (9.1%)	3 (4.5%)	1 (1.5%)	2 (3.0%)	11 (16.7%)

未回答(回答不明含む)

1票を除く

上段:票

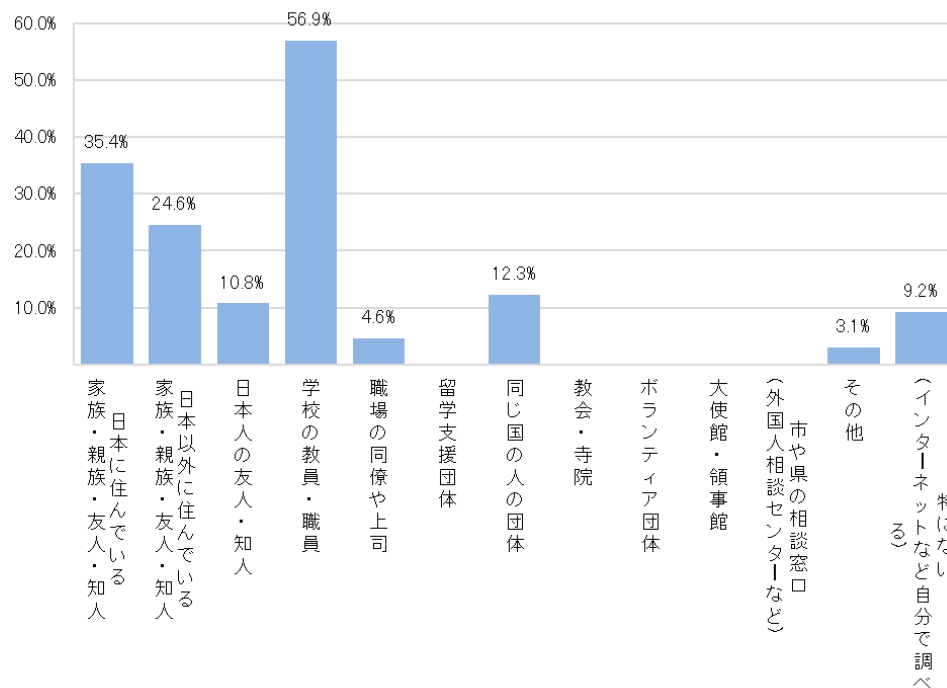
下段:横構成比

病気やけがをした時の対応	災害時の対応	出入国在留管理局や役所などの制度・手続き	ゴミの出し方	近所の人との付き合い	特にない	その他	合計
8 (12.1%)	3 (4.5%)	4 (6.1%)	9 (13.6%)	3 (4.5%)	17 (25.8%)	0 (0.0%)	66 (100.0%)

②困った時の相談先

- ・困った時の相談先について「姫路で働きたい」留学生は「学校の教員・職員」の割合が 56.9%と半数以上を占めており、次いで「日本に住んでいる家族・親族・友人・知人」が 35.4%、「日本以外に住んでいる家族・親族・友人・知人」が 24.6%となっている。
- ・また、「特にない（インターネットなど自分で調べる）」も 9.2%となっており、回答者の約 1 割が身近に相談できる人がいないことがうかがえる。
- ・このため、留学生の相談先となる日本語教育機関等との連携や、身近に相談できる人がいない留学生のための公的機関による相談窓口の充実・周知が求められる。

＜ 困った時の相談先〔姫路で働きたい留学生〕 ＞



分類	日本に住んでいる家族・親族・友人・知人	日本以外に住んでいる家族・親族・友人・知人	日本人の友人・知人	学校の教員・職員	職場の同僚や上司	留学支援団体	同じ国の人の団体
姫路で働きたい	23 (35.4%)	16 (24.6%)	7 (10.8%)	37 (56.9%)	3 (4.6%)	0 (0.0%)	8 (12.3%)

未回答（回答不明含む）2 票を除く

上段：票

下段：横構成比

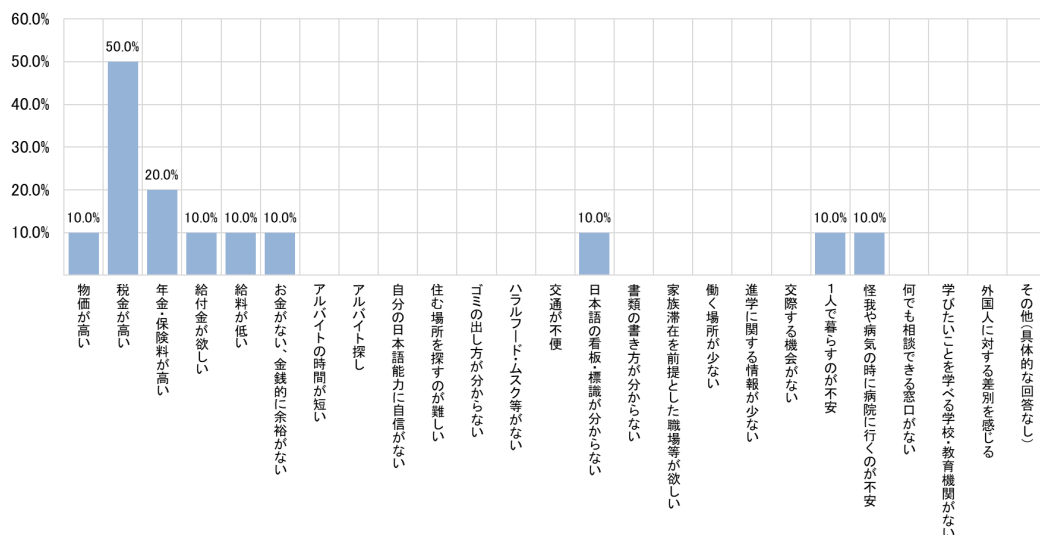
教会・寺院	ボランティア団体	大使館・領事館	市や県の相談窓口（外国人相談センターなど）	その他	特にない（インターネットなど自分で調べる）	合計
0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.1%)	6 (9.2%)	65 (100.0%)

③自由意見

- ・自由意見（その他困っていること、悩んでいること）※について、「姫路で働きたい」留学生では、「税金が高い」（5人）、「年金・保険料が高い」（2人）、「物価が高い」「給付金が欲しい」「給料が低い」「お金がない、金銭的に余裕がない」「日本語の看板・標識が分からない」「1人で暮らすのが不安」「けがや病気の時に病院に行くのが不安」（1人）となっている。
- ・母数は少ないが、これらの意見も施策検討の参考になると考えられる。

※自由意見については、回答内容をおおまかな項目に分類して集計した
※「特になし」を除く

< 自由意見「姫路で働きたい留学生」 >



分類	物価が高い	税金が高い	年金・保険料が高い	給付金が欲しい	給料が低い	お金がない、金銭的に余裕がない	アルバイトの時間が短い	アルバイト探し
姫路で働きたい	1 (10.0%)	5 (50.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

未回答(回答不明含む)
57票を除く
上段: 票
下段: 横構成比

自分の日本語能力に自信がない	住む場所を探すのが難しい	ゴミの出し方が分からない	ハラルフード・ムスク等がない	交通が不便	日本語の看板・標識が分からない	書類の書き方が分からない	家族滞在を前提とした職場等が欲しい	働く場所が少ない
0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
進学に関する情報が少ない	交際する機会がない	1人で暮らすのが不安	怪我や病気の時に病院に行くのが不安	何でも相談できる窓口がない	学びたいことを学べる学校・教育機関がない	外国人に対する差別を感じる	その他(具体的な回答なし)	合計
0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (100.0%)

④とりまとめ

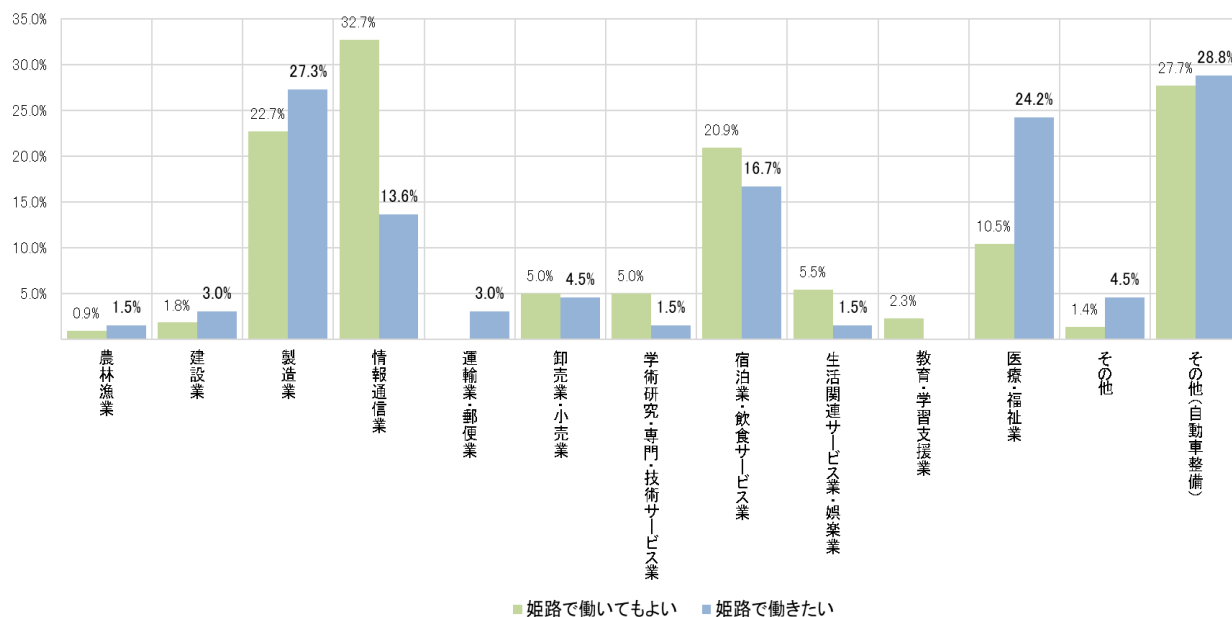
- ・ 姫路市における生活面での課題として、地域のごみの出し方、病気やけがをした時の対応などの回答が多くなっており、姫路市内での日常生活に関する情報提供が求められている。
- ・ 留学生の半数以上が学校の教員・職員に相談することから、留学生の相談先となる日本語教育機関等との連携や、困った時の相談先のない留学生が見られることから、公的な相談・情報発信体制の充実が必要である。

(2) 姫路市で働いてもよい留学生の分析

①希望する職業分野（姫路で働きたい・姫路で働いてもよい留学生の比較）

- ・「姫路で働いてもよい」留学生の希望する職業分野は、「情報通信業」の割合が 32.7% と最も高く、次いで「その他（自動車整備）」が 27.7%、「製造業」が 22.7%、「宿泊業・飲食サービス業」が 20.9%となっている。
- また、「姫路で働きたい」留学生の希望する職業分野でも、「その他（自動車整備）」「製造業」の割合が同様に高い傾向となっている。
- ・「姫路で働きたい」留学生では、「医療・福祉業」の割合が 24.2%と「姫路で働いてもよい」留学生と比較して 13.7 ポイント高くなっている。
- このことについては、自由意見回答には、企業・団体から奨学金を受けていると回答した人があった。
- ・「姫路で働きたい」留学生では、「情報通信業」の割合が 13.6%と「姫路で働いてもよい」留学生と比較して 19.1 ポイント低くなっている。
- これは、「その地域で就職したい理由」の回答傾向を踏まえると、「姫路で働いてもよい」留学生は「都会の方が便利だから」と回答した人が多く、利便性の高い都会での就労を希望していることが影響していると考えられる。
- ・このため、「姫路で働きたい」「姫路で働いてもよい」留学生の就労ニーズが高く、受け入れ環境整備が進んでいる企業について積極的に情報発信することで姫路市への就労促進を図ることが考えられる。

＜希望する職業分野〔姫路で働いてもよい留学生〕＞



分類	農林漁業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	学術研究・専門・技術サービス業	宿泊業・飲食サービス業
姫路で働きたい	1 (1.5%)	2 (3.0%)	18 (27.3%)	9 (13.6%)	2 (3.0%)	3 (4.5%)	1 (1.5%)	11 (16.7%)
姫路で働いてもよい	2 (0.9%)	4 (1.8%)	50 (22.7%)	72 (32.7%)	0 (0.0%)	11 (5.0%)	11 (5.0%)	46 (20.9%)

未回答(回答不明含む)4票を除く

上段: 票
下段: 横構成比

生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉業	その他	その他(自動車整備)	合計
1 (1.5%)	0 (0.0%)	16 (24.2%)	3 (4.5%)	19 (28.8%)	66 (100.0%)
12 (5.5%)	5 (2.3%)	23 (10.5%)	3 (1.4%)	61 (27.7%)	220 (100.0%)

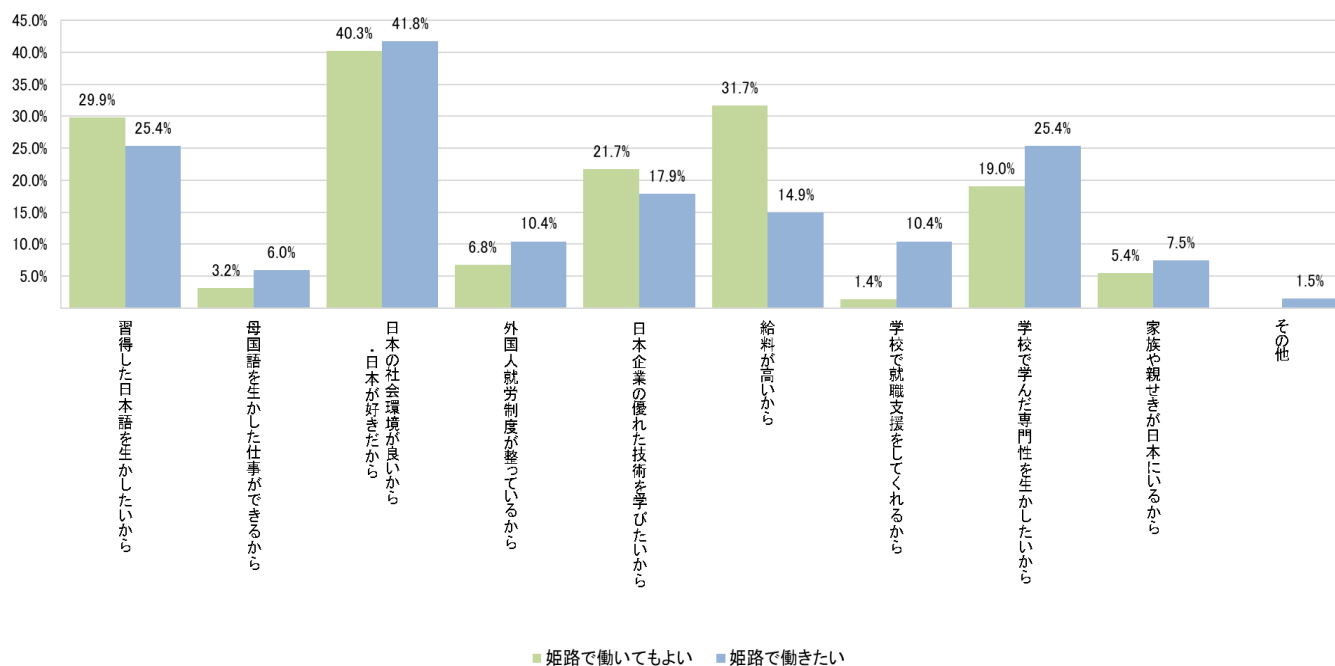
②日本で就職したい理由（姫路で働きたい・姫路で働いてもよい留学生の比較）

- ・「姫路で働いてもよい」留学生の日本で就職したい理由は、「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」の割合が40.3%と最も高く、次いで「給料が高いから」が31.7%、「習得した日本語を生かしたいから」が29.9%、「日本企業の優れた技術を学びたいから」が21.7%、「学校で学んだ専門性を生かしたいから」が19.0%となっている。

また、「姫路で働きたい」留学生の日本で就職したい理由でも、「日本の社会環境が良いから・日本が好きだから」「習得した日本語を生かしたいから」「学校で学んだ専門性を生かしたいから」「日本企業の優れた技術を学びたいから」の割合が同様に高い傾向となっている。

- ・このため、企業の技術力の高さや留学生が学んだ日本語・専門性を活かせる職場であることをPRしていくことで、姫路市への就労促進を図ることができると考えられる。

＜日本で就職したい理由〔姫路で働いてもよい留学生〕＞



分類	習得した日本語を生かしたいから	母国語を生かした仕事ができるから	日本の社会環境が良いから・日本が好きだから	外国人就労制度が整っているから	日本企業の優れた技術を学びたいから	給料が高いから
姫路で働きたい	17 (25.4%)	4 (6.0%)	28 (41.8%)	7 (10.4%)	12 (17.9%)	10 (14.9%)
姫路で働いてもよい	66 (29.9%)	7 (3.2%)	89 (40.3%)	15 (6.8%)	48 (21.7%)	70 (31.7%)

未回答（回答不明含む）2票を除く

上段：票

下段：横構成比

学校で就職支援をしてくれるから	学校で学んだ専門性を生かしたいから	家族や親せきが日本にいるから	その他	合計
7 (10.4%)	17 (25.4%)	5 (7.5%)	1 (1.5%)	67 (100.0%)
3 (1.4%)	42 (19.0%)	12 (5.4%)	0 (0.0%)	221 (100.0%)

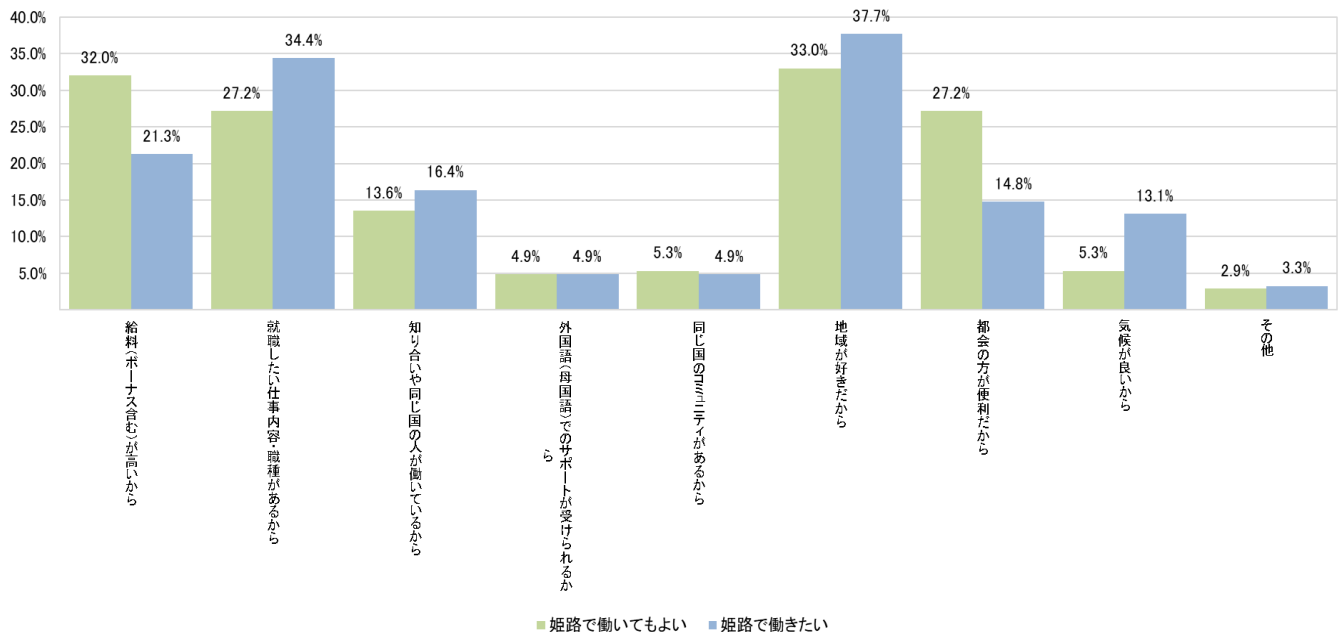
③その地域で就職したい理由（姫路で働きたい・姫路で働いてもよい留学生の比較）

- ・「姫路で働いてもよい」留学生が就職したい理由について、「地域が好きだから」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「給料（ボーナス含む）が高いから」が 32.0%、「就職したい仕事内容・職種があるから」「都会の方が便利だから」が 27.2%となっている。

また、「姫路で働きたい」留学生が就職したい理由でも、「地域が好きだから」「就職したい仕事内容・職種があるから」の割合が同様に高い傾向となっている。

- ・このため、地域に愛着を持つことができるような情報発信を行うとともに、市内の外国人採用に積極的な企業の取組周知など、「姫路で働いてもよい」「姫路で働きたい」留学生の関心が高い情報発信を推進することで、姫路市への就労促進を図ることができると考えられる。

< その地域で就職したい理由〔姫路で働いてもよい留学生〕 >



分類	給料(ボーナス含む)が高いから	就職したい仕事内容・職種があるから	知り合いや同じ国の人 が働いているから	外国語(母国語)でのサ ポートが受けられるから	同じ国のコ ミュニティが あるから
姫路で働きたい	13 (21.3%)	21 (34.4%)	10 (16.4%)	3 (4.9%)	3 (4.9%)
姫路で働いてもよい	66 (32.0%)	56 (27.2%)	28 (13.6%)	10 (4.9%)	11 (5.3%)

未回答(回答不明含む) 23 票を除く
上段: 票
下段: 構成比

地域が好きだから	都会の方が便利だから	気候が良いから	その他	合計
23 (37.7%)	9 (14.8%)	8 (13.1%)	2 (3.3%)	61 (100.0%)
68 (33.0%)	56 (27.2%)	11 (5.3%)	6 (2.9%)	206 (100.0%)

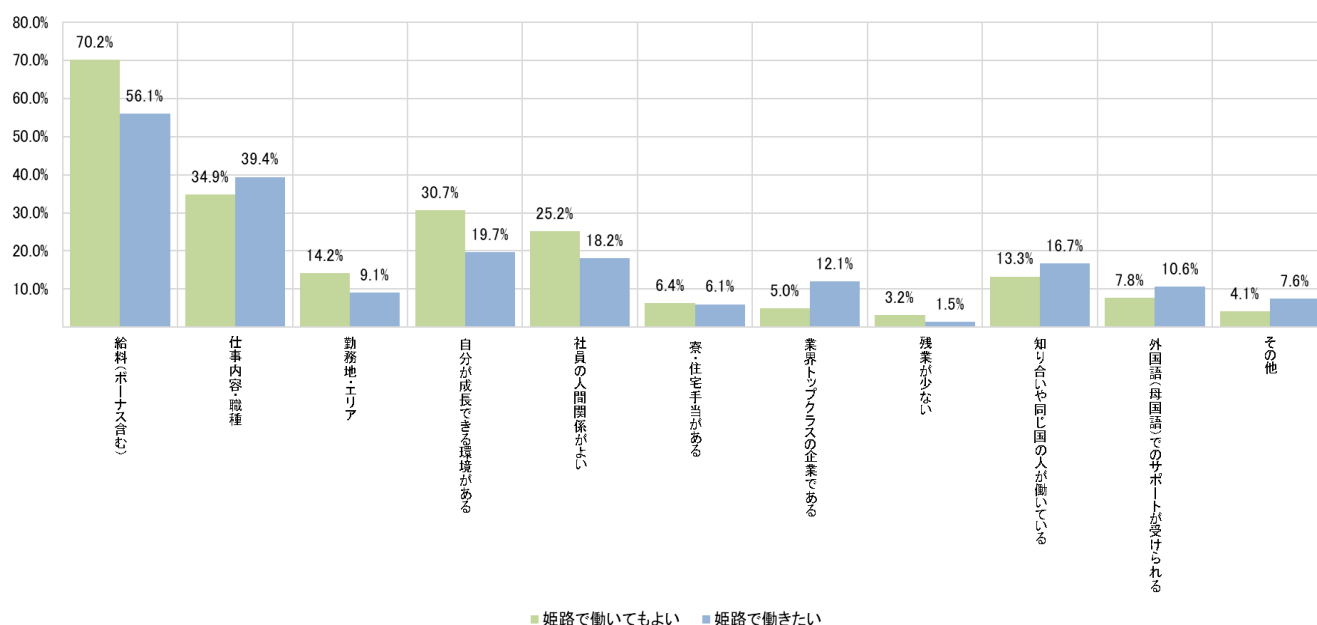
④就職先を選ぶ条件（姫路で働きたい・姫路で働いてもよい留学生の比較）

- ・「姫路で働いてもよい」留学生が就職先を選ぶ条件は、「給料（ボーナス含む）」の割合が70.2%と最も高く、次いで「仕事内容・職種」が34.9%、「自分が成長できる環境がある」が30.7%、「社員の人間関係がよい」が25.2%、「知り合いや同じ国の人が働いている」が13.3%となっている。

また、「姫路で働きたい」留学生の日本で就職したい理由でも、「給料（ボーナス含む）」「仕事内容・職種」の割合が同様に高い傾向となっている。

- ・このため、「姫路で働いてもよい」「姫路で働きたい」留学生は、給与面以外では仕事の内容や就職後の自己研鑽、職場の人間関係を重視していることがうかがえ、就職後の継続した学習環境や社内の受け入れ体制・雰囲気の良い職場環境づくりが求められている。

< 就職先を選ぶ条件 [姫路で働いてもよい留学生] >



分類	給料(ボーナス含む)	仕事内容・職種	勤務地・エリア	自分が成長できる環境がある	社員の人間関係がよい	寮・住宅手当がある
姫路で働きたい	37 (56.1%)	26 (39.4%)	6 (9.1%)	13 (19.7%)	12 (18.2%)	4 (6.1%)
姫路で働いてもよい	153 (70.2%)	76 (34.9%)	31 (14.2%)	67 (30.7%)	55 (25.2%)	14 (6.4%)

未回答(回答不明含む)6票を除く

上段: 票

下段: 横構成比

業界トップクラスの企業である	残業が少ない	知り合いや同じ国の人が働いている	外国語(母国語)でのサポートが受けられる	その他	合計
8 (12.1%)	1 (1.5%)	11 (16.7%)	7 (10.6%)	5 (7.6%)	66 (100.0%)
11 (5.0%)	7 (3.2%)	29 (13.3%)	17 (7.8%)	9 (4.1%)	218 (100.0%)

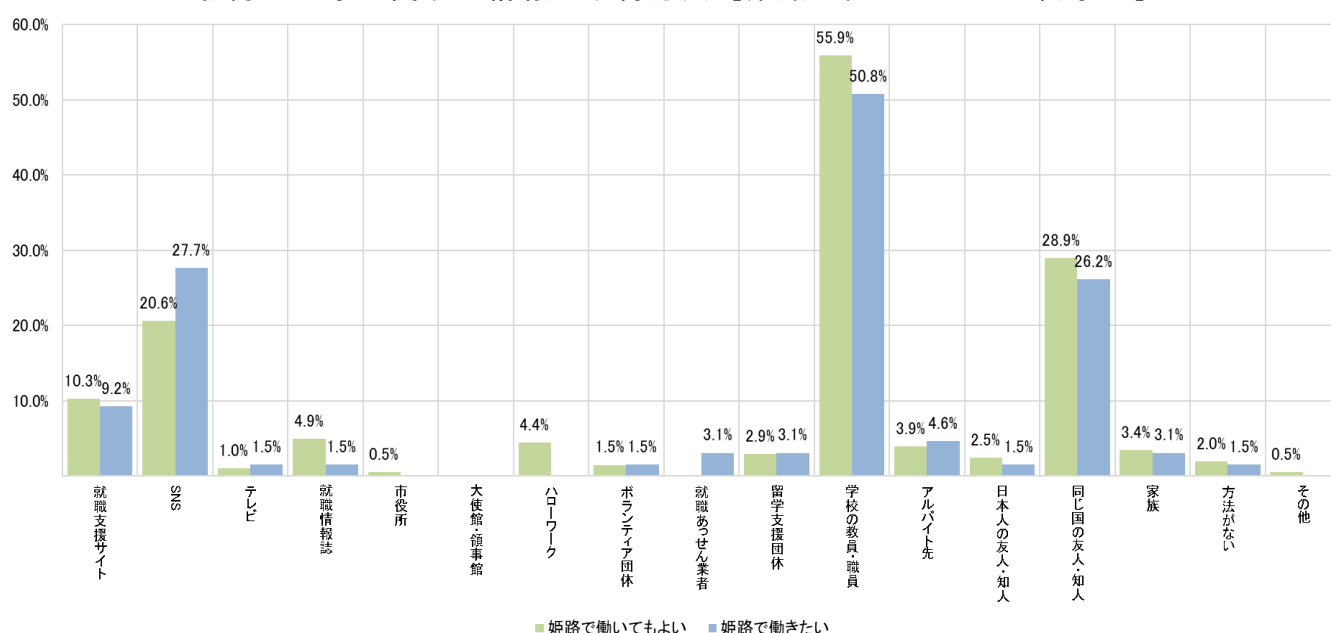
⑤就労・進学に関する情報の取得方法（姫路で働きたい・姫路で働いてもよい留学生の比較）

- ・「姫路で働いてもよい」留学生の就労・進学に関する情報の取得方法は、「学校の教員・職員」の割合が 55.9%と最も高く、次いで「同じ国の友人・知人」が 28.9%、「SNS」が 20.6%となっている。

また、「姫路で働きたい」留学生の就労・進学に関する情報の取得方法でも、「学校の教員・職員」「SNS」「同じ国の友人・知人」の割合が同様に高い傾向となっている。

- ・このため、日本語教育機関等を通じた情報発信に加え、留学生の利用頻度の高い SNS を活用した情報発信を推進することで姫路市への就労促進を図ることができると考えられる。

< 就労・進学に関する情報の取得方法〔姫路で働いてもよい留学生〕 >



分類	就職支援 サイト	SNS	テレビ	就職情報誌	市役所	大使館・ 領事館
姫路で働きたい	6 (9.2%)	18 (27.7%)	1 (1.5%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
姫路で働いてもよい	21 (10.3%)	42 (20.6%)	2 (1.0%)	10 (4.9%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)

上段：票

下段：横構成比

未回答（回答不明含む）21 票を除く

ハロー ワーク	ボラン ティア 団体	就職 あっ せん 業者	留学 支 援 団 体	学校の教員・ 職員	アルバイト先
0 (0.0%)	1 (1.5%)	2 (3.1%)	2 (3.1%)	33 (50.8%)	3 (4.6%)
9 (4.4%)	3 (1.5%)	0 (0.0%)	6 (2.9%)	114 (55.9%)	8 (3.9%)

日本人の 友人・知人	同じ国の 友人・知人	家族	方法がない	その他	合計
1 (1.5%)	17 (26.2%)	2 (3.1%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	65 (100.0%)
5 (2.5%)	59 (28.9%)	7 (3.4%)	4 (2.0%)	1 (0.5%)	204 (100.0%)

⑥とりまとめ

- ・「姫路で働いてもよい」留学生の姫路市への就労促進を図るためには、以下のような取組が求められる。
- ・「姫路で働いてもよい留学生」は、「情報通信業」「その他（自動車整備）」「製造業」「宿泊業・飲食サービス業」等のニーズが高くなっており、留学生の就労ニーズが高く受け入れ環境整備が進んでいる企業について積極的に情報発信することが求められる。

※日本での就職分野は、調査対象の専門学校における専門分野が自動車工学科・コミュニケーション学科等となっていることに影響を受けていると考えられることに留意が必要。

- ・「姫路で働いてもよい留学生」では、日本企業の優れた技術の習得や日本語教育機関等で学んだ専門知識・日本語能力を生かすことについての関心が高いことから、企業の技術力や学んだ日本語・専門性を活かせる職場環境であることをPRしていくことが求められる。
- ・就職したい理由として、地域への愛着や就職したい仕事内容・職種があることとなっており、地域に愛着を持つことができるような情報発信を行うとともに、姫路市の生活利便性や市内の外国人採用に積極的な企業の取組周知など、「姫路で働いてもよい」留学生の関心が高い情報発信が求められる。
- ・就職先を選ぶ条件として、「給料」「仕事内容・職種」「自分が成長できる環境がある」「社員の人間関係がよい」が多くなっており、給与面以外では、就職後の継続した学習環境や社内の受け入れ体制・雰囲気の良い職場づくりが求められている。
- ・情報取得手段としては、日本語教育機関等や同じ国の友人・知人間のコミュニティだけでなく、SNS（YouTube・Instagram・Facebook・LINE等）も活用されているため、就労支援情報や、生活に関する困りごと・悩み事の解決方法や相談窓口などの情報発信についてもSNSを活用していくことが求められる。

